

北海道大学概要

2012-2013



HOKKAIDO
UNIVERSITY

総長からのメッセージ



北海道大学総長

佐伯 浩

北海道大学は、学士号を授与する日本最初の高等教育機関である札幌農学校として1876年に創設されました。初代教頭のクラーク博士が札幌を去る際に学生に残した、「Boys, be ambitious!」は、日本の若者によく知られた言葉で大学のモットーでもあります。

北海道大学は、136年の歴史の中で育まれた、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」それに「実学の重視」を教育研究の理念として掲げ、現在、国際的な教育研究の拠点を目指して教職員・学生それに同窓生が一丸となって努力しています。

教育の充実と国際化

北海道大学は、全学教育・専門教育それに大学院教育を通じて、専門的知識の習得と主体的かつ総合的な人材形成を図り、全人的な教育を身につけ、国際性豊かな人材を育成します。そのため2011年度に入試制度を大幅に変更しました。それにより、全学教育のクラスは、複数の学部へ進学する学生で構成されることになり、総合大学にふさわしい人的交流を可能とします。

さらに、魅力ある教育プログラムの充実とともに、厳密な成績評価と単位の実質化を図り、外国語による教育を推進し、国際的にみても高水準の人材育成システムを構築し、世界の教育研究拠点となることを目指しています。

研究の国際化

北海道大学は、大学院重点化により、教育研究の基盤を強化し、大学院においては組織の柔軟化をさらに進め、先導的・学際的な研究と知識の教授を行うことを目的とした学院・研

究院構想を推進し、効率的な教育研究組織の形成を図ります。

これにより、分野の垣根を越えた研究プロジェクトによる新たな研究拠点の創設、外国語による講義や優秀な留学生を増やし、世界に開かれた大学、世界の教育研究拠点を目指します。

社会との連携

北海道大学は、社会への情報発信や地域との交流活動拠点として国内外の5つの学外オフィスの活用や、ホームページ・広報誌の充実、高校生を対象としたオープンキャンパスや入試広報さらには、公開講座や教員の講義ノートの世界へ発信するオープンコースウェアの充実など、本学への理解を得られるよう、多様な事業を展開していきます。

また、産学連携本部や創成研究機構など、地域・産業界との共同事業・共同研究の拠点をさらに強化・活用して、研究成果を社会へ還元し、社会との連携強化を図ります。

創基136年の歴史を基にさらなる挑戦

北海道大学は、大学の自主性・自立性をこれまで以上に発揮するために、2006年創基130年目の挑戦として、自らの努力はもちろんのこと、広く企業、個人及び同窓生の方々にご支援をいただくため「北大フロンティア基金」を創設しました。

この基金では、教育研究基盤の充実を図り、とりわけ優秀な人材の育成のため学生支援を中心にした活動を行い、地域社会や世界に貢献できる大学を目指しています。

本学では、建学の精神の一つである「フロンティア精神」を持って、多くの皆様方のご協力を得ながら、さらなる大学改革を進めていきます。

北海道大学の基本理念と長期目標

北海道大学は、大学院に重点を置く基幹総合大学であり、その起源は、日本最初の近代的大学として1876年に設立された札幌農学校に遡る。爾来、帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史のなかで、本学は、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念を掲げ、培ってきた。

社会の要請に応じて国立大学法人としての歩みを始めるにあたって、北海道大学は、これらの基本理念を再確認するとともに、社会に対する説明責任を認識しつつ、新たに獲得した自由の中で、新世紀における知の創成、伝承、実証の拠点として発展するための長期的な目標を、以下のように定めるものである。

フロンティア精神

フロンティア精神とは、学生及び教職員がそれぞれの時代の課題を引き受け、敢然として新しい道を切り拓いていくべきとする理想主義を意味する。札幌農学校の開校式にあたってクラーク博士が唱えた“lofty ambition”（高邁なる大志）という言葉辞を端緒として、世紀を超えて北海道大学を揺るぎなく支えてきた基本理念である。

21世紀に至り、学問におけるパラダイム転換や新たに提起される人類の課題に応え得る研究を不断に展開することが、現代におけるフロンティア精神の発現である。北海道大学は、学問の自由を基礎に、純理と応用の別を問わない創造性豊かな研究を推進するとともに、大学院組織等の柔軟な展開を通じて研究教育機能を飛躍的に発展させることにより、人類史的課題に応え得る世界水準の研究の推進を目指す。

国際性の涵養

欧米の文化と科学技術を導入し、外国人教師の英語による授業を行った札幌農学校は、設立当初から多様な世界にその精神を開いていた。それ以来、多くの本学の卒業生が海外において活躍し、国際性の涵養という理念が、さまざまな形で受け継がれている。

教養教育の充実によって自文化の自覚に裏づけられた異文化理解能力を養い、外国語コミュニケーション能力を高め、国際的に活躍できる人材を育成することの必要性はいうまでもない。北海道大学は、学生及び教職員の国際性を涵養し、国際社会の発展に寄与するため、海外留学・研修の機会を拡大するとともに、外国人研究者・留学生の受け入れを積極的に推進し、アジア・北方圏をはじめとする世界の人々との文化的・社会的交流の促進を目指す。

全人教育

札幌農学校は、農業専門家の養成に止まらず、豊かな人間性と高い知性を兼ね備え、広い教養を身につけた人間の育成を図った。このことは、内村鑑三、志賀重昂、新渡戸稲造、有島武郎など思想・文学をはじめ、人文社会分野における優れた人材を次々に輩出したことにも示されている。北海道大学における全人教育の理念は、今日に至るまで、専門的知識を活用するための総合的判断力と高い識見を備えた人材育成の基盤としての教養教育を重視する伝統として継承されている。

この理念をさらに発展させるために、北海道大学は、豊かな人間性と高い知性を涵養する幅広い人間教育を進め、自由・自主独立の精神の涵養と自律的個の確立を図るとともに、人権を尊重し、社会的要請に的確に対応しうる基盤的能力の育成を目指す。

実学の重視

実学の重視という理念は、札幌農学校が設立後の様々な苦難を乗り越えて総合大学へと発展する過程において二つの意味を含みつつ定着した。即ち現実世界と一体となった普遍的学問の創造としての研究と、基礎研究のみならず応用や実用化を重んじ研究成果の社会還元を重視するという意味である。北海道の広大な自然の中で行なわれた宮部金吾の植物の研究や中谷宇吉郎による雪の研究等は、身近な現象を芽として普遍的真理を創造した研究の精華であったし、北海道大学における研究の中には、北海道の産業とともに発展したものが少なくない。

北海道大学は、実学重視の理念の普遍的かつ今日的意義を追求し、現実世界と一体となった普遍的真理や、北海道の特性を生かした学問の創造を推進するとともに、産学官の連携協働の拡大を通じて、研究成果を北海道、さらに日本、世界に還元する。あわせて大学院における高度な専門家及び職業人の養成並びに社会人教育を充実することを目指す。

Contents

● 総長からのメッセージ	
● 基本理念と長期目標	1
● 沿革	2・3
● 組織	
教育研究組織図	4
運営組織図・事務組織図	5
役員・経営協議会委員・	
教育研究評議会評議員	6
部局長等	6・7
栄誉	8
教職員数	9
大学院・学部	10~17
附置研究所	18
全国共同利用施設・総合博物館	19
学内共同教育研究施設等	20・21
附属図書館	22
北海道大学病院	23
● 学生	
高等教育推進機構	24
入学支援	24
就職支援	24
人材育成	25
学生数統計	25
学生数	26・27
入学状況	28・29
卒業・修了者数（学位授与数）	30
進路状況	31
● 国際交流	
国際本部	32
外国人留学生数	32・33
国際交流協定締結状況	34~38
海外拠点	38
● 寄附講座・公開講座等の実施状況	
寄附講座等	39
公開講座等	40・41
● 全学的な教育・研究体制	
産学官連携・研究支援	42・43
教育・研究プログラム	44・45
● 財政	
平成24年度収入・支出予算	46
科学研究費補助金等	47
土地・建物・船舶	48
● キャンパス	
サステイナブルキャンパス推進本部・	
安全衛生本部	49
札幌キャンパス・函館キャンパス	50
札幌キャンパス施設配置図	51
施設所在地一覧	52・53

沿革

● 設置改廃関係 ● 歴代総長関係

「札幌農学校時代」 1876年～

明治 9年(1876) 7月	● マサチューセッツ農科大学長W. S. クラークが札幌農学校教頭として、教師ホイラーと教師ベンハロー及び学生11人とともに札幌に到着
8月	● 14日、札幌農学校開校式挙行(本学開学記念日)
12月	● 調所広丈(開拓少判官)が校長兼務
11年(1878) 10月	● 書籍庫(後の図書館)新築
14年(1881) 2月	● 演武場(現在の時計台)竣工
19年(1886) 7月	● 森 源三(開拓権少書記官)が校長兼務
12月	● 植物園竣工
20年(1887) 3月	● 佐藤秀顕(北海道庁理事官)が校長事務取扱兼務
21年(1888) 12月	● 佐藤昌介が幹事(校長職務代理)兼務
24年(1891) 8月	● 橋口文蔵が校長に就任
27年(1894) 4月	● 佐藤昌介が校長に就任

「東北帝国大学農科大学時代」 1907年～

明治40年(1907) 9月	● 東北帝国大学が設置され、札幌農学校が東北帝国大学農科大学となり、大学予科などを付設(9月11日、開学式挙行)
	● 書籍庫を図書館と改称
	● 佐藤昌介が東北帝国大学農科大学長に就任

「北海道帝国大学時代」 1918年～

大正 7年(1918) 4月	● 北海道帝国大学が設置され、東北帝国大学農科大学が北海道帝国大学農科大学となった
	● 佐藤昌介が北海道帝国大学総長に就任(北海道帝国大学農科大学長兼務)
8年(1919) 4月	● 農学部設置(農科大学を改称)
	● 医学部設置
10年(1921) 4月	● 医学部附属医院設置(同年11月診療開始)
11年(1922) 5月	● 図書館を附属図書館と改称
13年(1924) 9月	● 工学部設置
昭和 5年(1930) 4月	● 理学部設置
12月	● 南 鷹次郎が総長に就任
8年(1933) 12月	● 高岡熊雄が総長に就任
12年(1937) 12月	● 今 裕が総長に就任
16年(1941) 11月	● 低温科学研究所設置
18年(1943) 2月	● 触媒研究所設置
	● 超短波研究所設置
20年(1945) 7月	● 事務局及び学生部設置
11月	● 伊藤誠哉が総長に就任
21年(1946) 3月	● 超短波研究所を応用電気研究所と改称
22年(1947) 4月	● 法文学部設置

「北海道大学時代」 1947年～

昭和22年(1947) 10月	● 北海道帝国大学が北海道大学となった
24年(1949) 5月	● 国立学校設置法が公布・施行され、新制の北海道大学(法文・教育・理・医・工・農・水産(函館市)の各学部)設置
	● 医学部附属医院を医学部附属病院と改称
	● 伊藤誠哉が北海道大学長に就任

6月	● 教養学科(昭26.4～一般教養部)設置
25年(1950) 3月	● 大学予科廃止
4月	● 結核研究所設置
	● 法文学部が文学部と法経学部に分離
10月	● 島 善鄰が学長に就任
27年(1952) 4月	● 獣医学部設置
28年(1953) 4月	● 新制大学院(文・教育・法・経済・理・工・農・獣医・水産の各研究科)設置
8月	● 法経学部が法学部と経済学部に分離
29年(1954) 10月	● 杉野目晴貞が学長に就任
30年(1955) 4月	● 大学院に医学研究科を設置
32年(1957) 7月	● 一般教養部を教養部と改称
33年(1958) 4月	● 大学院に薬学研究科を設置
36年(1961) 5月	● 工業教員養成所設置(昭44.3廃止)
40年(1965) 4月	● 薬学部設置
41年(1966) 10月	● 古市二郎が学長に就任
42年(1967) 2月	● 古市二郎学長逝去に伴い阿部 與が学長事務取扱に就任
5月	● 堀内壽郎が学長に就任
6月	● 歯学部設置
8月	● 歯学部附属病院開院
45年(1970) 4月	● 大型計算機センター(全国共同利用施設)設置
46年(1971) 5月	● 丹羽貴知蔵が学長に就任
47年(1972) 5月	● 保健管理センター設置
	● 体育指導センター設置
49年(1974) 4月	● 大学院に歯学研究科を設置
6月	● 結核研究所が免疫科学研究所に改組
50年(1975) 5月	● 今村成和が学長に就任
52年(1977) 4月	● 大学院に環境科学研究科(独立研究科)を設置
53年(1978) 4月	● スラブ研究センター設置
	● アイソトープ総合センター設置
54年(1979) 4月	● 情報処理教育センター設置
	● 機器分析センター設置
55年(1980) 10月	● 医療技術短期大学部設置
56年(1981) 4月	● 言語文化部設置
	● 実験生物センター設置
5月	● 有江幹男が学長に就任
60年(1985) 4月	● 遺伝子実験施設設置
62年(1987) 5月	● 伴 義雄が学長に就任
平成元年(1989) 5月	● 触媒化学研究センター(全国共同利用施設)設置(触媒研究所廃止)
2年(1990) 6月	● スラブ研究センターが全国共同利用施設に改組
3年(1991) 4月	● 留学生センター設置
	● 量子界面エレクトロニクス研究センター設置
5月	● 廣重 力が学長に就任
4年(1992) 4月	● 応用電気研究所が電子科学研究所に改組
5年(1993) 4月	● 大学院に地球環境科学研究科(独立研究科)を設置(大学院の環境科学研究科を廃止)
6年(1994) 6月	● エネルギー先端工学研究センター設置
7年(1995) 4月	● 教養部廃止

- 高等教育機能開発総合センター設置
- 低温科学研究所が全国共同利用施設に改組
- 大学院の理学研究科、獣医学研究科が大学院講座制に移行（いわゆる大学院重点化）
- 環境保全センター設置

5月 ● 丹保憲仁が総長に就任

8年(1996) 5月 ● 先端科学技術共同研究センター設置

8月 ● ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置

9年(1997) 4月 ● 大学院の工学研究科が大学院講座制に移行

10年(1998) 4月 ● 大学院の薬学研究科が大学院講座制に移行

11年(1999) 4月 ● 大学院の農学研究科が大学院講座制に移行
● 情報メディア教育研究総合センター設置（情報処理教育センター廃止）
● 総合博物館設置

12年(2000) 4月 ● 大学院の文学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科、医学研究科、歯学研究科及び水産科学研究科が大学院講座制に移行
● 大学院に国際広報メディア研究科（独立研究科）を設置

● 遺伝子病制御研究所設置（免疫科学研究所改組及び医学部附属癌研究施設廃止）
● 北ユーラシア・北太平洋地域研究センター設置

13年(2001) 4月 ● 北方生物圏フィールド科学センターの設置に伴い、理学部附属臨海実験所・海藻研究施設、農学部附属植物園・農場・演習林・牧場、水産学部附属洞爺湖臨湖実験所・白尻水産実験所・七飯養魚実習施設廃止
● 先端科学技術共同研究センターの整備に伴い、理学部附属動物染色体研究施設、実験生物センター及び遺伝子実験施設廃止
● 量子集積エレクトロニクス研究センター設置（量子界面エレクトロニクス研究センター廃止）

5月 ● 中村睦男が総長に就任

14年(2002) 2月 ● 創成科学研究機構設置

4月 ● 練習船うしお丸新設（練習船北星丸廃止）

15年(2003) 4月 ● 情報基盤センター設置（大型計算機センター及び情報メディア教育研究総合センター廃止）

9月 ● 脳科学研究教育センター設置

10月 ● 医学部保健学科設置
● 北海道大学院設置（医学部附属病院と歯学部附属病院を統合）
● 知的財産本部設置

18年(2006) 4月 ● 大学院に理学研究院、薬学研究院、農学研究院、先端生命科学研究院、理学院、農学院、生命科学学院を設置（大学院理学研究科、薬学研究科、農学研究科廃止）
● 観光学高等研究センター設置

19年(2007) 3月 ● 教育研究支援本部（運営組織）設置
● 医療技術短期大学部廃止

4月 ● 情報環境推進本部（運営組織）設置
● 大学院に教育学研究院及びメディア・コミュニケーション研究院、教育学院、国際広報メディア・観光学院を設置（大学院教育学研究科、国際広報メディア研究科及び言語文化部廃止）
● 外国語教育センター設置
● アイヌ・先住民研究センター設置
● 社会科学実験研究センター設置

5月 ● 佐伯 浩が総長に就任

10月 ● 知的財産本部を廃止し知財・産学連携本部（運営組織）へ移行

20年(2008) 4月 ● 大学院に保健科学研究院及び保健科学院（修士課程）を設置

● 情報法政策学研究センター設置
● 環境ナノ・バイオ工学研究センター設置
● 数学連携研究センター設置
● サステイナビリティー学教育研究センター設置
● アドミッションセンターが学内共同教育研究施設から運営組織に移行

21年(2009) 4月 ● 知財・産学連携本部（運営組織）を産学連携本部（運営組織）に改組

● 人材育成本部（運営組織）設置
● トポロジー理工学教育研究センター設置
● 創成科学共同研究機構及び機器分析センターを廃止し創成研究機構（運営組織）へ移行

8月 ● 附属図書館の北分館を北図書館と改称

22年(2010) 4月 ● 大学院に工学研究院、工学院を設置（大学院工学研究科廃止）

● 大学院に総合化学院を設置
● 大学院に保健科学院（博士後期課程）を設置
● 環境健康科学研究教育センター設置
● 保健センター設置（保健管理センター廃止）
● エネルギー変換マテリアル研究センターを廃止し、大学院工学研究院附属施設（エネルギー・マテリアル融合領域研究センター）へ移行

7月 ● 国際本部（運営組織）設置（留学生センターを同本部内に移行）

10月 ● 高等教育推進機構（運営組織）設置（高等教育機能開発総合センターを廃止し、同機構内に移行）

11月 ● サステイナブルキャンパス推進本部（運営組織）設置

23年(2011) 3月 ● 安全衛生本部（運営組織）設置

4月 ● 探索医療教育研究センター設置
● ベンチャービジネス・ラボラトリーを知識メディア・ラボラトリーに改称
● 環境保全センターを廃止し、サステイナブルキャンパス推進本部（運営組織）内に移行

24年(2012) 4月 ● 獣医学部と帯広畜産大学畜産学部による共同獣医学課程を設置
● 大学院に生命科学院臨床薬学専攻（博士課程）を設置

「国立大学法人北海道大学時代」 2004年～

平成16年(2004) 4月 ● 北海道大学が国立大学法人北海道大学となった
● 大学院に情報科学研究科（独立研究科）を設置
● エネルギー変換マテリアル研究センター設置（エネルギー先端工学研究センター廃止）

17年(2005) 3月 ● 北ユーラシア・北太平洋地域研究センター廃止

4月 ● 大学院に水産科学研究院、地球環境科学研究院、水産科学院、環境科学院を設置（大学院水産科学研究科、地球環境科学研究科（独立研究科）廃止）
● 大学院に公共政策学教育部（専門職大学院）、公共政策学連携研究部を設置

● 創成科学共同研究機構設置（先端科学技術共同研究センター及び創成科学研究機構を統合）
● 体育指導センターが高等教育機能開発総合センターに統合

● 人獣共通感染症リサーチセンター設置
● アドミッションセンター設置

5月 ● 大学文書館設置

教育研究組織図

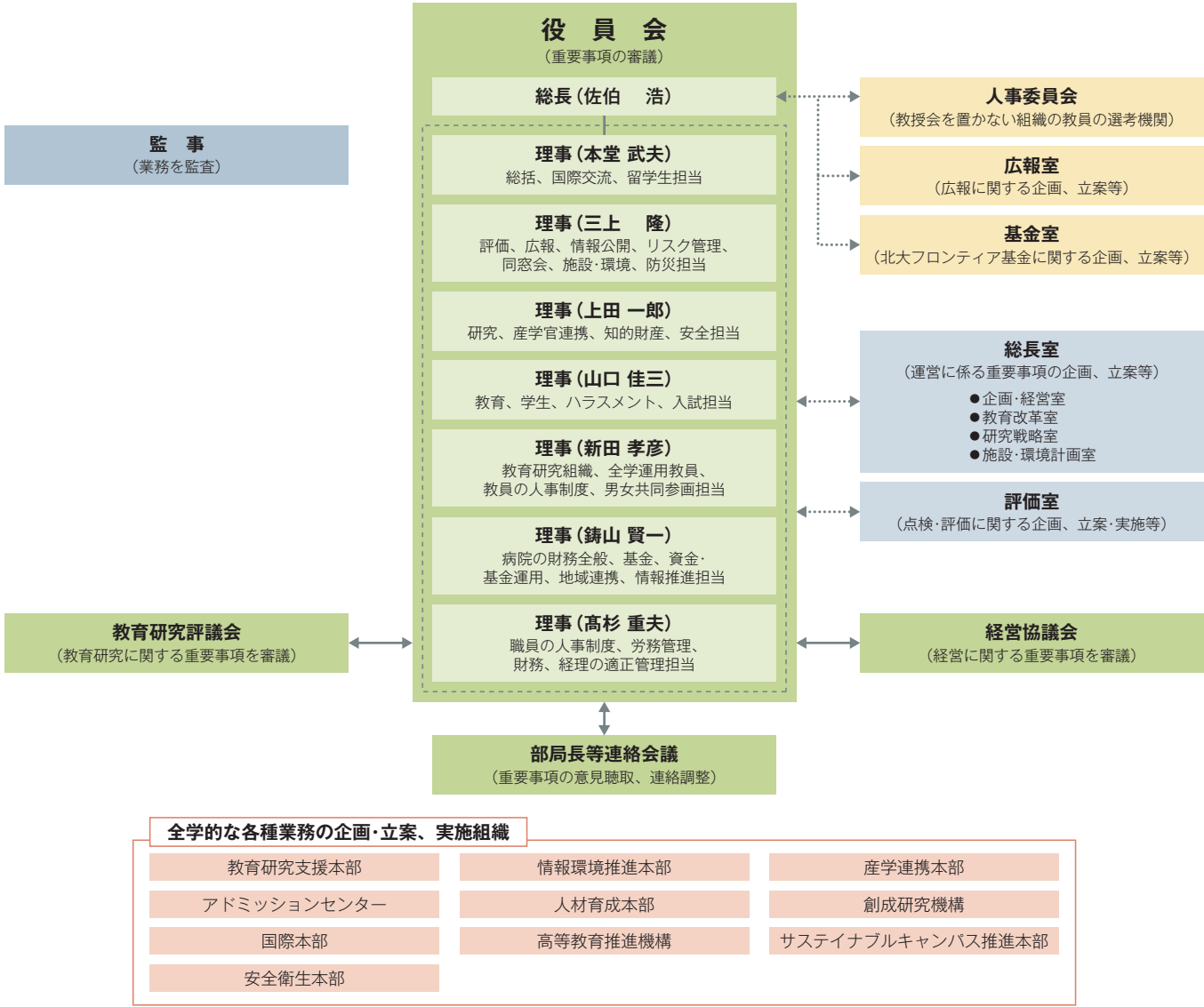
平成24年5月1日現在



* 共同利用・共同研究拠点を示す
☆ 教育関係共同利用拠点を示す

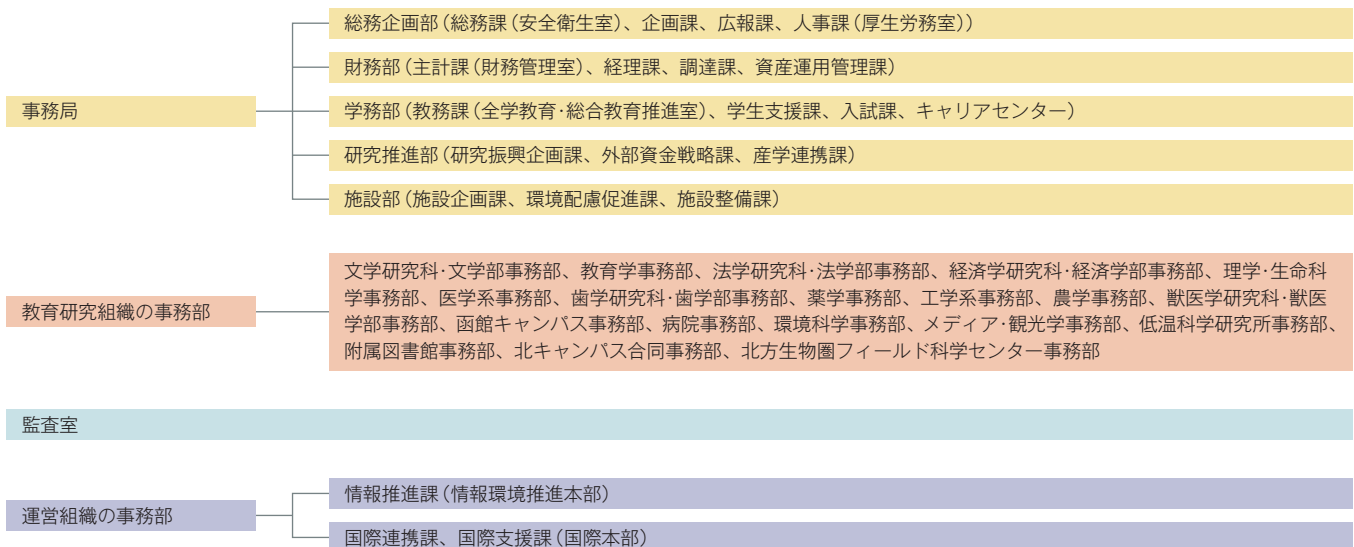
運営組織図

平成24年5月1日現在



事務組織図

平成24年5月1日現在



沿革

組織

学生

国際交流

寄附講座・公開講座等の
実施状況

全学的な教育研究体制

財政

キャンパス

役員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員

平成24年6月1日現在

北海道大学役員		
総長	佐伯 浩	
理事・副学長	本堂 武夫	
理事・副学長	三上 隆	
理事・副学長	上田 一郎	
理事・副学長	山口 佳三	
理事・副学長	新田 孝彦	
理事	鑄山 賢一	
理事・事務局長	高杉 重夫	
監事	米澤 勉	
監事	上野 昌美	

経営協議会委員		
学内委員		
総長	佐伯 浩	
理事	本堂 武夫	
理事	三上 隆	
理事	上田 一郎	
理事	山口 佳三	
理事	新田 孝彦	
理事	鑄山 賢一	
理事	高杉 重夫	
大学院経済学研究科長	吉見 宏	
大学院水産科学研究院長	嵯峨 直恆	
北海道大学病院長	福田 諭	
スラブ研究センター長	宇山 智彦	

学外委員		
北海道新聞社論説主幹	奥田 俊彦	
㈱ジャフコ常勤監査役	毛塚 富雄	
北海道経済連合会会長 北海道電力㈱取締役相談役	近藤 龍夫	
北海道大学連合同窓会会長 JFEホールディングス㈱相談役	数土 文夫	
北海道副知事	高井 修	
ブライスウォーターハウスコーパス㈱パートナー PPP・インフラ政府部門 アジア太平洋地区代表	野田 由美子	
弁護士(林菜つみ法律事務所)	林 菜つみ	
前国立大学法人岩手大学長 国立大学法人福島大学監事	平山 健一	
国立保健医療科学院長	松谷 有希雄	
北海道高等学校長協会会長 北海道札幌月寒高等学校長	山本 伸弘	
㈱アークス代表取締役社長 ㈱ラルス代表取締役会長兼CEO	横山 清	
北海道経済産業局長	和田 修一	

教育研究評議会評議員		
総長	佐伯 浩	
理事	本堂 武夫	
理事	三上 隆	
理事	上田 一郎	
理事	山口 佳三	
理事	新田 孝彦	

理事	鑄山 賢一	
理事	高杉 重夫	
大学院文学研究科長	舩 和順	
大学院文学研究科(文学部)	白木 旭児	
大学院法学研究科長	松久 三四彦	
大学院法学研究科(法学部)	亘 理格	
大学院経済学研究科長	吉見 宏	
大学院経済学研究科(経済学部)	久保田 肇	
大学院医学研究科長	玉木 長良	
大学院医学研究科(医学部)	笠原 正典	
大学院歯学研究科長	鈴木 邦明	
大学院歯学研究科(歯学部)	横山 敦郎	
大学院獣医学研究科長 人獣共通感染症リサーチセンター長	伊藤 茂男	
大学院獣医学研究科(獣医学部)	稲葉 睦	
大学院情報科学研究科長	栗原 正仁	
大学院水産科学研究院長	嵯峨 直恆	
大学院水産科学研究院(水産学部)	飯田 浩二	
大学院地球環境科学研究科長	嶋津 克明	
大学院理学研究院長	山下 正兼	
大学院理学院長	寺尾 宏明	
大学院理学研究院(理学部)	稲辺 保	
大学院薬学研究科長	松田 彰	
大学院薬学研究科(薬学部)	南 雅文	
大学院農学研究科長	松井 博和	
大学院農学研究科(農学部)	伴 戸久徳	
大学院先端生命科学研究院長	川端 和重	
大学院生命科学院長	高橋 孝行	
大学院教育学研究院長	姉崎 洋一	
大学院教育学研究院(教育学部)	室橋 春光	
大学院メディア・コミュニケーション研究院長	宮下 雅年	
大学院保健科学研究院長	伊達 広行	
大学院工学研究院長	馬場 直志	
大学院工学研究院(工学部)	名和 豊春	
大学院総合化学院長	覺 知豊次	
大学院公共政策学教育部長	宮 脇 淳	
北海道大学病院長	福田 諭	
低温科学研究所長	古川 義純	
電子科学研究所長	三澤 弘明	
遺伝子病制御研究所長	高岡 晃教	
触媒化学研究センター長	福岡 淳	
スラブ研究センター長	宇山 智彦	
情報基盤センター長	高井 昌彰	
北方生物圏フィールド科学センター長	近藤 誠司	
外国語教育センター長	宇佐見 森吉	

部局長等

平成24年5月1日現在

運営組織		
教育研究支援本部長	本堂 武夫	
情報環境推進本部長	佐伯 浩	
産学連携本部長	上田 一郎	
アドミッションセンター長	山口 佳三	
人材育成本部長	山口 佳三	
創成研究機構長	上田 一郎	
国際本部長	本堂 武夫	
副本部長・留学生センター長	杉浦 秀一	
高等教育推進機構長	山口 佳三	
サステイナブルキャンパス推進本部長	三上 隆	
安全衛生本部長	上田 一郎	

大学院・学部		
文学研究科長・文学部長	舩 和順	
法学研究科長・法学部長	松久 三四彦	
経済学研究科長・経済学部長	吉見 宏	
医学研究科長・医学部長	玉木 長良	
歯学研究科長・歯学部長	鈴木 邦明	
獣医学研究科長・獣医学部長	伊藤 茂男	
情報科学研究科長	栗原 正仁	
水産科学院長・水産科学研究院長・水産学部長	嵯峨 直恆	
環境科学院長・地球環境科学研究院長	嶋津 克明	
理学院長	寺尾 宏明	
理学研究院長・理学部長	山下 正兼	
薬学研究科長・薬学部長	松田 彰	

農学院長・農学研究院長・農学部長	松井博和
生命科学院長	高橋孝行
先端生命科学研究院長	川端和重
教育学院長・教育学研究院長・教育学部長	姉崎洋一
国際広報メディア・観光学院長・メディア・コミュニケーション研究院長	宮下雅年
保健科学院長・保健科学研究院長	伊達広行
工学院長・工学研究院長・工学部長	馬場直志
総合化学院長	覚知豊次
公共政策学教育部長・公共政策学連携研究部長	宮脇淳
北海道大学病院	
北海道大学病院長	福田諭
附置研究所	
低温科学研究所長	古川義純
電子科学研究所長	三澤弘明
遺伝子病制御研究所長	高岡晃教
附属図書館	
館長	新田孝彦
副館長・北図書館長	望月恒子
全国共同利用施設	
触媒化学研究センター長	福岡淳
スラブ研究センター長	宇山智彦
情報基盤センター長	高井昌彰
学内共同教育研究施設等	
アイソトープ総合センター長	畠山鎮次
総合博物館長	津曲敏郎
量子集積エレクトロニクス研究センター長	福井孝志
北方生物圏フィールド科学センター長	近藤誠司
知識メディア・ラボラトリー長	田中譲
脳科学研究教育センター長	吉岡充弘
人獣共通感染症リサーチセンター長	伊藤茂男
大学文書館長	新田孝彦
観光学高等研究センター長	石森秀三
外国語教育センター長	宇佐見森吉
アイヌ・先住民研究センター長	常本照樹
社会科学実験研究センター長	亀田達也
情報法政策学研究センター長	田村善之
環境ナノ・バイオ工学研究センター長	船水尚行
数学連携研究センター長	津田一郎
サステイナビリティ学教育研究センター長	山中康裕
トボロジー理工学教育研究センター長	丹藤聡
環境健康科学研究教育センター長	齋藤健
探索医療教育研究センター長	安田和則
保健センター長	武蔵学
附属教育研究施設等	
法学研究科 高等法政教育研究センター長	鈴木賢
医学研究科 動物実験施設長	畠山鎮次
獣医学研究科 動物病院長	滝口満喜
理学研究院	
地震火山研究観測センター長	谷岡勇市郎
ゲノムダイナミクス研究センター長	瀧谷重治
原子核反応データベース研究開発センター長	合川正幸
先端生命科学研究院 次世代ポストゲノム研究センター長	五十嵐靖之
教育学研究院 子ども発達臨床研究センター長	室橋春光
工学研究院 エネルギー・マテリアル融合領域研究センター長	秋山友宏
公共政策学連携研究部 公共政策学研究センター長	松本勝明
薬学部 薬用植物園長	鈴木利治
水産学部	
練習船おしよ丸船長	高木省吾
練習船うしお丸船長	亀井佳彦
低温科学研究所 環オホーツク観測研究センター長	江淵直人
電子科学研究所 グリーンナノテクノロジー研究センター長	笹木敬司
遺伝子病制御研究所	
動物実験施設長	森松正美
感染癌研究センター長	田中一馬
事務組織	
事務局長(兼務)	高杉重夫
総務企画部長	山口良文
総務課長	辻邦章

安全衛生室長	萩原俊博
企画課長	山内一昭
広報課長	寺澤睦隆
人事課長	佐藤隆成
厚生労務室長	阿部康成
財務部長	多田晴観
主計課長	三上洋一
財務管理室長	伊藤正史
経理課長	大日向孝治
調達課長	小谷正雄
資産運用管理課長	佐々木博之
学務部長	村田幸彦
教務課長	西田久美子
全学教育・総合教育推進室長	岡林精二
学生支援課長	高橋伸治
入試課長	近藤俊治
キャリアセンター長	小柴正則
キャリアセンター課長	徳山雅一
研究推進部長	横山儀八
研究振興企画課長	多谷司
外部資金戦略課長	斎藤之史
産学連携課長	長谷川康弘
施設部長	矢部輝雄
施設企画課長	加藤公洋
環境配慮促進課長	長井一夫
施設整備課長	佐藤哲夫
文学研究科・文学部事務長	大井芳美
教育学事務部事務長	谷口貢
法学研究科・法学部事務長	西村信毅
経済学研究科・経済学部事務長	佐藤憲尋
理学・生命科学事務部長(事務課長 兼務)	片岡平和
医学系事務部長	下出明久
総務課長	成澤顕久
会計課長	大森あけみ
保健科学研究院事務課長	三本木毅
歯学研究科・歯学部事務長	佐藤孝行
薬学事務部事務長	武良博己
工学系事務部長	構野秀樹
総務課長	植西勇夫
経理課長	山本正幸
教務課長	見永博英
情報科学研究科事務課長	不動康則
農学事務部事務長	向井地博之
獣医学研究科・獣医学部事務長	長谷川高正
函館キャンパス事務部事務長	川上豊
病院事務部長	山木宏明
総務課長	竹見吉弘
経営企画課長	長川武司
管理課長	高橋秀真
医事課長	大橋元
医療支援室長	樋口順一
環境科学事務部事務長	久保修
メディア・観光学事務部事務長	藤本日出夫
低温科学研究所事務長	柴田仁
附属図書館事務部長	片山俊治
管理課長	杉田福夫
利用支援課長	杉本宏子
学術システム課長	山本和雄
北キャンパス合同事務部事務長	岩淵徹也
北方生物圏フィールド科学センター事務長	松岡典子
監査室長	渡邊正明
情報環境推進本部	
情報推進課長	伊藤和彦
国際本部	
副本部長	川野辺創
国際連携課長	五味田將
国際支援課長	小形徳応

栄 誉

平成24年5月1日現在

ノーベル賞

鈴木 章 (名誉教授)

2010年 ノーベル化学賞受賞
有機ホウ素化合物のクロスカップリング反応に関する研究



The Nobel Prize® and the Nobel Prize® medal design mark are registered trademarks of the Nobel Foundation.

文化勲章

受章者	受章年	受賞時の職名	主な業績
宮部 金吾	1946年	名誉教授	植物学全般に関する研究
鈴木 章	2010年	名誉教授	有機ホウ素化合物のクロスカップリング反応に関する研究

文化功労者

受賞者	受賞年	受賞時の職名	主な業績
松村 松年	1954年	名誉教授	昆虫学全般に関する研究
伊藤 誠哉	1959年	名誉教授	作物病害と菌類に関する植物病理学研究
坂村 徹	1976年	名誉教授	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
高橋 萬右衛門	1995年	名誉教授	イネの遺伝に関する研究
鈴木 章	2010年	名誉教授	有機ホウ素化合物のクロスカップリング反応に関する研究

日本学士院賞

受賞者	受賞年	受賞時の職名	受賞理由
今 裕	1934年 ※帝国学士院賞	医学部 教授	細胞の銀反応の研究
功力 金二郎	1939年 ※帝国学士院賞	理学部 教授	抽象空間の研究
堀内 壽郎	1940年 ※帝国学士院恩賜賞	理学部 教授	化学反応速度論の理論及実験的研究
中谷 宇吉郎	1941年 ※帝国学士院賞	理学部 教授	雪に関する研究
茅 誠司	1942年 ※帝国学士院賞	理学部 教授	強磁性結晶体の磁気的研究
鈴木 醇	1949年	理学部 教授	超塩基性岩類並びにこれに附随する鉱床に関する研究
牧野 佐二郎	1958年	理学部 教授	動物染色体の研究
福士 貞吉	1958年	農学部 教授	植物ウイルス病の虫媒伝染に関する研究
長尾 正人	1965年	農学部 教授	イネにおける十二連鎖群の研究
高橋 萬右衛門	1965年	農学部 助教授	イネにおける十二連鎖群の研究
藤田 宏達	1971年	文学部 教授	原始浄土思想の研究
石塚 喜明	1975年	名誉教授	水稻の栄養生理学的研究とその応用 (共同研究)
田中 明	1975年	農学部 教授	水稻の栄養生理学的研究とその応用 (共同研究)
横山 泉	1981年	理学部 教授	重力異常の分布からみた火山の構造
伴 義雄	1984年	薬学部 教授	インドールアルカロイドの合成研究
四方 英四郎	1986年	農学部 教授	植物ウイルス及びウイロイドの研究
木下 俊郎	1993年	農学部 教授	高等植物における細胞質と核の相互作用の解析および作物育種への応用
大塚 榮子	1996年	薬学部 教授	核酸の合成と機能に関する研究—合成ras遺伝子関連の研究を中心として (共同研究)
松野 太郎	1997年	地球環境科学研究科 教授	中間圏・成層圏大気力学の解明
鈴木 章	2004年	名誉教授	パラジウム触媒を活用する新有機合成反応の研究 (共同研究)
喜田 宏	2005年	獣医学研究科 教授	インフルエンザ制圧のための基礎的研究—家禽、家畜およびヒトの新型インフルエンザウイルスの出現機構の解明と抗体によるウイルス感染性中和の分子的基盤の確立—

教職員数

平成24年5月1日現在

組織	総長	理事	監事	小計	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	専門職	事務職員	技術職員	合計
役員	1人	7人	2人	10人										10人
教育研究支援本部														0
情報環境推進本部												16	14	30
産学連携本部					1					1	3			4
アドミッションセンター														0
人材育成本部														0
創成研究機構						1				1	1		8	10
国際本部					1	6	4			11	4	24		39
高等教育推進機構					4	5				9			4	13
サステイナブルキャンパス推進本部														0
安全衛生本部														0
文学研究科・文学部					50	40		13		103			2	105
法学研究科・法学部					33	18		7	4	62		2		64
経済学研究科・経済学部					23	21		4	1	49	1			50
医学研究科・医学部					42	23	17	61	3	146			13	159
歯学研究科・歯学部					17	15	1	48		81			4	85
獣医学研究科・獣医学部					17	13	3	16		49			3	52
情報科学研究科					39	39		16		94				94
水産科学院・水産科学研究院・水産学部					33	40	1	11		85			39	124
環境科学院・地球環境科学研究院					21	25		10	1	57				57
理学院・理学研究院・理学部					75	68	8	49	2	202	1		20	223
薬学研究院・薬学部					15	12	3	27		57			3	60
農学院・農学研究院・農学部					45	42	21	20		128			11	139
生命科学院・先端生命科学研究院					13	5		10		28				28
教育学院・教育学研究院・教育学部					17	16		5	1	39				39
国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院					27	25		2		54				54
保健科学院・保健科学研究院					29	16	5	23	1	74				74
工学院・工学研究院・工学部					97	101	3	77	1	279			44	323
総合化学院														0
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部					11	6	3			20				20
北海道大病院					5	17	56	84		162			662	824
低温科学研究所					15	10	2	18		45			9	54
電子科学研究所					15	12	1	20		48			10	58
遺伝子病制御研究所					9	8	2	17		36			7	43
触媒化学研究センター					7	6		6		19			6	25
スラブ研究センター					8	3		3	1	15				15
情報基盤センター					7	4		2		13				13
アイノトップ総合センター					1	1		1		3			1	4
総合博物館					2	3	1	3		9				9
量子集積エレクトロニクス研究センター					3	3		1		7				7
北方生物圏フィールド科学センター					16	11		11		38			75	113
知識メディア・ラボラトリー														0
脳科学研究教育センター														0
人獣共通感染症リサーチセンター					5	4	1	2		12			2	14
大学文書館								1		1			1	2
観光学高等研究センター					2	2				4				4
外国語教育センター														0
アイヌ・先住民研究センター					2	3		1		6				6
社会科学実験研究センター								1		1				1
情報法政策学研究センター														0
環境ナノ・バイオ工学研究センター														0
数学連携研究センター														0
サステイナビリティ学教育研究センター					1					1				1
トポロジー理工学教育研究センター														0
環境健康科学研究教育センター														0
探索医療教育研究センター					1					1				1
保健センター					1		2			3			9	12
総務企画部												66	1	67
財務部												76		76
事務局												61		61
学務部												28		28
研究推進部												9	26	35
施設部												9	26	35
文学研究科・文学部事務部												15		15
教育学事務部												7		7
法学研究科・法学部事務部												17		17
経済学研究科・経済学部事務部												9		9
理学・生命科学事務部												39	2	41
医学系事務部												37	2	39
歯学研究科・歯学部事務部												9	1	10
薬学事務部												12		12
工学系事務部												68	3	71
農学事務部												20	1	21
獣医学研究科・獣医学部事務部												12		12
函館キャンパス事務部												22	4	26
病院事務部												112	6	118
環境科学事務部												10		10
メディア・観光学事務部												8		8
低温科学研究所事務部												8		8
附属図書館事務部												90		90
北キャンパス合同事務部												11		11
北方生物圏フィールド科学センター事務部												20		20
監査室												4		4
合計	1	7	2	10	710	624	134	570	15	2,053	10	812	993	3,878

外国人職員数	職員就業規則適用職員	左記以外の職員	合計
	51人	533人	584人 (平成24年6月1日現在)

沿革

組織

学生

国際交流

寄附講座・公開講座等の
実施状況

全学的な教育・研究体制

財政

キャンパス

大学院・学部

平成24年4月1日現在

文学研究科・文学部

Graduate School of Letters/Faculty of Letters



全人的人間性を陶冶する幅広い教養と高水準の研究を遂行し得る深い専門知識の教授、さらに、現実世界を適切に解釈する為の広い視野と総合的な判断力の養成を教育の理念に据える。学部教育では特に、外国語も含めた言語能力と人間の全体的把握への志向を養うことを目指す。

文学研究科 4専攻・19講座・1協力講座

専攻	講座
思想文化学	哲学、倫理学、宗教学インド哲学、芸術学
歴史地域文化学	日本史学、東洋史学、西洋史学、歴史文化論、北方文化論、○スラブ社会文化論
言語文学	西洋言語学、西洋文学、言語情報学、日本文化論、中国文化論、映像・表現文化論
人間システム科学	心理システム科学、行動システム科学、社会システム科学、地域システム科学

文学部 1学科・4学科目

学科	学科目
人文科学科	哲学文化学、歴史学人類学、言語文学、人間システム科学

法学研究科・法学部

Graduate School of Law/School of Law



研究科は「優れた教育研究後継者の育成」、「高度の専門的知識を持った職業人の育成」、「高度な専門性と幅広い視野を身につけた法曹の養成」、学部は「複雑多様な社会現象に適切に対処しうる基礎的能力の涵養」、「豊かな人間性、知的感性を備えた指導的人材の育成」を教育理念とし、多様で充実したカリキュラム編成を特徴とする。

法学研究科 2専攻・5講座・1協力講座、1附属施設

専攻	講座
法学政治学	現代法、基礎法、政治学、○高等法政
法律実務	民事法、公法

附属施設

高等法政教育研究センター

法学部 1課程・6学科目

課程	学科目
法学課程	公法、民事法、刑事法、社会法、基礎法学、政治学

経済学研究科・経済学部

Graduate School of Economics and Business Administration/School of Economics and Business Administration



「深い愛情と高い使命感をもって革新と創造に取り組む指導的人材の育成」「専門知識と社会倫理を備え社会的課題に立ち向う自律的知性の涵養」、加えて研究科では「世界に伍した経済学・経営学の研究を担える人材の育成」「経済学と経営学の融合及び近接科学との連携による高度専門職業人の育成」を教育目標とし、目的意識をもった学生に適したカリキュラムの編成を特徴とする。

経済学研究科 2専攻・5講座

専攻	講座
現代経済経営	経済分析、社会経済・歴史分析、経済政策、経営分析
会計情報	会計情報

経済学部 2学科・5学科目

学科	学科目
経済学科	経済理論、経済史、応用経済学
経営学科	経営学、経営情報

○は協力講座、※は寄附講座・寄附分野、◇は連携講座、〔 〕は連携分野を示す。

医学研究科・医学部

Graduate School of Medicine/School of Medicine



医学研究科の教育理念は「高い倫理観と豊かな人間性の涵養と高度な医学知識と技術の習得」であり、医学部は「医を支える高い倫理観と豊かな人間性の陶冶」、「高度な医学知識と技術の修得及びそれを維持する生涯学習を続ける態度・習慣の修得」、「医療チームにおいて他の専門職と連携し、高度医療を行う協調性の修得」を教育理念としている。

医学研究科 2専攻・17講座・2協力講座・10寄附講座・1連携講座、1附属施設

専攻	講座
医学	生化学、解剖学、生理学、薬理学、病理学、微生物学、予防医学、社会医療管理学、内科学、病態情報学、外科学、侵襲制御医学、機能再生医学、生殖・発達医学、感覚器病学、神経病態学、先端医学、○免疫科学、○痛病態学、※分子イメージング、※時間医学、※人工関節・再生医学、※炎症眼科学、※総合女性医療システム学、※探索病理学、※脊椎・脊髄先端医学、※眼循環代謝学、※移植外科学、※がん予防内科学、◇臨床系連携
医科学	

附属施設

動物実験施設



医学部 2学科・25学科目、1附属施設

学科	学科目
医学科	医学概論、医学史、人類遺伝学、解剖・発生学、生理学、生化学、薬理学、病理学、細菌学、法医学、医療情報学、衛生・公衆衛生学、内科学、外科学、生殖・発達医学、精神・脳神経医学、感覚器医学、機能回復医学、高次診断医学、リハビリテーション医学、侵襲制御医学
保健学科	看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学

附属施設

北海道大学病院 (歯学部との共用附属施設)



歯学研究科・歯学部

Graduate School of Dental Medicine/School of Dental Medicine



口腔の健康管理を通じて全身の健康の保持増進を図るため、歯学及び歯科医療に関する専門的な知識及び技術を教授することにより、医療従事者としての職業倫理、豊かな人間性及び課題探求心を備えた歯科医師、歯学教育者及び研究者を育成することを目的とする。歯科医師としての豊かな教養と知性の涵養のため、小グループ制の「全人教育演習」「早期臨床体験実習」並びに、問題解決能力養成のための「研究実習」など特徴ある教育内容を展開している。

歯学研究科 1専攻・3講座・1協力講座・1連携講座

専攻	講座
口腔医学	口腔機能学、口腔健康科学、口腔病態学、○顎機能医療学、◇長寿口腔科学

歯学部 1学科・9学科目、1附属施設

学科	学科目
歯学科	生体構造解析学、生体機能解析学、病因病態解析学、歯質・歯周再建学、咬合再建学、口腔診断内科学、口腔顎顔面外科学、発育加齢歯科学、口腔健康科学

附属施設

北海道大学病院 (医学部との共用附属施設)



獣医学研究科・獣医学部

Graduate School of Veterinary Medicine/School of Veterinary Medicine



「多様な獣医学の社会的使命を理解し、科学的な考え方と判断ができる、創造性と人間性豊かな獣医師の養成」、「社会の要請に応じて我が国のみならず世界的にも活躍できる高度の獣医学的知識と技術を備えた獣医学研究者の養成」を教育理念として、少人数教育により、動物疾病に関する広範かつ専門的知識と技術の教授を行うことが特徴である。

獣医学研究科 1専攻・5講座・1協力講座、1附属施設

専攻	講座
獣医学	比較形態機能学、動物疾病制御学、診断治療学、環境獣医学、応用獣医学、○人獣共通感染症学

附属施設

動物病院

獣医学部 1課程・4分野

課程	分野
共同獣医学課程	基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学

情報科学研究科

Graduate School of Information Science and Technology



高度情報社会の発展に貢献し、知識基盤社会の進展を図ることを教育研究の理念とし、情報科学の学理の継承及び創造を通じて、幅広く深い学識を有し、国際性を備えた技術者を育成するとともに、自立して研究開発を行うことができる創造力の豊かな研究者を養成することを目的とする。

情報科学研究科 6専攻・11講座・3協力講座・6連携講座

専攻	講座
複合情報学	複雑系工学、○大規模情報システム学
コンピュータサイエンス	知識ソフトウェア科学、数理計算科学、◇大規模離散計算科学
情報エレクトロニクス	集積システム、先端エレクトロニクス、○量子情報エレクトロニクス
生命人間情報科学	バイオインフォマティクス、生体システム工学、○生体機能工学、◇先端医学
メディアネットワーク	情報メディア学、情報通信システム学、◇ユビキタスネットワーク学、◇メディアネットワーク社会学
システム情報科学	システム創成情報学、システム融合情報学、◇システム展開情報学、◇システムセンシング情報学

水産科学院・水産科学研究院・水産学部

Graduate School of Fisheries Sciences/
Faculty of Fisheries Sciences/School of Fisheries Sciences

「人類の共有財産である海洋・水圏の生物資源の持続的生産とそれらの効率的利用、さらにそれらを担保する海洋生態系の保全の基礎と応用を総合的に考究する」ことを教育研究理念とし、国際社会、地域社会、産業社会からの共通の要請である地球環境問題、資源問題、食糧問題等を考え、創造的で意欲ある人材の養成を目的としている。そのために必要な高い専門性、広い視野と高い倫理観を養うことができるカリキュラム編成を特徴とする。

水産科学院 2専攻・12講座

専攻	講座
海洋生物資源科学	海洋生物学、資源生物学、海洋環境科学、海洋資源計測学、海洋産業科学、海洋生物資源保全部学
海洋応用生命科学	増殖生物学、育種生物学、海洋生物学、生物資源化学、生物資源利用学、安全管理保障科学

水産科学研究院 2部門・12分野

部門	分野
海洋生物資源科学	海洋生物学、資源生物学、海洋環境科学、海洋資源計測学、海洋産業科学、海洋生物資源保全部学
海洋応用生命科学	増殖生物学、育種生物学、海洋生物学、生物資源化学、生物資源利用学、安全管理保障科学

水産学部 4学科・4学科目、2附属施設

学科	学科目
海洋生物科学科	海洋生物学
海洋資源科学科	海洋資源科学
増殖生命科学科	増殖生命科学
資源機能化学科	資源機能化学

附属施設

練習船おしよ丸

練習船うしお丸

○は協力講座、※は寄附講座・寄附分野、◇は連携講座、〔 〕は連携分野を示す。

環境科学院・地球環境科学研究院

Graduate School of Environmental Science/Faculty of Environmental Earth Science



地球科学、生物学、物質科学などの自然科学に基礎をおき、地球規模の環境問題の解明と解決を目指す教育研究を行うとともに、これらの課題に取り組む研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。基礎学力に優れた学生を広く受け入れ、学際的な環境科学教育を行っている。総論、基礎論、特論、大学院共通講義、南極学カリキュラムなど多様なカリキュラムを用意し、本学全体の環境教育にも主導的な役割を果たしている。

環境科学院 4専攻・20コース

専攻	コース
環境起学	人間・生態システム、環境適応科学、実践環境科学、国際環境保全
地球圏科学	大気海洋化学・環境変遷学、大気海洋物理・気候力学、雪氷・寒冷圏科学
生物圏科学	生態系生物学、生態遺伝学、分子生物学、植物生態学、動物生態学、海洋圏科学、水圏生物学、森林圏環境学、耕地圏科学
環境物質科学	生体物質科学、ナノ環境材料、光電子科学、環境触媒化学



地球環境科学研究院 4部門・15分野

部門	分野
統合環境科学	自然環境保全、環境地理学、環境適応科学、実践・地球環境科学
地球圏科学	環境変動解析学、化学物質循環学、大気海洋物理学、気候力学
環境生物学	陸域生態学、生態保全学、生態遺伝学、環境分子生物学
物質機能科学	生体物質科学、機能材料化学、分子材料化学



理学院・理学研究院・理学部

Graduate School of Science/Faculty of Science/School of Science



自然がどのように創り上げられ、どのような作用をしているか、人間は絶えずそれを知りたい、理解したいという願望を抱いている。この願望に根ざして築き上げられてきた学問を理学院・理学研究院・理学部は担い、以下の人材を育成することを教育目標とする。

1. 事象の本質を見極め、またその背後にある法則性を確立できる人材の育成。(アイデアを普遍的な問題として理論化し、実証していく能力を養成する。物事をモデル化してとらえることができ、それを論理的かつ感覚的に表現できる能力を養成する。)
2. 学問研究の成果を論理的に表現して他人を論理的に説得し、リーダーシップをとって社会貢献できる人材の育成。

理学院 4専攻・10講座

専攻	講座
数学	数学
物性物理学	量子機能物理学、凝縮系物理学
宇宙物理学	素粒子・原子核・宇宙物理学、宇宙惑星科学
自然史科学	地球惑星ダイナミクス、地球惑星システム科学、多様性生物学、科学コミュニケーション、地震学火山学



理学研究院 5部門・13分野、3附属施設

部門	分野
数学	数学
化学	物理化学、無機・分析化学、有機・生命化学
物理学	量子物理学、電子物性物理学、凝縮系物理学、非線形物理学
自然史科学	宇宙惑星科学、地球惑星ダイナミクス、地球惑星システム科学、多様性生物学
生物科学	生物科学

附属施設

地震火山研究観測センター
ゲノムダイナミクス研究センター
原子核反応データベース研究開発センター



理学部 5学科・6学科目

学科	学科目
数学科	数学
物理学科	物理学
化学科	化学
生物科学科	生物学、高分子機能学
地球惑星科学科	地球惑星科学

薬学研究院・薬学部

Faculty of Pharmaceutical Sciences/School of Pharmaceutical Sciences and Pharmacy



「画期的医薬品の創製と適正な臨床適用」に向けて有為な人材（研究者や指導的薬剤師）の養成をめざす。そのために基礎薬学、生命科学、創薬科学、並びに医療薬学から成るファーマサイエンスに関する教育と研究を展開している。

薬学研究院 2部門・3分野・2寄附分野

部門	分野
創薬科学	生体機能科学、創薬化学、※生体情報科学(HSS・北海道和光純薬)
医療薬学	医療薬学、※医薬品リスク管理学(アインファーマシース)



薬学部 2学科・2学科目、1附属施設

学科	学科目
薬科学科	薬科学
薬学科	薬学

附属施設
薬用植物園

農学院・農学研究院・農学部

Graduate School of Agriculture/Research Faculty of Agriculture/School of Agriculture



地球レベルで存在する多様な人類の課題へ対応する新たな農学体系の創設と再構築を目指した研究を行うとともに、人類が持続的に生存するために必要な緊急課題解決までの全領域をカバーする教育体制を整備し、地域的並びに世界的視点からの判断能力を有する研究者及び高度専門職業人を養成する。

農学院 4専攻・15講座

専攻	講座
共生基盤学	共生農業資源経済学、食品安全・機能性開発学、バイオマス転換学、生物共生科学
生物資源科学	応用分子生物学、植物育種科学、作物生産生物学、家畜生産生物学
応用生物科学	食資源科学、生命分子化学
環境資源学	生物生態・体系学、地域環境学、森林資源科学、森林・緑地管理学、生物生産工学



農学研究院 4部門・16分野・1寄附分野

部門	分野
生物資源生産学	作物生産生物学、園芸緑地学、家畜生産学、畜産資源開発学、生物生産工学、農業経済学
環境資源学	生物生態・体系学、地域環境学、森林資源科学、森林管理保全学
応用生命科学	育種工学、応用分子生物学、生命有機化学、分子生命科学、食品科学、※微生物新機能開発学
流動研究	社会・地域・国際連携

農学部 7学科・7学科目

学科	学科目
生物資源科学科	生物資源科学
応用生命科学科	応用生命科学
生物機能化学科	生物機能化学
森林科学科	森林科学
畜産科学科	畜産科学
生物環境工学科	生物環境工学
農業経済学科	農業経済学

生命科学院

Graduate School of Life Science



ヒトゲノムを含めて、多くの生物の遺伝情報を利用した基礎及び応用研究が飛躍的に進展している生命科学分野において、我が国のさらなる発展に貢献できる優れた人材の養成をめざし、新しい試みを導入した教育システムによる大学院教育を展開している。

生命科学院 2専攻・4講座

専攻	講座
生命科学	生命融合科学、生命システム科学、生命医薬科学
臨床薬学	臨床薬学

○は協力講座、※は寄附講座・寄附分野、◇は連携講座、〔 〕は連携分野を示す。

先端生命科学研究院 Faculty of Advanced Life Science

生命科学は基礎領域から応用領域に至る、多彩な研究分野を含む大きな科学である。関連分野（生物学、物理学、化学、医学、薬科学）の専門研究者たちが集まり、新しい生命融合科学の創成を行う。同時に、附属次世代ポストゲノム研究センターでは、研究成果を社会に結びつける展開型研究を企業等との連携のもとに進めている。これらの研究教育活動を通して次世代の科学者の育成を行う。

先端生命科学研究院 2部門・13分野・1連携分野、1附属施設

部門	分野
先端融合科学研究	X線構造生物学、生命分子科学、ソフト&ウェットマターの科学、組織構築科学、細胞ダイナミクス科学、新薬探索研究、化学生物学、〔分子送達科学（日東電工）〕
生命機能科学研究	細胞生物学、分子細胞生物学、生物情報解析科学研究、細胞機能科学、糖鎖生物学、発生工学

附属施設
次世代ポストゲノム研究センター

教育学院・教育学研究院・教育学部 Graduate School of Education/Faculty of Education/School of Education

本学院・学部は、新しい教育理念とシステムの構築や多様な教育問題の解決をめざす基礎のおよび実践的な研究を推し進めていくことができる研究者の育成、高度な知識とスキルを有する職業人の育成、豊かな人間性を備え国際的な視野に立った教育課題に的確に対応し得る人間を育成することを目的とする。

教育学院 1専攻・8講座

専攻	講座
教育学	学校教育論、生涯学習論、教育社会論、教育心理学、臨床心理学、健康教育論、身体教育論、多元文化教育論

教育学研究院 1部門・2分野、1附属施設

部門	分野
教育学	人間発達科学、教育社会発展論

附属施設
子ども発達臨床研究センター

教育学部 1学科・4学科目

学科	学科目
教育学科	教育社会科学、教育基礎論、教育心理学、健康体育学

国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院 Graduate School of International Media, Communication, and Tourism Studies/Research Faculty of Media and Communication

広報・ジャーナリズム、メディア文化、言語コミュニケーション及び観光創造に関する分野において、現代社会の変化と課題に柔軟かつ的確に対応でき、地域社会及び国際社会において活躍できる専門的能力を備えた研究者、職業人の養成を目指している。

国際広報メディア・観光学院 2専攻・10講座・1寄附講座・1連携講座

専攻	講座
国際広報メディア	公共伝達論、ジャーナリズム論、国際広報論、メディア文化論、マルチメディア表現論、言語伝達論、言語習得論、日本語論、◇国際広報戦略論
観光創造	観光創造論、国際地域文化論、※観光地域マネジメント論

メディア・コミュニケーション研究院 1部門・9分野・1連携分野

部門	分野
メディア・コミュニケーション	公共伝達論、ジャーナリズム論、国際広報論、メディア文化論、マルチメディア表現論、言語伝達論、言語習得論、国際地域文化論、多元文化教育論、〔国際広報戦略論〕

保健科学院・保健科学研究院

Graduate School of Health Sciences/Faculty of Health Sciences



高度医療への社会的ニーズに応えるため、最先端の知識と実践技術を有し、次世代の保健科学を担う高度医療専門職の育成、及び専門分野を越えて世界の保健科学研究をリードする研究者の育成を目的とする。同時に、地域の医療水準の向上、健康増進に寄与するとともに、我が国の保健科学領域の高等教育及び学術研究水準の向上と発展を目指している。

保健科学院 1専攻・2コース

専攻	コース
保健科学	保健科学、看護学

保健科学研究院 1部門・7分野・2寄附分野

部門	分野
保健科学	基盤看護学、創成看護学、医用生体理工学、病態解析学、機能回復学、生活機能学、健康科学、※食品機能解析・保健栄養学(渡辺オイスター)、※北斗関節機能障害予防学

工学院・工学研究院・工学部

Graduate School of Engineering/Faculty of Engineering/School of Engineering



学問の継承及び創造を通じて、工学分野の基礎的素養及び高度な専門的素養を身に付けた、国際化、科学技術の高度化、学際化等に対応できる多様な知識、判断力及び実務対応能力を持つ人材の育成を目的とする。

工学院 12専攻・29講座・6連携講座

専攻	講座
応用物理学	量子物性工学、凝縮系物理学、光波動量子物理学、固体量子物理学
材料科学	エコマテリアル、マテリアル設計、エネルギー材料、エネルギー変換マテリアル、◇マテリアル製造、◇フロンティアエネルギー工学
機械宇宙工学	宇宙システム工学、機械フロンティア工学、◇宇宙探査工学
人間機械システムデザイン	バイオ・ロボティクス、マイクロシステム、◇バイオメディカルシミュレーション
エネルギー環境システム	エネルギー生産・環境システム、応用エネルギーシステム
量子理工学	応用量子ビーム工学、プラズマ理工学、ナノ材料科学、◇物質構造科学、◇核融合科学
環境フィールド工学	水圏環境工学、防災地盤工学
北方圏環境政策工学	寒冷地建設工学、技術環境政策学
建築都市空間デザイン	空間防災、空間計画
空間性能システム	空間性能、空間システム
環境創生工学	水代謝システム、環境管理工学
環境循環システム	資源循環工学、地圏循環工学

工学研究院 15部門・33分野・3寄附分野、1附属施設

部門	分野
応用物理学	量子物性工学、凝縮系物理学、光波動量子物理学、固体量子物理学
有機プロセス工学	有機工業化学、化学工学
生物機能高分子	生物工学、分子機能化学
物質化学	機能材料化学、無機材料化学
材料科学	エコマテリアル、マテリアル設計、エネルギー材料
機械宇宙工学	宇宙システム工学、機械フロンティア工学
人間機械システムデザイン	バイオ・ロボティクス、マイクロシステム
エネルギー環境システム	エネルギー生産・環境システム、応用エネルギーシステム
量子理工学	応用量子ビーム工学、プラズマ理工学
環境フィールド工学	水圏環境工学、防災地盤工学
北方圏環境政策工学	寒冷地建設工学、技術環境政策学、※寒冷地河川工学
建築都市空間デザイン	空間防災、空間計画
空間性能システム	空間性能、空間システム
環境創生工学	水代謝システム、環境管理工学、※バイオウエイストマネジメント工学
環境循環システム	資源循環工学、地圏循環工学、※土壌環境評価学

附属施設

エネルギー・マテリアル融合領域研究センター

工学部 4学科・16コース

学科	コース
応用理工学学科	応用物理学、応用化学、応用マテリアル工学
情報エレクトロニクス学科	情報工学、コンピュータサイエンス、電子情報、生体情報、メディアネットワーク、システム情報
機械知能工学科	機械情報、機械システム
環境社会工学科	社会基盤学、国土政策学、建築都市、衛生環境工学、資源循環システム

総合化学院 Graduate School of Chemical Sciences and Engineering

社会の要請に柔軟に対応することが可能な技術者や研究者の育成を目指し、基盤的化学の確実な理解のための共通教育と、企業での技術者・研究者、公的機関の研究者、さらには大学などの教育者など、学生の求めるキャリアパスに応じた展開的教育を理・工に所属する教員が相補的に連携しながら行い、社会の要請に応える人材を養成する。

総合化学院 1専攻・3コース(12講座)

専攻	コース・講座
総合化学	分子化学(反応解析学、反応制御学、触媒反応学、プロセス工学) 物質化学(分子物質化学、無機物質化学、先端物質化学、機能物質化学) 生物化学(生命分子化学、生物機能化学、細胞生物学、分子医化学)

**公共政策学教育部・公共政策学連携研究部** Graduate School of Public Policy/Faculty of Public Policy

政策の担い手が飛躍的に増大する時代に対応して、多様な人材を育成する。その特徴は第一に、定評あるトップレベルの教授陣による徹底した少人数教育、そして第二に、3つのクロスオーバーという新しい大学院の理念である。

国と地方の公務員はもちろん、民間企業やシンクタンク、非営利団体等における政策プロフェッショナルへの道を拓く。

公共政策学教育部 1専攻・3コース

専攻	コース
公共政策学	公共経営、国際政策、技術政策

公共政策学連携研究部 1部門・1分野、1附属施設

部門	分野
公共政策学	公共政策学

附属施設
公共政策学研究センター

合 計**研究科・専攻・講座、附属施設**

7研究科	18専攻・65講座・9協力講座・10寄附講座・8連携講座、3附属施設
------	------------------------------------

学院・専攻・講座・コース

10学院	33専攻・100講座・1寄附講座・7連携講座・25コース
------	------------------------------

教育部・専攻・コース

1教育部	1専攻・3コース
------	----------

研究院・部門・分野、附属施設

10研究院	37部門・123分野・8寄附分野・2連携分野、6附属施設
-------	------------------------------

連携研究部・部門・分野、附属施設

1連携研究部	1部門・1分野、1附属施設
--------	---------------

学部・学科・課程・学科目・コース・分野、附属施設

12学部	29学科・2課程・72学科目・16コース・4分野、4附属施設
------	--------------------------------

附置研究所

平成24年4月1日現在

※は寄附研究部門、◇は連携研究部門を示す。

低温科学研究所

(共同利用・共同研究拠点)

**Institute of Low
Temperature Science**

設置目的

寒冷圏及び低温条件の下における科学的現象に関する学理及びその応用の研究を行い、かつ、国立大学の教員及びその他の者で本研究の目的たる研究と同一の研究に従事するものに利用させることを目的とする。

共同研究推進部	
研究部門	研究分野
水・物質循環	海洋・海氷動態、大気海洋相互作用、雲科学、大気環境、大気陸面相互作用、水文気象
雪氷新領域	氷河・氷床、相転移ダイナミクス、宇宙雪氷学、宇宙物質科学、理論惑星科学
生物環境	寒冷域植物生理生態、生物適応、微生物生態学、生物多様性、生物分子機構

附属施設	
研究部門	研究分野
環オホーツク観測研究センター	環オホーツク海域変動予測、環オホーツク陸域変動予測、環オホーツク大気変動予測



低温科学研究所



極地観測調査

電子科学研究所

(共同利用・共同研究拠点)

**Research Institute for
Electronic Science**

設置目的

電子科学に関する学理及びその応用の研究を行う。

研究部門	
研究部門	研究分野
光科学	光システム物理、光子情報、コヒーレント光
物質科学	分子光機能物性、スマート分子材料、ナノ構造物性、薄膜機能材料
生命科学	ナノシステム生理、光細胞生理、生体分子デバイス
数理科学	複雑系数理、分子生命数理、動的数理モデリング
連携	産研アライアンス、理研連携、社会連携客員

附属施設	
研究部門	研究分野
グリーンナノテクノロジー研究センター	グリーンフォトニクス、光電子ナノ材料、ナノ光機能材料、ナノアセンブリ材料

研究支援部	
ニコイメージングセンター	
国際連携推進室	
ナノテク連携推進室	



電子科学研究所



クリーンルームの研究風景

遺伝子病制御研究所

(共同利用・共同研究拠点)

**Institute for Genetic
Medicine**

設置目的

遺伝子病の制御に関する学理及びその応用の研究を行う。

研究部門	
研究部門	研究分野
病因	癌ウイルス、幹細胞生物学、分子生体防御、分子免疫
病態	癌生物、感染病態、分子腫瘍、免疫生物
疾患制御	疾患モデル創成、免疫制御、分子間情報

附属施設	
動物実験施設	
感染癌研究センター	

※マトリックスメディスン
 ※ROYCE'健康バイオ
 ※プロバイオティックス・イムノロジー



遺伝子病制御研究所



実験の様子

全国共同利用施設

平成24年4月1日現在

触媒化学研究センター

(共同利用・共同研究拠点)

Catalysis Research Center

設置目的

触媒化学に関する研究を行い、かつ、国立大学の教員その他の者でこの分野の研究に従事するものの利用に供する。

研究部門

表面構造化学
表面分子化学
触媒反応化学
触媒物質化学
分子触媒化学
物質変換化学
集合機能化学
触媒理論化学

触媒基礎研究部

研究クラスター

サステナブル触媒 〈拠点型〉
不斉反応場 〈展開型〉
構造制御表面反応場 〈展開型〉
エネルギー変換場 〈展開型〉
バイオフィンターフェース 〈展開型〉
分子集積反応場 〈展開型〉
機能複合型グリーン触媒 〈展開型〉

触媒ターゲット研究アセンブリ



触媒化学研究センター



スラブ研究センター

(共同利用・共同研究拠点)

Slavic Research Center

設置目的

スラブ地域(旧ソ連・東欧地域)に関する総合的な研究を行い、かつ、国立大学の教員その他の者でこの分野の研究に従事するものの利用に供する。

研究部門

ロシア
シベリア・極東
中央ユーラシア
東欧
地域比較



スラブ研究センター

情報基盤センター

(共同利用・共同研究拠点)

Information Initiative Center

設置目的

情報化を推進するための研究開発並びに情報基盤の整備及び運用を行い、教育研究等の高度化を推進すると共に、情報メディアを活用した教育の実施及び支援を行うことを目的とする。

研究部門

大規模計算システム
情報ネットワーク
デジタルコンテンツ
メディア教育



学際大規模計算機システム

総合博物館

平成24年4月1日現在 (学内共同教育研究施設)

The Hokkaido University Museum

設置目的

学術標本の収蔵、展示、公開等及び学術標本に関する教育研究の支援並びにこれらに関する研究を行う。本学の教育研究の成果を一般に公開することにより地域社会への教育普及に寄与する。

札幌農学校の開校以来130年以上にわたる研究の成果として、400万点にも及ぶ貴重な学術標本を所蔵し、その中には新種として記載した1万1千点のタイプ(基準)標本を含む。併設されている「ミュージアムショップ」では、特筆すべき収蔵品である絶滅哺乳類のデスモスチルス(Deinotherium)を題材にした商品など多彩なオリジナルグッズを取り扱う。

開館時間 (夏期(6月～10月)) 9:30～16:30

(冬期(11月～5月)) 10:00～16:00

休館日 月曜(月曜が祝日の場合は連休明けの平日が休館)



ニッポノサウルスとデスモスチルス



ミュージアムショップ

沿革

組織

学生

国際交流

寄附講座・公開講座等の実施状況

全学的な教育研究体制

財政

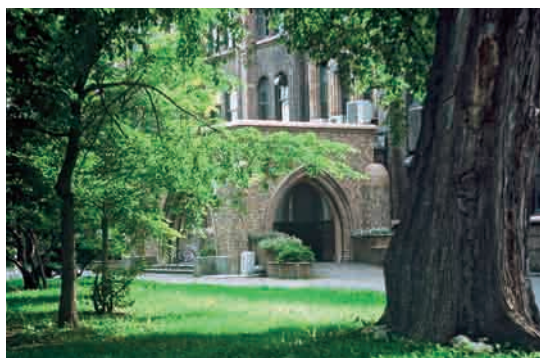
キャンパス

学内共同教育研究施設等

平成24年4月1日現在

施設名	設置目的・概要
アイソトープ総合センター Central Institute of Isotope Science	アイソトープ及び放射線に関する教育・研究を推進するとともに、全学の放射線管理の中心的役割を担う。また、アイソトープ及びアイソトープを利用した研究のための共同利用施設、アイソトープの取り扱いに関する教育訓練施設でもある。
量子集積エレクトロニクス研究センター Research Center for Integrated Quantum Electronics	量子力学を原理とする新しい量子集積エレクトロニクスを創出し、大規模情報・通信集積システムやナノテクノロジー発展のキーとなる超微細電子システム及び新機能光システムに関する研究を行うとともに、当該研究について民間機関等との共同研究を行う。
北方生物圏フィールド科学センター Field Science Center for Northern Biosphere	北方生物圏におけるフィールドを基盤とした総合的な教育研究を行うとともに、多面的な教育研究及び学習活動に対するフィールド及び施設の提供並びにそれらを支援することを目的とする。
知識メディア・ラボラトリー Meme Media Laboratory	知識メディア技術を基盤とし、「知識の流通と再編」のための新しい情報メディア技術の研究開発プログラムを推進し、新しい産業基盤、特にベンチャー・ビジネスのシーズとなるような高度基盤技術を育てる。
脳科学研究教育センター Research and Education Center for Brain Science	複雑で多様な機能をもち、生涯にわたり健康を維持する脳の発達過程と自然及び社会環境との関係を明らかにするために、自然科学と人文科学を融合し、新しい研究領域と人材を育成する。
人獣共通感染症リサーチセンター (共同利用・共同研究拠点) Research Center for Zoonosis Control	人獣共通感染症の制圧に向けた研究、予防・治療法の開発と実用化、情報と技術の社会普及、人獣共通感染症対策専門家の養成を行うとともに、国内外の研究者との交流及び連携の促進を図り、人獣共通感染症の予防と制圧に資する。
大学文書館 Hokkaido University Archives	本学の歴史に係る各種資料の収集、整理、保存、調査研究等を行い、閲覧、公開等の利用に供する。
観光学高等研究センター Center for Advanced Tourism Studies	観光創造に関する総合的かつ先端的研究の実施、共同研究の推進、研究機関・研究者ネットワークの構築、資料収集と情報発信、産学連携・社会連携・国際協力の推進によって、地域活性化の創出、成熟社会の実現、世界平和の創出などに貢献する。
外国語教育センター Center for Language Learning	全学等における外国語教育の企画・調整及び実施することを通じて、本学の建学の理念である「国際性の涵養」の実践に向けてさらなる向上を目指し、国際的に活躍できる人材を育成する。
アイヌ・先住民研究センター Center for Ainu and Indigenous Studies	アイヌ・先住少数民族との協同を基本として、アイヌ・先住少数民族に関する学際的で高度な研究教育を行うとともに、アイヌをはじめとする先住少数民族文化の発展に寄与する。
社会科学実験研究センター Center for Experimental Research in Social Sciences	先端的な社会科学実験を展開する日本唯一の専門機関であり、国内外の主要研究拠点との連携のハブとしての役割を担う。心理学・発達認知科学・脳科学と、経済学、法学、政治学を含む社会科学諸分野との接合を図ると同時に、当該分野における若手人材の育成、研究成果の国内外への発信を行い、社会科学実験に関する教育研究の発展に資する。

施設名	設置目的・概要
情報法政策学研究センター Research Institute for Information Law and Policy	知的財産を中心としつつ、情報に関わる法制度に関して、その政策形成過程にも着目しながら、望ましい制度像を探求する学問領域の構築を目指すとともに、その成果を国内外に発信していく。
環境ナノ・バイオ工学研究センター Research Center for Environmental Nano and Bio Engineering	水資源及び廃棄物の有効利用に関する環境工学とナノ・バイオ技術の融合による研究を行うとともに、当該研究の成果の国内外への発信、国内外の研究拠点との連携強化の促進及び人材の育成を行い、もって持続可能な社会の構築に資する。
数学連携研究センター Research Center for Integrative Mathematics	21世紀COEプログラム「特異性から見た非線形構造の数学」の成果を踏まえ、他の研究分野における数学的問題を探索し、解決するために、深化し続ける数学を共通の合意言語として形成し、科学の諸領域における「つながる知」の中核としての機能を担う。
サステナビリティ学教育研究センター Center for Sustainability Science	俯瞰的な視野と独創性に富み、人類の生存基盤の安定と持続的な社会の構築に資する人材の育成を図る。
トポロジー理工学教育研究センター Center of Education and Research for Topological Science and Technology	トポロジー理工学の基礎から応用までの研究を行うとともに、当該研究の成果の国内外への発信、国内外の研究拠点との連携強化の促進及び人材の育成を行い、もってトポロジーを基点とした学術研究の発展及びトポロジーの理工学的応用に資する。
環境健康科学研究教育センター Center for Environmental and Health Sciences	環境健康科学に関する大規模調査研究を実施するとともに、環境健康科学に関する研究の成果の市民への発信と国内外の研究拠点との連携強化ならびに多様化する環境問題に取り組む人材の育成を担う。
探索医療教育研究センター Center for Translational Research	ライフサイエンスを中心とする科学の分野における橋渡し研究の中核拠点として、基礎研究の成果の実用化を図るとともに、学外の研究拠点との連携強化の促進及び橋渡し研究に係る支援を行うための人材を育成し、もって橋渡し研究の推進に資することを目的とする。
保健センター Health Care Center	学生・職員の健康の保持増進を図るため保健衛生に関する専門的業務を行う。



附属図書館

University Library

北方関係資料等のユニークなコレクションを含む、約380万冊の蔵書を有する国内有数の学術図書館である。電子的資料の収集・提供、機関リポジトリ構築に努め、学術コミュニケーションの向上を図っている。また、閲覧席数は約1,200を数え、学習の場としても重要な役割を担っている。



蔵書数 平成24年3月31日現在

部局	区分	和書	洋書	合計	雑誌
附属図書館		886,034冊	737,075冊	1,623,109冊	32,089種
北図書館		233,715	105,128	338,843	1,785
小計		1,119,749	842,203	1,961,952	33,874
(参考)					
創成研究機構		2	1	3	15
高等教育推進機構		4,316	1,053	5,369	187
文学研究科・文学部		189,934	128,258	318,192	5,173
法学研究科・法学部		7,848	2,753	10,601	1,224
経済学研究科・経済学部		13,699	8,018	21,717	1,537
医学研究科・医学部		78,042	120,054	198,096	5,911
歯学研究科・歯学部		24,913	21,206	46,119	1,275
獣医学研究科・獣医学部		10,912	25,807	36,719	1,419
情報科学研究科		4,186	4,646	8,832	800
水産科学院・水産科学研究所・水産学部		78,488	55,485	133,973	5,085
環境科学院・地球環境科学研究所		9,975	9,107	19,082	594
理学院・理学研究所・理学部		42,277	173,513	215,790	4,171
薬学研究所・薬学部		6,698	4,808	11,506	288
農学院・農学研究所・農学部		142,073	107,378	249,451	8,156
生命科学院・先端生命科学研究所		25	53	78	26
教育学院・教育学研究所・教育学部		22,753	7,160	29,913	1,162
国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院		9,723	16,184	25,907	360
保健科学院・保健科学研究所		35,525	4,746	40,271	960
工学院・工学研究所・工学部		138,665	131,853	270,518	5,310
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部		6	0	6	1
低温科学研究所		11,501	25,072	36,573	1,704
電子科学研究所		2,415	5,450	7,865	62
遺伝子病制御研究所		698	702	1,400	64
触媒化学研究センター		3,206	12,064	15,270	451
スラブ研究センター		3,175	98,904	102,079	1,756
情報基盤センター		0	0	0	59
総合博物館		7,835	2,756	10,591	855
北方生物圏フィールド科学センター		5,619	1,573	7,192	96
大学文書館		902	2	904	0
アイヌ・先住民研究センター		1,781	259	2,040	86
小計		857,192	968,865	1,826,057	48,787
合計		1,976,941	1,811,068	3,788,009	82,661

※1 病院、アイソトープ総合センターを含む。 ※2 量子集積エレクトロニクス研究センターを含む。

利用状況 (平成23年度)

入館者総数	(附属図書館)	423,126人
	(北図書館)	605,113人
貸出者数	(附属図書館)	70,971人
	(北図書館)	88,690人
貸出冊数	(附属図書館)	163,966冊
	(北図書館)	188,377冊
文献複写 依頼 受付		2,311件
		3,707件
図書館間相互利用 借受 貸出		781冊
		1,477冊
閲覧席数	(附属図書館)	696席
	(北図書館)	562席

開館時間 (平成24年度)

	平日	土・日・祝日
開架閲覧室	9:00 ~ 22:00	9:30 ~ 19:00
書庫	9:00 ~ 20:00	10:00 ~ 18:30
グループ学習室	9:00 ~ 21:30	9:30 ~ 18:30
(北図書館) 4階閲覧室	9:00 ~ 21:30	9:30 ~ 18:30
(北図書館) マルチメディア室	9:00 ~ 21:30	9:30 ~ 19:00

※学生の休業期間中と3月は利用時間が変更になります。

休館日

- ・大学祭期間中の土日 (6月9日～10日) - 北図書館のみ
- ・全学停電 (9月9日)
- ・年末年始 (12月28日～1月3日)
- ・大学入試センター試験日 (1月19日～20日)

診療状況 (平成23年度実績)

(医科)

診療科	病床数(床)	診療状況(平成23年度実績)	
		外来患者数(人)	入院患者数(人)
第一内科	44床	27,402人	14,936人
第二内科	47	45,641	14,569
第三内科	44	45,116	16,467
循環器内科	32	17,942	11,833
血液内科	36	11,485	13,946
腫瘍内科	5	2,928	5,320
第一外科	40	17,029	16,710
第二外科	28	5,547	11,338
循環器外科	18	4,826	8,829
整形外科	48	32,600	19,468
泌尿器科	32	23,634	12,309
麻酔科	2	11,240	118
形成外科	25	6,846	8,642
スポーツ医学診療科	6	2,920	1,656
小児外科	6	2,570	1,386
救急科	6	1,762	5,198
神経内科	16	18,613	8,200
眼科	32	38,809	11,314
耳鼻咽喉科	32	19,077	12,946
皮膚科	22	22,372	7,970
精神科神経科	72	50,000	22,700
脳神経外科	32	11,808	13,904
リハビリテーション科	20	41,352	4,216
産科	38	10,313	14,519
婦人科	30	25,196	11,745
小児科	40	17,835	12,354
放射線治療科	17	21,021	5,725
放射線診断科	1	45,027	207
核医学診療科	6	6,915	2,074
集中治療室(ICU)	10	—	(3,565)
新生児集中治療室(NICU)	9	—	(2,444)
高度無菌室	5	—	(1,401)
共通病床	109	—	(17,758)
合計	910	587,826	290,599

()内は各診療科入院患者数の内数

(歯科)

診療科	病床数(床)	診療状況(平成23年度実績)	
		外来患者数(人)	入院患者数(人)
保存系歯科	26床	56,744人	8,192人
咬合系歯科		62,156	
口腔系歯科		41,419	
高次口腔医療センター		20,423	
口腔総合治療部		3,054	
合計	26	183,796	8,192

(医科歯科総計)

診療科	病床数(床)	診療状況(平成23年度実績)	
		外来患者数(人)	入院患者数(人)
合計	936	771,622	298,791

※診療科名は平成24年3月31日現在



北海道大学病院



歯科診療センター

病床数 (平成24年4月1日現在)

(医科)

診療科	病床数(床)
内科 I	44床
内科 II	47
消化器内科	44
循環器内科	32
血液内科	36
腫瘍内科	5
消化器外科 I	40
消化器外科 II	22
循環器・呼吸器外科	24
整形外科	48
泌尿器科	32
麻酔科	2
形成外科	25
スポーツ医学診療科	6
乳腺・内分泌外科	6
救急科	6
神経内科	16
眼科	32
耳鼻咽喉科	32
皮膚科	22
精神科神経科	72
脳神経外科	32
リハビリテーション科	20
産科	38
婦人科	30
小児科	40
放射線治療科	17
放射線診断科	1
核医学診療科	6
集中治療室(ICU)	10
新生児集中治療室(NICU)	9
高度無菌室	5
共通病床	109
合計	910

(歯科)

診療科	病床数(床)
予防歯科	26床
歯周・歯内療法科	
冠橋義歯補綴科	
高齢者歯科	
小児・障害者歯科	
矯正歯科	
歯冠修復科	
義歯補綴科	
口腔内科	
口腔外科	
歯科放射線科	
歯科麻酔科	
合計	

(医科歯科総計)

診療科	病床数(床)
合計	936

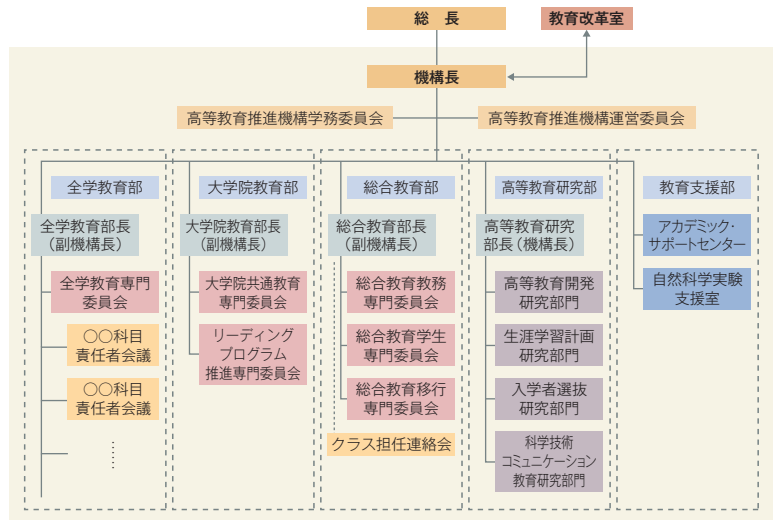
※承認病床数は946床

高等教育推進機構

本学の目指す高等教育の実現に向け、教育研究組織間の連携を強化し、本学の教育機能の向上及び高等教育に関する研究の推進を図る。

部門等	担当
全学教育部	本学の全学教育の実施に係る企画、立案及び調整を担当する。
大学院教育部	大学院共通教育の実施に関し必要な事項に係る企画、立案及び調整並びにリーディングプログラムの推進に関することを担当する。
総合教育部	本学の第1年次の学生の履修指導及び修学指導、学籍の管理、進級等に関することを担当する。
高等教育研究部	本学の高等教育に関する実践的な調査・研究等を担当する。 高等教育開発研究部門、生涯学習計画研究部門、入学者選抜研究部門及び科学技術コミュニケーション教育研究部門の4部門を置く。
教育支援部	本学の教育活動の支援に関することを担当する。 アカデミック・サポートセンター及び自然科学実験支援室を置く。

高等教育推進機構 組織図



入学支援

■ アドミッションセンター Admission Center



進学相談会 in 東京・大阪・名古屋



オープンキャンパス

入学者選抜に関する様々な業務を通じて、選抜方法の改善及び選抜の円滑な実施を推進することを目的として設置された運営組織で、総務部門、出題・採点部門、広報・相談部門の3つの部門から構成されている。

就職支援

■ キャリアセンター Career Center



キャリアセンター窓口対応



企業研究セミナー

1年生から4年生、大学院生全ての学生（留学生を含む）一人ひとりのキャリア形成をサポートしている。

- 就職相談
- 就職情報の収集
- OB・OG名簿、就職サポーター名簿及び就職活動レポートの閲覧
- 就職ガイダンス・セミナーの実施
- 公務員ガイダンス・セミナーの実施
- 教員志望者ガイダンス・セミナーの実施
- イベント開催情報メールの配信
- インターンシップ支援

■ 開室時間：8:30～18:00（土・日・祝日を除く）

人材育成

■人材育成本部 Front Office for Human Resource Education and Development



赤い糸会・緑の会での意見交換



理系応援キャラバン隊による出前実験

博士後期課程学生や博士研究員のキャリアデザインのための育成支援ならびに若手研究者の採用・育成のための北大テニュアトラック制度の普及定着及び女性研究者ならびに研究者を志向する女子学生への支援活動を行っている。

●上級人材育成ステーションの活動

【S-cubic】

- ・情報交換 Web システム (Hi-system)
- ・企業情報交換会 (赤い糸会) ⇒ 大学院共通授業・理工系専門基礎科目 (2 学期)
- ・キャリアパス教育 (Advanced COSA) ⇒ 大学院共通授業・理工系専門基礎科目

【HoP-Station】

- ・キャリアマネジメントセミナー (MOT 関連) ⇒ 大学院共通授業科目 (1 学期)
- ・博士力実践インターンシップ ⇒ 大学院共通授業・理工系専門基礎科目 (通年)
- ・キャリア形成パートナーシップ (緑の会)

【テニュアトラック普及・定着事業推進室 (L-station との連携)】

- ・優秀な若手研究者を獲得し、部局の次世代のリーダーとして育成するための北大テニュアトラック制度の標準化と事業推進企画
- ・創成研究機構、各部局における研究者の選抜と評価

●女性研究者支援室 (FResHU) の活動

- ・女性研究者ネットワークの構築
- ・女性研究者メンタリングシステムの構築
- ・女性研究者の活躍の為の環境整備
- ・女子中高生の理系進路選択支援 (理系応援キャラバン隊) 等

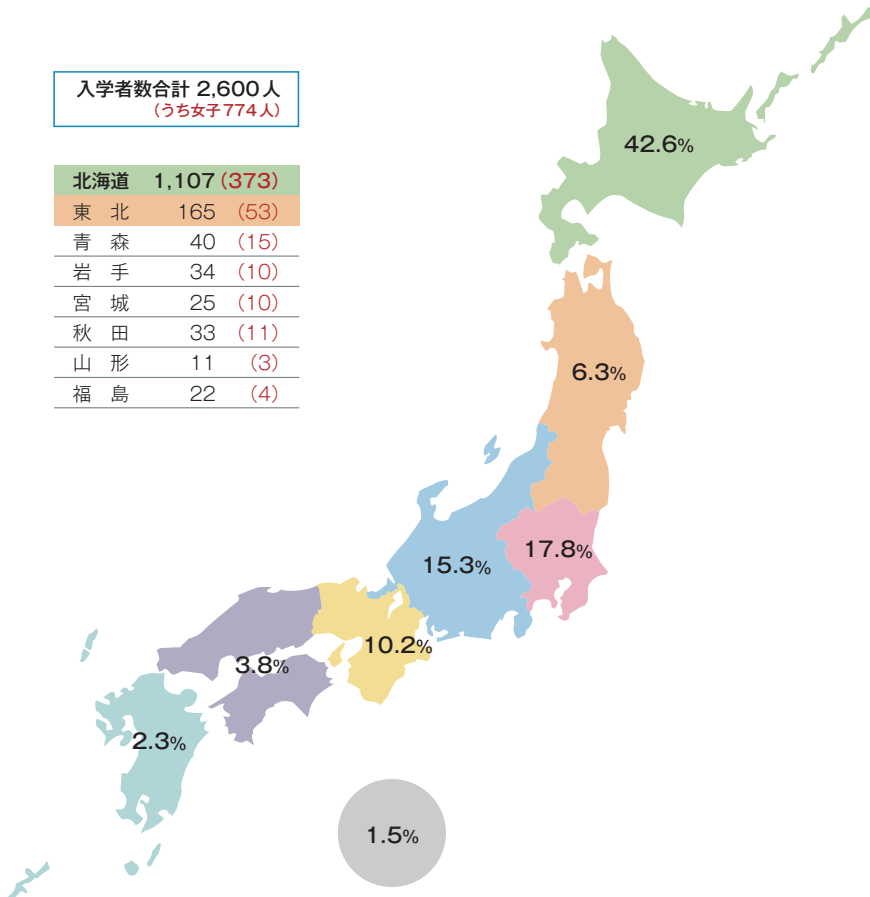
学生数統計

平成 24 年 5 月 1 日現在

■平成 24 年度入学者の都道府県分布及び地域比率

入学者数合計 2,600 人
(うち女子 774 人)

北海道	1,107 (373)
東北	165 (53)
青森	40 (15)
岩手	34 (10)
宮城	25 (10)
秋田	33 (11)
山形	11 (3)
福島	22 (4)



関東	463 (131)
茨城	31 (5)
栃木	32 (13)
群馬	39 (8)
埼玉	70 (14)
千葉	48 (10)
東京	154 (54)
神奈川	89 (27)
北陸・中部	399 (101)
新潟	54 (17)
富山	35 (14)
石川	40 (14)
福井	8 (2)
山梨	10 (2)
長野	37 (10)
岐阜	25 (6)
静岡	77 (20)
愛知	113 (16)
近畿	266 (61)
三重	22 (6)
滋賀	9 (4)
京都	41 (13)
大阪	86 (19)
兵庫	74 (12)
奈良	18 (2)
和歌山	16 (5)

中国・四国	100 (27)
鳥取	6 (3)
島根	3 (1)
岡山	20 (4)
広島	30 (8)
山口	8 (2)
徳島	5 (2)
香川	8 (3)
愛媛	19 (4)
高知	1 (0)
九州・沖縄	61 (11)
福岡	28 (6)
佐賀	6 (1)
長崎	4 (0)
熊本	7 (3)
大分	0 (0)
宮崎	4 (0)
鹿児島	5 (0)
沖縄	7 (1)
その他	39 (17)
高等学校卒業程度認定試験	7 (2)
帰国子女	10 (5)
外国人留学生	20 (9)
その他	2 (1)

(注) () 内は女子の内数 (赤字で表記)。

学生数

平成24年5月1日現在

(注) 1 ()内は女子の内数、〈 〉内は女子の比率(それぞれ赤字で表記)。
 2 []内は2年次編入学定員で外数。
 3 ()内は3年次編入学定員で外数(工学部は高専卒業者の受入れ)。
 4 以下の表は、すべて外国人留学生数を含む。

学部

学部等名	入学定員	在籍者数							聴講生	科目等履修生	研究生	特別聴講学生	合計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計					
文学部	185人 [人] (10人)	2人	192人	202人	261人	一人	一人	657人 (311 (47.3%))	11人	15人	43人	31人	757人 (376 (49.7%))
教育学部	50 (10)		50	71	76	—	—	197 (93 (47.2))		19	12	3	231 (111 (48.1))
法学部	200 [10] (10)		226	230	262	—	—	718 (218 (30.4))		5		7	730 (223 (30.5))
経済学部	190	1	198	206	244	—	—	649 (173 (26.7))		1	17	11	678 (188 (27.7))
理学部	300		322	293	349	—	—	964 (221 (22.9))	2	5	4	2	977 (223 (22.8))
医学部	287 [5] (20)	1	332	314	290	89	114	1,140 (474 (41.6))					1,140 (474 (41.6))
歯学部	53		53	58	48	60	54	273 (99 (36.3))			2		275 (99 (36.0))
薬学部	80	2	88	76	95	30	30	321 (114 (35.5))		1	1		323 (115 (35.6))
工学部	670 (10)		741	692	779	—	—	2,212 (267 (12.1))		1		11	2,224 (269 (12.1))
農学部	215	10	220	232	254	—	—	716 (220 (30.7))	3	2		7	728 (226 (31.0))
獣医学部	40		43	42	40	41	44	210 (88 (41.9))				1	211 (89 (42.2))
水産学部	215	7	228	215	226	—	—	676 (186 (27.5))		3		11	690 (193 (28.0))
総合教育部	—	2,697	—	—	—	—	—	2,697 (793 (29.4))					2,697 (793 (29.4))
合計	2,485 [15] (60)	2,720	2,693	2,631	2,924	220	242	11,430 (3,257 (28.5))	16	52	79	84	11,661 (3,379 (29.0))

※学部の入学定員は、学生が第2年次に進級した場合の入学定員である。

研究所等

研究所等名	研究生	特別研究学生	日本語・日本文化研修生	日本語研修生	合計
低温科学研究所	1人	一人	一人	一人	1人 (1 (100.0%))
電子科学研究所	1	1	—	—	2 (1 (50.0))
触媒化学研究センター	1				1 (0 (0.0))
スラブ研究センター	2	1	—	—	3 (0 (0.0))
国際本部	1		27	9	37 (20 (54.1))
総合博物館	2		—	—	2 (0 (0.0))
北方生物圏フィールド科学センター	3		—	—	3 (1 (33.3))
観光学高等研究センター	1		—	—	1 (1 (100.0))
合計	12	2	27	9	50 (24 (48.0))

国際交流

寄附講座・公開講座等の実施状況

財政

キャンパス

(注) 法学研究科の専門職学位課程の上段は3年課程、下段は2年課程の学生数。
生命科学学院の博士課程の上段は3年制博士後期課程、下段は4年制博士課程の学生数。

大学院

研究科等名	修士課程(博士前期)				専門職学位課程				博士課程(博士後期及び博士一貫)						聴講生	科目等履修生	研究生	特別聴講学生	特別研究生	合計	
	入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数											
		1年次	2年次	小計		1年次	2年次	3年次		小計	1年次	2年次	3年次	4年次							小計
文学研究科	90人	108人	144人	252人 (147(58.3%))	一人	一人	一人	一人	一人	35人	44人	46人	122人	一人	212人 (107(60.5%))	7人	3人	6人	2人	1人	483人 (264(54.7%))
法学研究科	20	23	30	53 (18(34.0))	80	29	24	25	177 (34(19.2))	15	17	11	21	—	49 (16(32.7))		2	8	8	1	298 (74(24.8))
経済学研究科	30	33	34	67 (30(44.8))	20	24	20	—	44 (4(9.1))	15	8	6	19	—	33 (11(33.3))	1		1	1	1	148 (48(32.4))
医学研究科	30	16	27	43 (18(41.9))	—	—	—	—	—	100	92	78	87	150	407 (103(25.3))			6	1	3	460 (126(27.4))
歯学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	40	45	38	41	164 (59(36.0))			15			179 (63(35.2))
獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	18	21	21	20	80 (21(26.3))			8			88 (25(28.4))
情報科学研究科	177	206	225	431 (30(7.0))	—	—	—	—	—	42	52	43	79	—	174 (28(16.1))			3	2	5	615 (59(9.6))
水産科学院	90	117	125	242 (55(22.7))	—	—	—	—	—	35	20	20	40	—	80 (26(32.5))					4	326 (83(25.5))
水産科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			1			1 (0(0.0))
水産科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1 (0(0.0))						1 (0(0.0))
環境科学院	159	132	168	300 (86(28.7))	—	—	—	—	—	63	44	52	85	—	181 (53(29.3))					2	483 (140(29.0))
地球環境科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			8			8 (1(12.5))
理学院	129	134	131	265 (37(14.0))	—	—	—	—	—	56	31	21	99	—	151 (38(25.2))					4	420 (75(17.9))
理学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			4			4 (0(0.0))
理学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1 (0(0.0))						1 (0(0.0))
薬学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						0 (0(0.0))
農学院	150	188	180	368 (110(29.9))	—	—	—	—	—	50	39	41	74	—	154 (53(34.4))						522 (163(31.2))
農学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			10			10 (2(20.0))
農学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1 (0(0.0))						1 (0(0.0))
生命科学学院	132	124	124	248 (72(29.0))	—	—	—	—	—	46	41	48	58	—	151 (51(33.8))					1	400 (123(30.8))
先端生命科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						0 (0(0.0))
教育学院	45	45	52	97 (54(55.7))	—	—	—	—	—	21	21	25	54	—	100 (55(55.0))	1		3	1		202 (112(55.4))
教育学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			4			4 (2(50.0))
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	—	22 (13(59.1))						22 (13(59.1))
国際広報メディア・観光学院	42	44	66	110 (70(63.6))	—	—	—	—	—	17	16	16	36	—	68 (37(54.4))				1		179 (108(60.3))
メディア・コミュニケーション研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			6			6 (5(83.3))
国際広報メディア研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	7 (6(85.7))						7 (6(85.7))
保健科学院	26	35	33	68 (33(48.5))	—	—	—	—	—	8	14	11	18	—	43 (17(39.5))	1				1	113 (50(44.2))
保健科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			7			7 (4(57.1))
工学院	326	349	377	726 (71(9.8))	—	—	—	—	—	69	70	79	35	—	184 (30(16.3))					1	911 (101(11.1))
工学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			12			12 (3(25.0))
工学研究科	—	—	6	6 (0(0.0))	—	—	—	—	—	—	—	—	55	—	55 (3(5.5))						61 (3(4.9))
総合化学院	129	154	143	297 (64(21.5))	—	—	—	—	—	38	32	36	30	—	98 (14(14.3))					2	397 (79(19.9))
公共政策学教育部	—	—	—	—	30	37	41	—	78 (16(20.5))	—	—	—	—	—	—	1	1		1		81 (16(19.8))
公共政策学連携研究部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						0 (0(0.0))
合計	1,575	1,708	1,865	3,573 (895(25.0))	130	141	133	25	299 (54(18.1))	680	603	599	1,003	211	2,416 (741(30.7))	9	8	99	19	27	6,450 (1,748(27.1))

入学状況

平成24年度

学部

(注) 1 ()内は女子の内数(赤字で表記)。
2 []内は帰国子女入試分の外数。

学部名		入学定員		志願者数	合格者数	入学者数	外国人留学生入学者数		
総合入試文系		一般	100人	332人	115人	109人 (42)	人		
総合入試理系	数学重点選抜群	一般	130	423	139	136 (22)			
	物理重点選抜群	一般	235	643	251	245 (22)			
	化学重点選抜群	一般	235	628	251	247 (54)			
	生物重点選抜群	一般	177	432	189	188 (67)			
	総合科学選抜群	一般	250	729	268	262 (87)			
計		一般	1,027	2,855	1,098	1,078 (252)			
文学部		一般	155	746	166	160 (82)			
教育学部		一般	30	201	30	30 (15)	2 (2)		
法学部		一般	180	668	190	179 (62) [3(1)]			
経済学部		一般	160	671	180	166 (42)			
理学部	数学科	一般	13	131	11	11 (1)	3 (3)		
		AO							
	物理学科	一般	5	102	7	6	1 (1)		
		AO	5	6	3	3 (2)			
	化学科	一般	15	148	19	18 (3)			
		AO	8	13	5	5 (2)			
	生物科学科	生物学専修分野	一般	5	76	7	6 (3) [1(1)]		
			AO	5	13	3	3 (1)		
		高分子機能学専修分野	一般	5	59	5	5 (3)	1 (1)	
			AO	5	13	3	3 (1)		
	計		一般	10	135	12	11 (6) [1(1)]	1 (1)	
		AO	5	13	3	3 (1)			
地球惑星科学科		一般	5	86	6	6 (1)			
		AO	5	12	5	5			
計		一般	48	602	55	52 (11) [1(1)]	5 (5)		
		AO	23	44	16	16 (5)			
医学部	医学系		一般	97	332	101	101 (24)		
			AO	5	8	1	1		
	保健学系	看護学専攻	一般	60	135	67	66 (61) [1(1)]		
			AO	7	22	7	7 (5)		
		放射線技術科学専攻	一般	35	160	37	36 (7)		
			検査技術科学専攻	一般	35	195	38	36 (24)	
			理学療法学専攻	一般	17	87	18	18 (7)	
			作業療法学専攻	一般	13	51	14	14 (8)	
			AO	4	6	4	4 (2)		
	計		一般	160	628	174	170 (107) [1(1)]		
		AO	11	28	11	11 (7)			
計		一般	257	960	275	271 (131) [1(1)]			
		AO	16	36	12	12 (7)			
歯学部		一般	38	188	38	38 (16)			
		AO	5	10	5	5 (4)			
薬学部		一般	24	303	29	29 (9)			
工学部	応用理工系	一般	34	391	37	36 (5) [2]	4		
		AO	4	10	3	3 (1)			
	情報エレクトロニクス系	一般	38	306	44	39	2		
	機械知能工学系	一般	30	267	36	30 (2)	2 (1)		
	環境社会工学系	一般	53	401	60	52 (7) [1(1)]	1		
計		一般	155	1,365	177	157 (14) [3(1)]	9 (1)		
		AO	4	10	3	3 (1)			
農学部		一般	53	526	56	51 (16) [2(1)]	1		
獣医学部		一般	35	238	37	37 (15)			
水産学部	一般	155	717	164	157 (32)	3 (1)			
	AO	20	45	20	20 (4)				
合計		一般	2,417	10,372	2,610	2,514 (739) [10(5)]	20 (9)		
		AO	68	145	56	56 (21)			
計			2,485	10,517	2,666	2,570 (760) [10(5)]			

寄附講座・公開講座等の
実施状況

全学的な教育研究体制

財政

キャンパス

大学院(修士)

(注) 1 ()内は女子の内数(赤色で表記)。
2 ()は外国人留学生数の内数。

研究科等名	入学定員	志願者数				入学者数			
		本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計
文学研究科	90人	55人 (26)	151人 (77) (70)	人	206人 (103) (70)	39人 (18)	68人 (42) (35)	人	107人 (60) (35)
法学研究科	20	14 (3)	33 (8) (14)		47 (11) (14)	4 (1)	13 (3) (10)		17 (4) (10)
経済学研究科	30	23 (1) (2)	43 (18) (29)		66 (19) (31)	11 (1)	22 (9) (16)		33 (10) (16)
医学研究科	30	11 (6)	13 (7) (4)	1	25 (13) (4)	6 (2)	9 (5) (4)	1	16 (7) (4)
情報科学研究科	177	206 (11) (3)	40 (5) (13)	11	257 (16) (16)	177 (9) (3)	21 (4) (10)	5	203 (13) (13)
水産科学院	90	153 (30) (1)	11 (2) (5)		164 (32) (6)	109 (20) (1)	6 (2) (5)		115 (22) (6)
環境科学院	159	84 (19)	103 (35) (9)	10 (1)	197 (55) (9)	52 (13)	70 (21) (7)	7 (1)	129 (35) (7)
理学院	129	132 (20)	60 (8) (1)	3 (2)	195 (30) (1)	99 (16)	25 (2) (1)	2 (1)	126 (19) (1)
農学院	150	191 (53)	53 (22) (15)		244 (75) (15)	153 (41)	27 (15) (13)		180 (56) (13)
生命科学院	132	108 (35)	41 (11) (5)	2	151 (46) (5)	93 (28)	23 (4) (3)	1	117 (32) (3)
教育学院	45	28 (14) (5)	74 (46) (28)		102 (60) (33)	11 (7) (2)	33 (18) (14)		44 (25) (16)
国際広報メディア・ 観光学院	42	5 (1)	82 (49) (45)		87 (50) (45)	4 (1)	38 (23) (16)		42 (24) (16)
保健科学院	26	38 (18) (1)	13 (7)		51 (25) (1)	26 (13) (1)	9 (4)		35 (17) (1)
工学院	326	398 (35) (4)	33 (3) (5)	10 (3)	441 (41) (9)	316 (29) (2)	11 (2) (3)	6 (3)	333 (34) (5)
総合化学院	129	159 (37) (2)	20 (2) (1)	3	182 (39) (3)	142 (30) (2)	7 (1) (1)	3	152 (31) (3)
合計	1,575	1,605 (309) (18)	770 (300) (244)	40 (6) (0)	2,415 (615) (262)	1,242 (229) (11)	382 (155) (138)	25 (5) (0)	1,649 (389) (149)

大学院(専門職学位)

研究科等名	入学定員	志願者数				入学者数			
		本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計
法学研究科	80人	60人 (9)	276人 (42)	5人 (3)	341人 (54)	26人 (5)	44人 (7)	2人 (2)	72人 (14)
経済学研究科	20	12 (3)	31 (5) (1)		43 (8) (1)	11 (2)	12		23 (2)
公共政策学教育部	30	31 (4)	45 (10)	2 (1)	78 (15)	16 (1)	19 (5)	1 (1)	36 (7)
合計	130	103 (16) (0)	352 (57) (1)	7 (4) (0)	462 (77) (1)	53 (8) (0)	75 (12) (0)	3 (3) (0)	131 (23) (0)

大学院(博士)

研究科等名	入学定員	志願者数				入学者数			
		本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計
文学研究科	35人	29人 (14) (5)	22人 (10) (14)	人	51人 (24) (19)	25人 (13) (4)	16人 (8) (12)	人	41人 (21) (16)
法学研究科	15	10 (1) (3)	11 (3) (3)		21 (4) (6)	9 (1) (2)	3 (2) (3)		12 (3) (5)
経済学研究科	15	6 (1) (3)	4 (1) (2)		10 (2) (5)	5 (1) (2)	3 (1) (2)		8 (2) (4)
医学研究科	100	60 (14) (2)	42 (16) (8)		102 (30) (10)	53 (10) (1)	36 (13) (5)		89 (23) (6)
歯学研究科	42	25 (10)	13 (5) (1)		38 (15) (1)	25 (10)	12 (5) (1)		37 (15) (1)
獣医学研究科	24	10 (1) (1)	4 (2) (1)		14 (3) (2)	10 (1) (1)	2 (1)		12 (1) (2)
情報科学研究科	42	34 (6) (6)	14 (4) (7)		48 (10) (13)	28 (6) (5)	14 (4) (7)		42 (10) (12)
水産科学院	35	10 (3) (1)	6 (3) (4)	1	17 (6) (5)	10 (3) (1)	6 (3) (4)	1	17 (6) (5)
環境科学院	63	26 (6) (5)	13 (8) (9)		39 (14) (14)	24 (5) (4)	10 (6) (7)		34 (11) (11)
理学院	56	23 (6) (2)	7 (4) (2)		30 (10) (4)	20 (5) (2)	6 (3) (2)		26 (8) (4)
農学院	50	18 (3) (3)	14 (7) (12)	2 (1) (1)	34 (11) (16)	15 (2) (3)	14 (7) (12)	2 (1) (1)	31 (10) (16)
生命科学院	50	27 (13) (1)	7 (2) (3)		34 (15) (4)	25 (13) (1)	6 (2) (3)		31 (15) (4)
教育学院	21	12 (6) (3)	13 (6) (2)		25 (12) (5)	10 (6) (3)	9 (3)		19 (9) (3)
国際広報メディア・ 観光学院	17	13 (9) (2)	4 (2) (2)		17 (11) (4)	11 (8) (2)	4 (2) (2)		15 (10) (4)
保健科学院	8	9 (3)	4 (3)	5 (2)	18 (8)	8 (3)	4 (3)	2	14 (6)
工学院	69	26 (1) (5)	18 (4) (6)	2	46 (5) (11)	25 (1) (4)	18 (4) (6)	2	45 (5) (10)
総合化学院	38	18 (3)	4 (2) (4)		22 (5) (4)	18 (3)	3 (1) (3)		21 (4) (3)
合計	680	356 (100) (42)	200 (82) (80)	10 (3) (1)	566 (185) (123)	321 (91) (35)	166 (67) (70)	7 (1) (1)	494 (159) (106)

卒業・修了者数 (学位授与数)

平成24年5月1日現在

学士

学部名	学位の名称	新制(平成3年の学位規則改正後)		学位の名称	新制(同学位規則改正前)	旧制	新・旧制合計
		平成23年度	累計				
文学部	学士(文学)	196人	3,688人	文学士	4,265人	255人	8,619人
	学士(行動科学)	—	411				
教育学部	学士(教育学)	54	1,284	教育学士	1,365	—	2,649
法学部	学士(法学)	220	4,926	法学士	5,484	275	10,685
経済学部	学士(経済学)	109	1,981	経済学士	4,730	325	9,140
	学士(経営学)	98	2,104				
理学部	学士(理学)	317	6,121	理学士	7,142	1,401	14,664
	学士(医学)	98	2,149				
	学士(看護学)	76	386				
医学部	学士(看護学)	76	386	医学士	3,820	2,328	9,297
	学士(保健学)	122	614				
歯学部	学士(歯学)	53	1,261	歯学士	1,046	—	2,307
薬学部	学士(薬学)	30	1,476	薬学士	2,247	—	3,842
工学部	学士(薬科学)	38	119	工学士	17,696	2,918	35,076
	学士(工学)	721	14,462				
農学部	学士(農学)	226	4,704	農学士	7,766	4,078	17,122
獣医学部	学士(獣医学)	44	853	林学士	—	574	—
	学士(水産学)	211	4,441	獣医学士	1,238	—	2,091
水産学部	学士(水産学)	211	4,441	水産学士	6,585	—	11,026
合計		2,613	50,980		63,384	12,154	126,518

修士

研究科等名	学位の名称	新制(平成3年の学位規則改正後)		学位の名称	新制(同学位規則改正前)	新制合計
		平成23年度	累計			
文学研究科	修士(文学)	76人	1,225人	文学修士	765人	2,152人
	修士(学術)	7	50			
	修士(行動科学)	—	112			
法学研究科	修士(法学)	24	648	法学修士	160	808
経済学研究科	修士(経済学)	20	306	経済学修士	143	687
	修士(経営学)	10	238			
医学研究科	修士(医科学)	19	235	医学修士	—	235
獣医学研究科	修士(獣医学)	—	—	獣医学修士	541	541
情報科学研究科	修士(工学)	2	29	—	—	29
水産科学院	修士(情報科学)	198	1,253	水産学修士	592	1,771
	修士(水産科学)	108	578			
水産科学研究科	修士(水産科学)	—	590	—	—	590
環境科学院	修士(水産学)	—	589	環境学修士	—	760
	修士(環境科学)	102	760			
地球環境科学研究科	修士(地球環境科学)	—	1,433	—	—	1,433
環境科学研究科	修士(環境科学)	—	135	学術修士	355	490
理学院	修士(理学)	114	836	—	—	836
理学研究科	修士(理学)	—	3,065	理学修士	2,733	5,798
薬学研究科	修士(薬学)	—	864	薬学修士	682	1,546
農学院	修士(農学)	167	769	—	—	769
農学研究科	修士(農学)	—	2,145	農学修士	1,371	3,516
生命科学院	修士(生命科学)	116	625	—	—	625
教育学院	修士(教育学)	40	141	教育学修士	172	625
教育学研究科	修士(教育学)	1	453	—	—	453
国際広報メディア・観光学院	修士(国際広報メディア)	14	66	—	—	66
	修士(学術)	7	27	—	—	27
	修士(観光学)	14	60	—	—	60
国際広報メディア研究科	修士(国際広報メディア)	—	206	—	—	206
保健科学院	修士(保健科学)	35	85	—	—	85
	修士(看護学)	1	9	—	—	9
工学院	修士(工学)	310	311	—	—	311
工学研究科	修士(工学)	34	9,312	工学修士	5,787	15,099
総合化学院	修士(総合化学)	138	138	—	—	138
合計		1,557	27,293		13,301	40,594

専門職

研究科等名	学位の名称	平成23年度	累計
法学研究科	法務博士(専門職)	78人	599人
経済学研究科	会計修士(専門職)	22	126
公共政策学教育部	公共政策学修士(専門職)	31	190
合計		131	915

博士

研究科等名	学位の名称	新制(平成3年の学位規則改正後)				学位の名称	新制(同学位規則改正前)		旧制	新・旧制合計
		課程博士		論文博士			課程博士	論文博士		
		平成23年度	累計	平成23年度	累計					
文学研究科	博士(文学)	17人	254人	—	70人	文学博士	5人	2人	6人	385人
	博士(行動科学)	—	31	—	5					
	博士(学術)	3	10	—	2					
法学研究科	博士(法学)	4	86	—	47	法学博士	22	25	7	187
経済学研究科	博士(経済学)	8	59	4	28	経済学博士	3	40	25	205
	博士(経営学)	3	36	—	14					
医学研究科	博士(医学)	75	1,324	6	703	医学博士	658	964	3,081	6,730
歯学研究科	博士(歯学)	31	488	1	78	歯学博士	130	70	—	766
獣医学研究科	博士(獣医学)	24	292	3	174	獣医学博士	82	235	68	851
情報科学研究科	博士(工学)	15	81	2	7	—	—	—	—	88
	博士(情報科学)	27	134	—	5					
水産科学院	博士(水産科学)	19	102	—	8	—	—	—	—	139
	博士(水産学)	1	212	—	32					
水産科学研究科	博士(水産学)	—	132	—	76	水産学博士	186	187	—	825
環境科学院	博士(環境科学)	30	129	5	31	—	—	—	—	160
地球環境科学研究科	博士(地球環境科学)	—	401	—	42	—	—	—	—	443
環境科学研究科	博士(環境科学)	—	39	—	8	学術博士	41	20	—	108
理学院	博士(理学)	46	136	—	4	—	—	—	—	140
理学研究科	博士(理学)	—	950	3	215	理学博士	766	636	631	3,198
薬学研究科	博士(薬学)	—	264	—	123	薬学博士	181	210	—	778
農学院	博士(農学)	37	134	6	33	—	—	—	—	167
農学研究科	博士(農学)	—	639	—	439	農学博士	329	758	491	2,730
	博士(生命科学)	29	103	6	10	林学博士	—	—	46	
	博士(獣医学)	—	—	—	—	獣医学博士	—	—	28	
生命科学院	博士(生命科学)	29	103	6	10	—	—	—	—	113
教育学院	博士(教育学)	2	4	—	0	—	—	—	—	4
教育学研究科	博士(教育学)	5	73	—	30	教育学博士	7	4	—	114
国際広報メディア・観光学院	博士(国際広報メディア)	—	0	—	1	—	—	—	—	1
	博士(学術)	2	3	—	0	—	—	—	—	3
	博士(観光学)	1	3	—	0	—	—	—	—	3
国際広報メディア研究科	博士(国際広報メディア)	1	24	—	1	—	—	—	—	25
工学研究科	博士(工学)	52	1,448	8	697	工学博士	550	791	198	3,684
合計		432	7,591	44	2,883		2,960	3,942	4,581	21,957

進路状況

平成24年5月1日現在

沿革

組織

学生

国際交流

寄附講座・公開講座等の
実施状況

全学的な教育・研究体制

財政

キャンパス

学士

(注) 1 []内は北海道内企業等就職者で内数。
2 ()内は北海道内企業等就職者の比率。

区分	平成23年度 卒業生数	平成23年度卒業者の進路別内訳													
		進学者	就職者									計	臨床 研修医	その他	
			大学教員	研究機関	教員	その他の教員	官公庁	民間企業	病院・診療所	その他					
文学部	196人	41人			1人		18人	84人			2人	105人	[55(52.4%)]	人	50人
教育学部	54	14			1	1	12	16			4	34	[20(58.8%)]		6
法学部	220	43			1		42	80	1		2	126	[56(44.4%)]		51
経済学部	207	21					22	134				156	[61(39.1%)]		30
理学部	317	253			7		10	23			2	42	[14(33.3%)]		22
医学部医学科	98	1										0	[0(0.0%)]	95	2
医学部保健学科	198	39					8	1	144			153	[107(69.9%)]		6
歯学部	53	1		1								1	[1(100.0%)]	46	5
薬学部	68	39					1	16	11			28	[7(25.0%)]		1
工学部	721	594			4		33	63			2	102	[38(37.3%)]		25
農学部	226	168					8	34			4	46	[12(26.1%)]		12
獣医学部	44	10					9	16	7			32	[9(28.1%)]		2
水産学部	211	147		1	2		9	40				52	[24(46.2%)]		12
合計	2,613	1,371	0	2	16	1	172	507	163	16	877	[404(46.1%)]	141	224	

修士

区分	平成23年度 修了者数	平成23年度修了者の進路別内訳											
		進学者	就職者									計	その他
			大学教員	研究機関	教員	その他の教員	官公庁	民間企業	病院・診療所	その他			
文学研究科	83人	21人			3人		8人	15人		2人	28人	[15(53.6%)]	34人
法学研究科	24	9						2		2	4	[4(100.0%)]	11
経済学研究科	30	5						12			12	[3(25.0%)]	13
医学研究科	19	11		1			1	2	1	1	6	[2(33.3%)]	2
情報科学研究科	200	26					3	164			167	[24(14.4%)]	7
水産科学院	108	11		5	1		5	79			90	[16(17.8%)]	7
環境科学院	102	24		1	6		8	51			66	[24(36.4%)]	12
理学院	114	24				2	5	50			70	[15(21.4%)]	20
農学院	167	21		3			21	103			130	[24(18.5%)]	16
生命科学院	116	28		1	3		1	67	1	1	74	[13(17.6%)]	14
教育学院	40	8	3		4		7	5	2	1	22	[19(86.4%)]	10
国際広報メディア・観光学院	35	10					1	9			10	[3(30.0%)]	15
保健科学院	36	9					3	10	13		26	[15(57.7%)]	1
工学院	344	29	1		1		24	268			295	[39(13.2%)]	20
総合化学院	138	18			2		6	107			116	[12(10.3%)]	4
合計	1,556	254	4	11	32	2	93	944	17	13	1,116	[228(20.4%)]	186

◇工学院には、工学研究科修了者を含む。

専門職

区分	平成23年度 修了者数	平成23年度修了者の進路別内訳											
		進学者	就職者									計	その他
			大学教員	研究機関	教員	その他の教員	官公庁	民間企業	病院・診療所	その他			
法学研究科	78人	人	人	人	人	人	1人	人	人	人	1人	[1(100.0%)]	77人
経済学研究科	22				1			12			13	[5(38.5%)]	9
公共政策学教育部	31						12	12		1	25	[10(40.0%)]	6
合計	131	0	0	0	1	0	13	24	0	1	39	[16(41.0%)]	92

博士

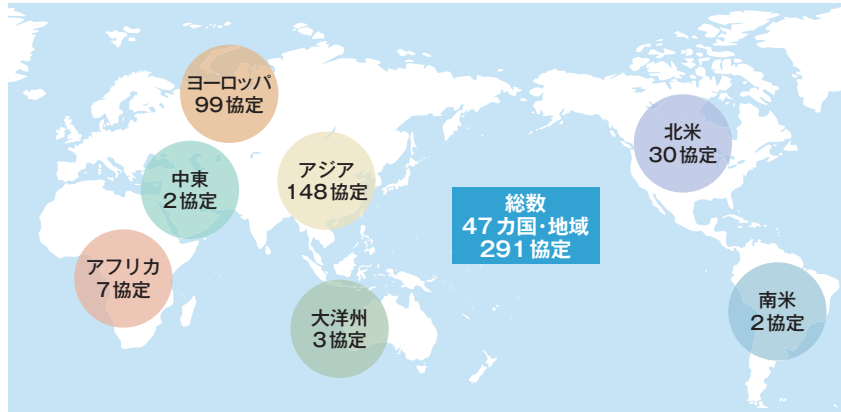
区分	平成23年度 修了者数 (課程)	平成23年度修了者の進路別内訳												
		進学者	就職者									計	その他	
			大学教員	研究機関	教員	その他の教員	ホスト・研究院	官公庁	民間企業	病院・診療所	その他			
文学研究科	37人	人	5人	人	1人	人	1人	1人	2人	人	人	10人	[6(60.0%)]	27人
法学研究科	7		2									2	[1(50.0%)]	5
経済学研究科	12		3			1						4	[3(75.0%)]	8
医学研究科	76		9	2			1		2	46		60	[53(88.3%)]	16
歯学研究科	29			1						14		15	[13(86.7%)]	14
工学研究科	56	1	10	7	1		8		11		3	40	[12(30.0%)]	15
獣医学研究科	23		7	3			2	2	6			20	[2(10.0%)]	3
情報科学研究科	42		12	3			4		14			33	[9(27.3%)]	9
水産科学院	20		1	3		1	5	1	1		1	13	[3(23.1%)]	7
環境科学院	36		3	4			7	1	3			18	[6(33.3%)]	18
理学院	55			2		1	8		9		1	21	[4(19.0%)]	34
農学院	43		4	6			1	6			1	18	[4(22.2%)]	25
生命科学院	30			1			3		9			13	[1(7.7%)]	17
教育学院	16		5		1							6	[4(66.7%)]	10
国際広報メディア・観光学院	2		2									2	[1(50.0%)]	0
合計	484	1	63	32	3	3	39	6	63	60	6	275	[122(44.4%)]	208

※単位修得退学者を便宜上、修了者として含める。
◇水産科学院には、水産科学研究科修了者を含む。
◇理学院には、理学研究科修了者を含む。
◇農学院には、農学研究科修了者を含む。
◇教育学院には、教育学研究科修了者を含む。

国際交流協定締結状況

平成24年5月1日現在

協定大学の分布図



大学間交流協定 (35 カ国・地域、111 協定・117 機関)

国・地域名	協定大学名(所在地)	締結年月日	
アジア	バングラデシュ人民共和国 ダッカ大学(ダッカ)	2009.12.24 ※	
中華人民共和国	北京科技大学(北京)	1986.12.26 ※	
	浙江大学(杭州)	2002. 1.20 ※	
	北京大学(北京)	2003. 2.19 ※	
	復旦大学(上海)	2004. 8. 3 ※	
	吉林大学(長春)	2004. 9.22 ※	
	南開大学(天津)	2006. 5.11 ※	
	南京大學(南京)	2006. 5.11 ※	
	西安交通大學(西安)	2008. 5.26 ※	
	清華大學(北京)	2008. 6.30 ※	
	東北師範大學(長春)	2009. 5. 8 ※	
	四川大學(成都)	2009.10.15 ※	
	武漢大學(武漢)	2009.11.30 ※	
	大連理工大学(大連)	2010. 1.20 ※	
	北京師範大學(北京)	2010. 1.20 ※	
	蘭州大學(蘭州)	2010. 4. 9 ※	
	東南大學(南京)	2010.10.29 ※	
	廈門大學(廈門)	2010.11.25 ※	
	上海海洋大學(上海)	2010.12. 1 ※	
	中国海洋大學(青島)	2011. 2. 3 ※	
	香港中文大學(香港)	2011. 9.30 ※	
西北農林科技大學(咸陽)	2011.10.13 ※		
上海交通大學(上海)	2011.10.19 ※		
インド	デリー大学	2010. 2.26 ※	
インドネシア共和国	バランカラヤ大学(バランカラヤ)	2006. 8.26 ※	
	ボゴール農業大学(ボゴール)	2009. 7.29 ※	
大韓民国	ガジャマダ大学(ジョグジャカルタ)	2010. 7.23 ※	
	ソウル大学校(ソウル)	1997.10. 1 ※	
	全北(ジョンブク)大学校(全州)	2000. 2. 9 ※	
	嶺南(ヨンナム)大学校(慶山)	2000. 8. 4 ※	
	金慶(プキョン)大学校(釜山)	2000.10.25 ※	
	忠南(チュンナム)大学校(大田)	2001. 7. 9 ※	
	江原(カンウォン)大学校(春川)	2003. 6.13 ※	
	忠北(チュンブク)大学校(清州)	2007.12. 6 ※	
	韓京(ハンキョン)大学校(安城)	2009. 2.16 ※	
	東義(ドンイ)大学校(釜山)	2009. 4.23 ※	
	韓国海洋大学校(釜山)	2010. 6. 3 ※	
	高麗(コリョ)大学校(ソウル)	2010.10.15 ※	
	延世(ヨンセ)大学校(ソウル)	2010.12. 6 ※	
	公州(コンジュ)大学校(公州)	2011. 8. 2 ※	
	仁川(インチョン)大学校(仁川)	2012. 4.16 ※	
	マレーシア	マレーシア科学大学(ブラウ・ペナン)	2010. 6. 7 ※
	モンゴル国	モンゴル国立農業大学(ウランバートル)	2009. 1.26 ※
	モンゴル国立大学(ウランバートル)	2011.12.22 ※	
ネパール連邦民主共和国	トリバパン大学(カトマンズ)	2010.10.24 ※	
フィリピン共和国	デラサル大学(マニラ)	2009. 1.11 ※	
スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学(ペラデニヤ)	2006.11.14 ※	
台湾	国立台湾大学(台北)	2005. 3. 3 ※	
	中央研究院(台北)	2008. 9.11 ※	
	国立中正大学(嘉義)	2009.11. 4 ※	
	淡江大学(淡水)	2010.11.29 ※	
	国立中興大学(台中)	2012. 3.14 ※	
タイ王国	アジア工科大学(クロナルアン)	2008.11. 4 ※	
	マヒドーン大学(サラヤ)	2008.11.26 ※	
	カセサート大学(バンコク)	2009. 1. 6 ※	
	チュラロンコン大学(バンコク)	2009. 7. 3 ※	

国・地域名	協定大学名(所在地)	締結年月日	
アジア	ベトナム社会主義共和国 ベトナム国家大学ホーチミン校(ホーチミン)	2010. 2.23 ※	
大洋州	オーストラリア連邦 タスマニア大学(タスマニア)	2009. 1. 9 ※	
	ニュージーランド オークランド大学(オークランド)	2003. 7.25 ※	
	タルトゥー大学(タルトゥー)	2008.10.28 ※	
ヨーロッパ	エストニア共和国 オウル大学(オウル)	2001.12.11 ※	
	フィンランド共和国 ヘルシンキ大学(ヘルシンキ)	2011. 3.11 ※	
		ラップランド大学(ロバニエミ)	2011. 6. 8 ※
		ストラスブール大学(ストラスブール)	2000.10.10 ※
	フランス共和国 グルノーブル大学連合(ジョセフ・フーリエ大学、ピエール・マンデス・フランス大学、スタンダール大学、グルノーブル理工科大学、グルノーブル政治学院、サヴォワ大学)	2000.10.10 ※	
		レンヌ政治学院(レンヌ)	2002. 9. 4 ※
		パリ政治学院(パリ)	2007. 5.18 ※
		エコール・ポリテクニク(パレゾー)	2008. 6.29 ※
		パリ工業物理化学高等専門大学(パリ)	2009. 3.31 ※
		マルセイユ第2大学(マルセイユ)	2009. 5.18 ※
	ドイツ連邦共和国 ルートヴィヒ・マクシミリアン大学(ミュンヘン)	1983. 1.31 ※	
	ブレーメン大学(ブレーメン)	2010. 2.11 ※	
	ミュンヘン工科大学(ミュンヘン)	2010. 7. 6 ※	
	ハンガリー ブダペスト工科大学(ブダペスト)	2004.11. 4 ※	
	イタリア共和国 トリノ工科大学(トリノ)	2008. 7. 1 ※	
	カザフスタン共和国 アルファラビ・カザフ国立大学(アルマティ)	2011. 8. 1 ※	
	ポーランド共和国 AGH科学技術大学(クラコフ)	2010. 7. 6 ※	
	モスクワ国立大学(モスクワ)	2001.10.10 ※	
	ロシア サハリン国立大学(ユジノサハリンスク)	2007.10.23 ※	
	極東連邦総合大学(ウラジオストク)	2007.11.12 ※	
	ロシア科学アカデミー極東支部(ウラジオストク)	2009. 7.23 ※	
	イルクーツク大学(イルクーツク)	2010. 3.30 ※	
	北東連邦大学(ヤクーツク)	2012. 4. 2 ※	
	セルビア共和国 ペオグラード大学(ペオグラード)	2011. 5.10 ※	
	スウェーデン王国 スウェーデン王立工科大学(ストックホルム)	2010. 1.20 ※	
	スイス連邦 ジュネーブ大学(ジュネーブ)	2005. 6. 7 ※	
	スイス連邦工科大学(チューリッヒ)	2007. 6.13 ※	
	英国 ウォリック大学(コヴェントリー)	2000. 1. 5 ※	
	シェフィールド大学(シェフィールド)	2010.10. 5 ※	
	エジンバラ大学(エジンバラ)	2011. 2.23 ※	
北米	カナダ アルバータ大学(エドモントン)	1997. 8.13 ※	
		プリティッシュ・コロンビア大学(バンクーバー)	2008. 6.29 ※
		ダルハウジー大学(ハリファックス)	2009. 7.30 ※
		ポートランド州立大学(ポートランド)	1972.12.19 ※
		マサチューセッツ大学(アマースト)	1976. 9.14 ※
		コーネル大学(イサカ)	1982. 6.16 ※
		アラスカ大学(フェアバンクス)	1986.12.20 ※
		ウイスコンシン大学マディソン校(マディソン)	1987. 4.21 ※
		オハイオ州立大学(コロンバス)	1998. 9. 1 ※
		テキサス大学健康科学センター・ヒューストン校(ヒューストン)	2003. 3.10 ※
		オレゴン大学(ユージー)	2006. 8.17 ※
		カリフォルニア大学デービス校(デービス)	2007. 8. 2 ※
		カリフォルニア大学ロサンゼルス校(ロサンゼルス)	2008. 6.29 ※

国・地域名	協定大学名(所在地)	締結年月日
北米	ハワイ大学マノア校(ホノルル)	2003. 6.30 ※
	ハワイ大学ヒロ校(ヒロ)	2003. 6.30 ※
	オクラホマ大学(ノーマン)	2010. 3.25 ※
南米	ブラジル連邦共和国 サンパウロ大学(サンパウロ)	2009. 4. 1 ※
中東	サウジアラビア王国 キング・アブドゥルアジーズ大学(ジェッタ)	2010. 7. 8 ※

国・地域名	協定大学名(所在地)	締結年月日
アフリカ	ナイジェリア連邦共和国 ナイジェリア大学(ヌサカ)、エボニ州立大学(アバカリキ)	2009. 1.30 ※
	南アフリカ共和国 ヨハネスブルグ大学(ヨハネスブルグ)	2008. 6.29 ※
	ザンビア共和国 ザンビア大学(ルサカ)	2011. 3.18 ※

※学術交流協定の他に学生交流覚書を締結 ©学生交流協定のみのみ

大学間交流協定に基づく覚書(9カ国、27覚書)

国・地域名	協定大学名	締結年月日	本学の締結部局	交流内容		
アジア	中華人民共和国	復旦大学数学研究所	2004. 1. 1	理学研究科	学術交流	
		北京大学図書館	2005. 4. 1	附属図書館	共同利用	
		北京科技大学	2005.11.24	工学研究科	学術交流	
		北京大学知識産権学院	2010. 3.11	情報法政策学研究中心	学術交流	
		東北師範大学数学と統計学院	2011. 2.20	理学院	ダブルディグリー	
		浙江大学生命科学院	2011. 2.21	環境科学院、サステナビリティ学教育研究センター	StraSSプログラム、学生交流	
		東南大学数学系	2011. 3. 9	理学院	ダブルディグリー	
	大韓民国	嶺南大学校商経大学	2001. 9.27	経済学研究科	学術交流	
		忠北大学校工科大学	2007.12. 6	工学研究科	学術交流	
		ソウル大学校分子ダイナミクス研究センター	2009. 6.30	低温科学研究所	学術交流	
		延世大学校商経大学	2010.11.22	経済学研究科	ジョイントセミナー	
		ソウル大学校工科大学	2011. 1.17	工学院・工学部、情報科学研究科	学生交流	
		ソウル大学校工科大学	2011. 1.17	工学院・工学部、情報科学研究科	インターンシップ	
	タイ王国	釜慶大学校水産科学大学	2011.7.31	工学院、情報科学研究科	ダブルディグリー	
		アジアカラコフ大学工学部	2011.12.26	水産科学院・水産学部	学生交流	
アジアカラコフ大学環境資源開発学部		2011. 3.17	工学院	ダブルディグリー		
ヨーロッパ	ドイツ連邦共和国	アジアカラコフ大学工学部	2011. 6.29	水産科学研究院	共同教育	
	カザフスタン共和国	ミュンヘン大学獣医学部(ミュンヘン)	2011. 9. 5	工学、情報、総合化学	インターンシップ	
	ポーランド共和国	アルファラビ・カザフ国立大学理工学研究科	2011. 1.10	獣医学研究科	学術交流、学生交流	
	スイス連邦	AGH科学技術大学(クラコフ)	2012. 2.29	理学院	ダブルディグリー	
北米	カナダ	スويس連邦工科大学材料研究センター	2010. 7. 6	工学院	ダブルディグリー	
	アメリカ合衆国	スويس連邦工科大学材料研究センター	2011.11.22	総合化学院	ダブルディグリー	
		スويس連邦工科大学材料研究センター	2008. 3. 4	工学研究科	学術交流	
		カナダ	プリティッシュ・コロムビア大学水産科学センター	2011. 3. 1	水産科学院	学生交流
		アラスカ大学フェアバンクス校 水産・海洋学部	1986. 9.12	水産学部	学術交流	
ポートランド州立大学 教育学部	1989.12.12	教育学部	学術交流			
アラスカ大学博物館	2005.11. 1	総合博物館	学術交流			

国際コンソーシアムへの参加(6件)

名称	参加国・大学等数	交流内容	参加部局等	参加年月日
日仏共同博士課程	2カ国85機関(日本:33 仏:52)	学生交流	全学	2002. 9.13
国際南極大学	12カ国17機関	学術交流/学生交流	全学	2006. 7. 8
日加戦略的留学生交流促進プログラム	2カ国29機関(日本:15 加:14)	学生交流	全学	2006.12. 8
ProSPER.Net(アジア環境大学院ネットワーク)	11カ国・地域21機関	学術交流/学生交流	全学	2008. 6.21
フランス-日本-ベトナム特異点ネットワーク	3カ国11機関(日本:4 仏:6 越:1)	学術交流/学生交流	理学研究院	2011. 1. 1
北極圏大学	11カ国138機関	学術交流/学生交流	全学	2011. 6. 8

部局間交流協定(36カ国・地域、180協定)

国・地域名	協定大学名(所在地)	本学の締結部局	締結年月日		
アジア	バングラデシュ人民共和国	ジャハンギルナガル大学(ダッカ)	地球環境科学研究院	2012. 1.26	
	中華人民共和国	協和医科大学(北京)	医学部	1994. 7.14	
		ハルビン医科大学(哈爾濱)	口腔医学院	1985. 2.26	
		ハルビン医科大学(哈爾濱)	第四臨床医学院	2000. 6. 5	
		中国医科大学(瀋陽)	口腔医学院	2005. 9.21	
		瀋陽工業大学(瀋陽)	工学部	2001. 1.29	
		上海交通大學(上海)	工学院	1985. 6.24	
		東北農業大学(哈爾濱)	工学研究科	1992.11.23	
		瀋陽農業大学(瀋陽)	農学部	1986. 6. 2	
		東北林業大学(哈爾濱)	農学部	1986.11. 5	
		吉林大學(長春)	法学院	1986.12.31	
		大連海洋大学(大連)	法学研究科・法学部	1998.11.10	
		中国社会科学院(北京)	東欧・ロシア・中央アジア研究所	2000. 9.15	
		中国石油大学(北京)	スラブ研究センター	1994. 9.13	
		華東師範大学(上海)	化工学院	2001.12. 7	
		厦門大学(厦門)	化学系	2005. 3.18	
		中国科学院大連化学物理研究所(大連)	固体表面物理化学国家重点実験室	触媒化学研究センター	2007.10. 9
		河北理工大学(唐山)	触媒基礎国家重点実験室	触媒化学研究センター	2007.10.10
		香港大学(香港)	工学研究科	工学研究科	2008. 3.10 ※
		ハルビン工程大学(哈爾濱)	李嘉誠医学院	医学研究科・医学部	2008. 1.30 ※
		華東理工大学(上海)	工科学院	工学研究科	2008. 8.18 ※
		中国社会科学新聞と伝播研究所(北京)	法学院	法学研究科	2008. 7. 3 ※
		中南財経政法大学(武漢)	法学院	メディア・コミュニケーション研究院・国際広報メディア・観光学院	2009. 2.19
		南京師範大学(南京)	法学院	法学研究科・法学部	2009. 3. 6 ※
				法学研究科	2009. 5.15 ※

国・地域名	協定大学名(所在地)		大学の締結部局	締結年月日		
中華人民共和国	ハルビン工業大学(哈爾濱)		工学研究科	2009. 8.11	※	
	華中科技大学(武漢)		法学院	2009.10.26	※	
	黒龍江省社会科学院(哈爾濱)		スラブ研究センター	2010. 6.14		
	中国人民大学(北京)		法学院・知識産権学院	2010.10. 1	※	
	西安建築科技大学(西安)		工学研究科・工学院	2010. 6.12	※	
	東南大学(南京)		数学系	2010. 8.15		
	東北大学(瀋陽)			2011. 3. 9	※	
	黒龍江省林業科学研究所(哈爾濱)		北方生物圏フィールド科学センター	2011.10.19		
	インド	バラタサン大学(ティルチラパッリ)	動物科学院	2010. 8.23		
	インドネシア共和国	バンドン工科大学(バンドン)		土木・計画工学部	2000. 8.11	※
パラランカラヤ大学(パラランカラヤ)			2009.11. 5	※		
スリウィジャヤ大学(パレンバン)		農学部	2010. 9.23	※		
イスラム大学(ジョグジャカルタ)		土木工学部	2008.12.11			
パジャジャラン大学(バンドン)		地質学部	2011. 2.24			
インドネシア科学省(チビノン)		生物研究センター	2011. 2.25			
大韓民国	全南(ジョンナム)大学校(光州・麗水)		農科大学	2002. 1.24		
			水産海洋大学	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	2007. 8.27	※
	慶北(キョンブク)大学校(大邱)		獣医科大学	獣医学研究科・獣医学部	2000.12.19	
	済州(ジェジュ)大学校(済州)		海洋科学大学		2002.12.17	※
	慶尚(キョンサン)大学校(晋州)		海洋科学大学	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	2003.12.15	※
	慶熙(キョンヒ)大学校(水原)		生命科学大学	北方生物圏フィールド科学センター	2004. 2.25	
	群山(クンサン)大学校(群山)		海洋科学大学	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	2005. 8.29	※
	公州(ゴンジュ)大学校(公州)		師範大学	教育学研究科	2007. 1.19	※
	江陵(カンナム)大学校(江陵)		生命科学大学	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	2007. 7. 1	※
	高麗(コリョ)大学校(ソウル)		師範大学・教育大学院	情報基盤センター	2009. 7.23	
	ソウル女子大学(ソウル)		自然科学部	農学研究所・農学部・農学部	2010. 6.11	※
	ソウル市立大学校(ソウル)		人文大学			
			都市科学大学	文学研究科・文学部	2010.10.29	※
			大学院			
	慶熙大学校(ソウル)		法科大学	法学研究科	2011. 3.29	
	仁川大学校(仁川)		工科大学	工学研究科・工学院	2011. 5.26	
漢城大学校(ソウル)		芸術大学	情報基盤センター	2011. 7.29		
漢陽大学校(ソウル)		工科大学	工学研究科・工学院・工学部	2011. 9.19	※	
国立生物資源研究所(仁川)			総合博物館	2012. 2. 9		
マレーシア	マレーシア農科大学(セルタン)		水産・海洋学部	1990. 5.29		
モンゴル国	モンゴル科学アカデミー地理学研究所(ウランバートル)		地球環境科学研究所	2009. 2.18		
	モンゴル国家気象水文環境監視省水文気象研究所(ウランバートル)		農学研究所	2009. 2.12		
	モンゴル国立大学(ウランバートル)		生態学研究科	地球環境科学研究所 農学研究所	2009. 2.18	
			原子核研究センター	2010. 9.21		
パキスタン・イスラム共和国	カラチ大学(カラチ)		理学部	2008. 9.29	※	
フィリピン共和国	フィリピン大学ディルマン校(ケソン)		工学部	2010. 4.28	※	
シンガポール共和国	シンガポール国立大学(シンガポール)		人文社会学部	2006. 8. 8	※	
台湾	国立台湾大学(台北)		社会科学院 法学院	法学研究科・法学部	2000. 1.28 2000.10.20	※ ※
			法学院	法学研究科・法学部		※
	国立政治大学(台北)		社会科学院 国際事務学院	法学研究科・法学部 公共政策学連携研究部・教育部	2005. 7.28	※ ※
			先住民族研究センター	アイヌ・先住民研究センター	2007.10.18	
	国立台湾師範大学(台北)		光電科学技術研究所	電子科学研究所	2008. 1.28	
	国立台湾海洋大学(基隆)		生命科学部	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	2008. 8.20	※
	国立高雄大学(高雄)		法学院	法学研究科	2008. 3.11	
	国立成功大学(台南)		永綿環境科技研究センター 環境工学系	環境科学院 サステイナビリティ学教育研究センター	2010. 9. 2	※
			理学院	理学研究科	2011.10. 4	
	国立交通大学(新竹)		理学院	電子科学研究所	2011. 1.24	
国立台北大学(台北)		公共行政暨政策学科	公共政策学連携研究部	2011. 9.27		
タイ王国	コンケン大学(コンケン)		人文社会学部	文学研究科	2004.11.30	※
	東南アジア漁業開発センター(バンコク)			水産科学研究所	2006. 2.18	
	タマサート大学(バンコク)		シリントーン国際工学部	工学研究科	2007. 5.15	※
	チュロンコン大学(バンコク)		工学部		2007. 7. 1	※
	情報通信委員会(バンコク)			情報科学研究科	2007. 7. 1	
	モンクット王工科大学ラカバン校(バンコク)		工学部		2007.12. 1	※
	ラジャマンガラタンヤプリ工科大学(タンヤプリ)		理工学部	工学研究科	2008. 7.17	※
	農業研究開発庁(バンコク)			農学研究所・農学部	2009. 3.24	
大洋州	オーストラリア連邦	ワライラック大学(タサラ)	農業工学部	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	2009.12.12	※
ヨーロッパ	クロアチア共和国	クイーンズランド大学(ブリスベン)	健康科学部	水産科学研究所・水産科学院	2005. 7. 1	※
	チェコ共和国	ザグレブ大学(ザグレブ)	人文社会科学部	文学研究科	2009. 2.18	※
		カレル大学(プラハ)	医学部	医学研究科・医学部	2008. 9. 8	
	デンマーク王国	南ボヘミア大学(ボドナニー)	水産及び水系保護研究院	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	2010. 6.29	※
		デンマーク王立芸術アカデミー(コペンハーゲン)	建築学部	工学研究科	2010. 3.31	※
		コペンハーゲン大学(コペンハーゲン)	ニールスポーア研究所	低温科学研究所	2012. 1.25	
		フィンランド共和国	タンペレ応用科学大学(タンペレ)	工学研究科・工学院 総合化学院	2011. 1.12	※
		フランス共和国	ボワチエ大学(ボワチエ)	法学部	1993.10.15	
	フランス国立東洋語東洋文化研究所(パリ)	ロシア・ユーラシア研究センター	スラブ研究センター	1983. 9.25		

国・地域名	協定大学名(所在地)	本学の締結部局	締結年月日	
フランス共和国	国立高等研究院(パリ)	文学研究科	2005. 6.30	
	リヨン高等師範学校(リヨン)	電子科学研究所	2010. 3.26	
	ストラスブール動物学博物館(ストラスブール)	総合博物館	2009.11.20	
	機械航空高等国立大学(ポアティエ)	工学研究院・工学院	2011. 1.18 ※	
	リル第1大学—リル中央学院(リル)	触媒・固体化学研究ユニット	2011. 1.17 ※	
	先端産業技術工科大学(ビダール)	情報科学研究科 工学院	2011.10.11 ※	
	国立気象研究センター(トゥールーズ)	低温科学研究所	2012. 3.26	
	マックスプランク協会フリッツハーバ研究所(ベルリン)	触媒化学研究センター	2005.12.26	
	アルフレッドウエゲナー極地海洋研究所(プレーマーハーフェン)	低温科学研究所	2009. 3. 3	
	マックスプランク海洋微生物学研究所(ブレーメン)	低温科学研究所	2009. 3. 4	
ドイツ連邦共和国	オットー・フォン・ゲーリケ大学マクデブルグ(マクデブルグ)	自然科学部 電子科学研究所	2010. 9.13	
	ゼンケンベルグ自然博物館(フランクフルト)	総合博物館	2009.11.18	
	マックスプランク陸生微生物学研究所(マールブルグ)	低温科学研究所	2012. 1.19	
	ハンガリー	聖イシュトヴァン大学(ブダペスト)	経済社会学部 農学環境科学部 農学研究科	2003. 2. 5 ※
カザフスタン共和国	カザフスタン国立教育大学(アルマティ)	大学院 理学研究院	2009.11.19	
オランダ王国	ライデン大学(ライデン)	東欧法律・ロシア研究所 スラブ研究センター	1994. 1.17	
オランダ王国	自由大学(アムステルダム)	地球環境科学研究所 地球生命科学科	2010.12.13	
ノルウェー王国	トロムソ大学(トロムソ)	サーミ研究センター アイヌ・先住民研究センター	2010. 8. 5	
ポーランド共和国	ワルシャワ経済大学(ワルシャワ)	経済学部	1989. 3.14	
	ウッジ工科大学(ウッジ)	繊維学部 理学部	1992. 3.19	
	ポーランド科学アカデミー—数学研究所(ワルシャワ)	理学研究院	2003. 9.26	
	ポーランド科学アカデミー—触媒・表面化学研究所(クラクフ)	触媒化学研究センター	2010. 3.15	
	西ポメラニアン大学(シュチェチン)	化学・環境工学研究所	2010. 3.17	
	グダンスク工科大学(グダンスク)		2010. 3.18	
	ロシア国立モスクワ教育大学(モスクワ)	教育学部	1995. 8. 3	
	ロシア科学アカデミー—シベリア支部経済・工業生産組織研究所(ノボシビルスク)	経済学部	1990. 7.30	
	ロシア科学アカデミー—シベリア支部地質学・地球物理学研究所・鉱物学連合研究所(ノボシビルスク)	理学部	1992. 3.10	
	ノボシビルスク国立大学(ノボシビルスク)		1993. 6.18	
ロシア	ロシア科学アカデミー—ウラル研究所・金属物理学研究所(エカテリンブルグ)	理学研究科	2000. 9.29	
	ロシア科学アカデミー—東洋学研究所(モスクワ)	スラブ研究センター	2005.10.17	
	サハリ州郷土博物館(ユジノサハリンスク)	総合博物館	2000. 8. 1	
	国立カザニ・エネルギー大学(タタルスタン)	経済学・社会学研究科	2005. 1.28	
	ロシア科学アカデミー—シベリア支部・V. N.スカチェフ森林研究所(クラスノヤルスク)	北方生物圏フィールド科学センター	2005. 3.12	
	ロシア科学アカデミー—スラブ学研究所(モスクワ)	スラブ研究センター	2006. 6. 6	
	ロシア科学アカデミー—シベリア支部・寒冷圏生物学研究所(ヤクーツク)	地球環境科学研究所 農学研究院	2008.12. 2	
	ロシア・極東地質学研究所(ウラジオストック)		2008.11.27	
	ヤクーツク国立大学(ヤクーツク)	地球環境科学研究所	2008.12. 3	
	ロシア科学アカデミー—シベリア支部・メリニコフ永久凍土研究所(ヤクーツク)		2010. 2. 1	
ロシア科学アカデミー—シベリア支部・北方先住民民族研究所(ヤクーツク)		2010. 2. 1		
ハバロフスク州立グロドコバ博物館(ハバロフスク)		2010. 4. 1		
ニコラエフスク・ナ・アムール市立博物館(ニコラエフスク)		2010. 4. 1		
沿海州国立アルセニエフ総合博物館(ウラジオストック)	総合博物館	2010. 4. 1		
ロシア科学アカデミー—極東支部北東総合科学研究所(マガダン)		2010. 8. 1		
カムチャッカ工科大学(ペトロパブロフスク—カムチャッキー)		2010. 8.20		
チュメニ石油ガス大学(チュメニ)	地球環境科学研究所	2010.11.22		
ロシア科学アカデミー—チュメニサイエンスセンター(チュメニ)		2011. 4.14		
ロシア科学アカデミー—ロシア文学研究所(サントペテルブルグ)	スラブ研究センター	2011. 6. 1		
イルクーツク工科大学(イルクーツク)	総合博物館	2011. 6. 1		
スペイン	バレンシア工科大学(バレンシア)	建築学院 土木学院	2006. 1. 9 ※	
	イエテボリ大学(イエテボリ)	経営・経済・商法学部	1996.10.28 ※	
スウェーデン王国	リンシェーピング大学(リンシェーピング)	工学部	2000. 8.24 ※	
	ストックホルム大学(ストックホルム)	理学部	2010. 9.20 ※	
ウクライナ	ボゴリューボフ理論物理学研究所(キエフ)	理学研究院	2002. 3.30	
英 国	オックスフォード大学(オックスフォード)	ロシア・ユーラシア研究センター	2004. 3.12	
	リーズ大学(リーズ)	教育・社会科学・法学研究科	2006.12.11	
	エジンバラ大学(エジンバラ)	獣医校	2009. 7.24 ※	
	マンチェスター大学(マンチェスター)	人文科学学部	2009.12. 9 ※	
	カーディフ大学(カーディフ)	カーディフ触媒研究所	2010. 1.26	
カナダ	マクマスター大学(ハミルトン)	マイケル G. デグローテ経営大学院	2001.10.15 ※	
	オタワ大学(オタワ)	医学部	2004.11.29	
	サイモン・フレーザー大学(バーナビー)	理学研究院	2008. 5.10	
	ウイスコンシン大学(マディソン)	ロー・スクール	1999. 6. 1	
	オレゴン・ヘルスサイエンス大学(ポートランド)	歯学部	1974. 1. 1	
	ワシントン大学(シアトル)	海洋・水産学部	1988. 6.24	
	メリーランド大学メリーランドバイオテクノロジー研究所マリンバイオテクノロジー研究センター(ボルチモア)	水産学部	1989.12.23	
	イリノイ大学(シカゴ)	大学院シカゴ校	地球環境科学研究科	1993. 7.14
	ハーバード大学(ケンブリッジ)	ロシア・ユーラシア研究センター	スラブ研究センター	1992.11. 4
	デラウェア大学(ニューアーク)	触媒科学技術センター	触媒化学研究センター	2007. 7. 9
アメリカ合衆国	カリフォルニア大学ロサンゼルス校(ロサンゼルス)	カリフォルニアナノシステム研究所	電子科学研究所	2008. 6.10
	アイオワ州立大学(エイムズ)	理工技術研究所	触媒化学研究センター	2009. 3.10
	マサチューセッツ大学医学校(ウースター)	生物医学研究科	先端生命科学研究所・生命科学院	2011. 5.10 ※

国・地域名		協定大学名(所在地)		本学の締結部局	締結年月日
北米	アメリカ合衆国	ライス大学(ヒューストン)	ジョージR. ブラウン工学院	工学研究院・工学院・工学部 情報科学研究科 総合化学院	2011.10.19
南米	ブラジル連邦共和国	ヴィソウザ大学(ヴィソウザ)		農学研究科	2001. 5.10
中東	トルコ共和国	イズミール大学(イズミール)		医学研究科・医学部	2011.10.24 ※
アフリカ	ブルキナファソ	国際水環境技術学院(ワガドゥグー)		工学研究科	2010. 1.26 ※
	エジプト・アラブ共和国	ザガジク大学(ザガジク)	獣医学部	サステイナビリティ学教育研究センター	2010. 3.15
	エジプト・アラブ共和国	ザガジク大学(ザガジク)	獣医学部	獣医学研究科	2012. 3. 6
	ザンビア共和国	ザンビア大学(ルサカ)	獣医学部	獣医学研究科・獣医学部	1991.12. 5

※学術交流協定の他に学生交流覚書を締結

海外拠点

■業務内容

1. 海外の諸大学との留学生及び研究者の交流を促進するために、情報を収集し提供する。
2. 本学の入学試験に関する広報。
3. 大学院入学者選抜のための面接試験などの実施。
4. 留学生などの受け入れに関する連絡調整。
5. 本学教職員の教育研究などの活動支援。
6. 帰国した本学の元留学生、海外に赴任している本学の卒業生などによる本学同窓会の活動支援。
7. 日本の国内企業と海外の大学などとの産学連携への支援。



北京オフィス

■北海道大学北京オフィス

■設立/2006年

■所在地・連絡先/中華人民共和国北京市海淀区中関村北大街151号

北大資源大廈806号(北京大学キャンパスの南東角付近)

Tel +86-10-5887-6455 Fax +86-10-5887-6456

Email beijing_office@hokudai.cn

開館時間: 平日9:00 ~ 17:00

土・日曜日、中国における祝日は休館。

■ウェブサイト(日本語・中国語) / <http://www.hokudai.cn/>

北京オフィススタッフ

■北海道大学ソウルオフィス

■設立/2011年

■所在地・連絡先/大韓民国ソウル特別市江南区駅三洞649-4韓徳ビル703号室

Tel +82-2-501-9400 Fax +82-2-501-9410

Email seouloffice@hokudai.kr

開館時間: 平日9:00 ~ 17:00

土・日曜日、韓国における祝日は休館。

■ウェブサイト(日本語・韓国語) / <http://www.hokudai.kr/>ソウルオフィス
が入居するビル

■北海道大学ヘルシンキオフィス

■設立/2012年

■所在地・連絡先/フィンランド共和国ヘルシンキ市Fabianinkatu 26(ヘルシンキ大学内)

Tel +358-44-757-5135

Email helsinki_office@oia.hokudai.ac.jp

開館時間: 平日9:00 ~ 11:00, 13:00 ~ 16:30

土・日曜日、フィンランドにおける祝日は休館。

■ウェブサイト(英語) / <http://www.hokudai.fi/>ヘルシンキ
オフィスが
入居するビル

■北海道大学ルサカオフィス

■設立/2012年

■所在地・連絡先/ザンビア共和国ルサカ市Great East Road P.O.Box 32379(ザンビア大学内)

Tel +260-211-292627

Email lusaka_office@oia.hokudai.ac.jp

開館時間: 平日9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 16:30。

土・日曜日、ザンビアにおける祝日は休館。



ルサカオフィスが入居するビル

寄附講座等

平成24年5月1日現在

(28講座等)

寄附講座等設置部局	講座等名	設置期間	寄附者名
医学研究科	分子イメージング講座	平成17年4月1日～平成25年3月31日	㈱日立製作所
	人工関節・再生医学講座	平成19年4月1日～平成25年3月31日	ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱メディカルカンパニー、北海道厚生農業協同組合連合会
	時間医学講座	平成18年4月1日～平成28年3月31日	㈱ベルク、コンチネンタル貿易㈱
	炎症眼科学講座	平成20年4月1日～平成26年3月31日	田辺三菱製薬㈱、大塚製薬㈱、アボットジャパン㈱、参天製薬㈱、ノバルティスファーマ㈱、興和創薬㈱、日本アルコン㈱、わかもと製薬㈱、日立化成工業㈱、(有)ティネアイリサーチ、手稲溪仁会病院、さざもと眼科クリニック、明治眼科医院、元町眼科クリニック、大橋眼科、長田眼科、秀真会、竹内眼科医院、中沢洋子、広瀬茂人、奥村芳子、樋口眞琴、廣瀬茂樹
	総合女性医療システム学講座	平成20年6月1日～平成25年3月31日	北海道厚生農業協同組合連合会
	探索病理学講座	平成20年10月1日～平成29年3月31日	医療法人社団北斗 北斗病院、協和発酵キリン㈱
	脊椎・脊髄先端医学講座	平成21年4月1日～平成26年3月31日	㈱ロバート・リード商会、小林病院
	眼循環代謝学講座	平成22年4月1日～平成25年3月31日	㈱ニデック
	がん予防内科学講座	平成23年1月1日～平成27年12月31日	イーザイ㈱
	移植外科学講座	平成23年1月1日～平成27年12月31日	㈱メディカルシステムネットワーク、㈱ムトウ、学校法人吉田学園、社会医療法人母恋、医療法人溪和会江別病院、㈱クローバー
工学研究院	バイオウエイストマネジメント工学分野	平成21年10月1日～平成24年9月30日	㈱大林組、鹿島建設㈱、㈱環境総合テクノス、三友プラントサービス㈱、㈱大建設、大成基礎設計㈱、太陽工業㈱、北海道ガス㈱、有機系廃棄物資源循環システム(ORS)研究会
	寒冷地河川工学分野	平成21年11月1日～平成24年10月31日	(一財)北海道河川財団
	土壌環境評価工学分野	平成22年11月1日～平成25年3月31日	(一社)北海道開発技術センター
工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター	長寿命・高信頼性コーティングシステム分野	平成21年7月1日～平成24年6月30日	日東紡績㈱
薬学研究院	医薬品リスク管理学(アインファーマシーズ)分野	平成18年12月1日～平成24年11月30日	㈱アインファーマシーズ
	生体情報科学(HSS・北海道和光純薬)分野	平成20年4月1日～平成25年3月31日	北海道システム・サイエンス㈱、北海道和光純薬㈱
農学研究院	微生物新機能開発工学分野	平成21年10月1日～平成26年9月30日	(公財)発酵研究所
保健科学研究院	食品機能解析・保健栄養学(渡辺オイスター)分野	平成22年1月1日～平成24年12月31日	㈱渡辺オイスター研究所
	北斗関節機能障害予防工学分野	平成23年5月1日～平成26年4月30日	社会医療法人 北斗
北海道大学病院	分子追跡放射線医療寄附研究部門	平成18年4月1日～平成28年3月31日	㈱日立製作所、㈱日立メディコ、㈱バリアンメディカルシステムズ、㈱島津製作所
	地域健康社会寄附研究部門	平成21年4月1日～平成25年3月31日	㈱アークス、キョーリンリメディオ㈱、㈱モロオ、㈱北海道バイオインダストリー、㈱スズケン、㈱アンビックス、㈱土屋ホールディングス、㈱北洋銀行、日本清酒㈱、村松法律事務所、㈱アスリートクラブ、クリプトン・フューチャー・メディア㈱、ヘル食品㈱、(有)ニュートン・グラフィックス、生活協同組合コープさっぽろ、(株)ホールセールスターズ、(株)レーザーシステム、(株)メディア・マジック
	コンパニオン診断学寄附研究部門	平成24年4月1日～平成26年3月31日	沢井製薬(株)、(株)モロオ、その他1社
遺伝子病制御研究所	マトリックスメディスン研究部門	平成16年4月1日～平成26年3月31日	アステラス製薬㈱
	ROYCE'健康バイオ研究部門	平成18年4月1日～平成28年3月31日	㈱ロイズコンフェクト
	プロバイオティクス・イムノロジー研究部門	平成23年9月1日～平成26年3月31日	雪印メグミルク(株)
観光学高等研究センター	観光地域マネジメント寄附講座研究部門	平成19年4月1日～平成29年3月31日	東日本旅客鉄道㈱、北海道旅客鉄道㈱
	クボタ農地再生・ふるさと起業研究部門	平成22年4月1日～平成25年3月31日	㈱クボタ
創成研究機構	JAPEX地球エネルギーフロンティア研究部門	平成21年4月1日～平成26年3月31日	石油資源開発㈱

(敬称略)

沿革

組織

学生

国際交流

寄附講座・公開講座等の
実施状況

全学的な教育研究体制

財政

キャンパス

公開講座等

平成24年5月1日現在

平成24年度計画

■公開講座【教養型】(全学企画)

主催	講座名	開設期間	回数(延時間)	募集人員
北海道大学	私たちの未来とリスク	7/2～7/30	8(16)	100人

■公開講座【教養型】(各部局等の企画)

主催	講座名	開設期間	回数(延時間)	募集人員
医学研究科	日本泌尿器科学会設立100周年記念事業市民公開講座	4/8	1(2.5)	特に定めなし
工学研究院	廃棄物特別講義 一循環型社会を創る一	4/12～8/2	15(22.5)	30人
スラブ研究センター	ユーラシアの自然と環境は誰が守るのか	5/11～5/31	7(14)	80人
高等教育推進機構(生涯学習計画研究部門)	アドバンスドランニング講習・1期	5/10～6/21	4(8)	40人
高等教育推進機構(生涯学習計画研究部門)	未来のアスリートを目指して	5/13	1(2)	20人
文学研究科	旅と交流 一歴史を旅して、現代の問題を考える一	5/16～7/18	10(15)	80人
理学研究院附属地震火山研究観測センター	北海道の地震と防災	6/9～6/16	2(9)	50人
メディア・コミュニケーション研究院	広東語で知る香港文化	6/18～7/9	4(6)	50人
工学研究院	放射線の話 一環境・健康・医療・産業における放射線一	7/6～8/3	5(7.5)	100人
水産科学研究院	水産科学がひらく未来：環境・食・そして私たちの生活への提言 パートⅡ 食の視点から	7/7～8/25	6(12)	80人
高等教育推進機構(生涯学習計画研究部門)	アドバンスドランニング講習・2期	7/2～8/16	4(8)	先着40人
法学研究科	東アジアと北海道のかかわり(仮)	7/26～8/23	4(8)	50人
地球環境科学研究院	環境を支える化学	8/22～9/26	6(9)	70人
高等教育推進機構(生涯学習計画研究部門)	アドバンスドランニング講習・3期	9/13～10/25	4(8)	40人
公共政策学連携研究部	持続可能な低炭素社会	10/4～1/17	14(21)	50人
経済学研究科	地域経済を考える一歴史の視点から一	10/6～10/13	4(6)	50人
観光学高等研究センター	観光創造学への挑戦	10/27・28	2(10)	100人
情報科学研究科	くらしの中の情報科学	11/1～11/30	5(7.5)	30人
歯学研究科	歯学研究科市民公開特別講座「インプラントって何？」	11/11	1	150人
メディア・コミュニケーション研究院	世界のリーダー交代を考える	11/29～12/20	4(6)	50人
保健科学研究院	ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ	未定	1	100人

■公開講座【専門型】(各部局等の企画)

主催	講座名	開設期間	回数(延時間)	募集人員
農学研究科	食品総合技術監理学	4/10～5/29	8(24)	5人
薬学研究科	平成24年度北海道大学薬学部生涯教育特別講座・春季講演会	6/1	1(1.5)	150人
北海道大学病院	北海道大学病院検査・輸血部公開講座(仮称)	7/1～9/30	1(3)	100人
公共政策学連携研究部	2012地方議員向けサマースクール	8/2・3	1(11)	20人
薬学研究科	平成24年度北海道大学薬学部生涯教育特別講座秋季講演会	9/29	1(2)	150人
高等教育推進機構(生涯学習計画研究部門)	平成24年度 生涯学習計画セミナー	12/15	1(6)	20人

■大学等地域開放特別事業等

主催	講座名	開設期間	回数(延時間)	募集人員
北方生物圏フィールド科学センター	港ふるさと体験学習	7/1～9/29	未定	未定
北方生物圏フィールド科学センター	葉っぱで作る植物図鑑	7/26・27	4(8)	40人
北方生物圏フィールド科学センター	海藻標本作成会(海藻クラブ)	8/1～8/31	1(11)	20人
北方生物圏フィールド科学センター	冬の植物園 ウォッチングツアー	3/2・3	4(8)	60人
北方生物圏フィールド科学センター	森の探検隊・古座川編	未定	1(6)	20人

平成23年度実績

■公開講座【教養型】(全学企画)

主催	講座名	受講者数
北海道大学	アジアのなかの日本・北海道	84 (16)人

■公開講座【教養型】(各部局等の企画)

主催	講座名	受講者数
高等教育推進機構(生涯学習計画研究部門)	未来のアスリートを目指して	13人
スラブ研究センター	スラブ・ユーラシアで躍動する人々	89人
文学研究科	生物という文化を探る＝人と生物の多様な関わり＝	108人
メディア・コミュニケーション研究院	「公共」の多様性と新しい流れ	53人
理学研究院附属地震火山研究観測センター	地震の科学と防災－我が家の地震対策を考えよう－	57(5)人
水産科学研究院	水産科学がひらく未来：環境・食・そして私たちの生活への提言 パートⅠ 環境の視点から	36(5)人
法学研究科	地域再生を考える～危機を超える法と行政～	60人
地球環境科学研究院	生物の環境への適応	75人
経済学研究科	経済学的思考を実践する	77人
歯学研究科	市民公開特別講座～今一度見直そう！口腔ケアの重要性～	90人
公共政策学連携研究部/地球環境科学研究院	持続可能な低炭素社会	93人
メディア・コミュニケーション研究院	News About Japan on bbc.co.uk－BBCのウェブサイトに見る日本のニュース－	59人
情報科学研究科	くらしの中の情報科学－ネットワークからナノテク・ゲノムまで－	38人
観光学高等研究センター	旅の記憶、まちの記憶、出会いの記憶	59人
工学研究院	ナノ世界の最前線－見る、作る、使う	50人

■公開講座【専門型】(各部局等の企画)

主催	講座名	受講者数
高等教育推進機構(生涯学習計画研究部門)	大学との連携による遠隔生涯学習の方法	7人
高等教育推進機構(生涯学習計画研究部門)	生涯学習計画セミナー	12(1)人
医学研究科	側弯症市民公開講座	90人
工学研究院	廃棄物学特別講義－循環型社会を創る－	9(7)人
薬学研究院	北海道大学薬学部生涯教育特別講座 (春季講演会)	96人
薬学研究院	北海道大学薬学部生涯教育特別講座 (秋季公開シンポジウム・教育講演)	93人
農学研究科	食品総合技術監理学	中止
公共政策学連携研究部	2011 地方議員向けサマースクール	19人
北海道大学病院(看護部)	北大病院専門領域別研修会－救急時看護Ⅰ－	53人
北海道大学病院(看護部)	北大病院専門領域別研修会－手術看護－	30人
北海道大学病院(看護部)	北大病院専門領域別研修会－救急時看護Ⅱ－	19人
北海道大学病院(看護部)	北大病院専門領域別研修会－救急時看護Ⅲ－	25人
北海道大学病院(看護部)	北大病院専門領域別研修会－集中ケアⅠ－	41人
北海道大学病院(看護部)	北大病院専門領域別研修会－集中ケアⅡ－	20人
北海道大学病院(看護部)	北大病院専門領域別研修会－がん学療法看護－	20人
遺伝子病制御研究所	免疫バランスと健康～がん制圧から子育て、新北海道開拓への応用	76人

■大学等地域開放特別事業等

主催	講座名	受講者数
北方生物圏フィールド科学センター	市民公開講座「回遊魚の不思議」	150人
北方生物圏フィールド科学センター	葉っぱで作る植物図鑑	38人
北方生物圏フィールド科学センター	港ふるさと体験学習	148人
北方生物圏フィールド科学センター	海藻標本作成会	7人
北方生物圏フィールド科学センター	森の探検隊・古座川編	14人
北方生物圏フィールド科学センター	森のたんけん隊2012冬	中止
北方生物圏フィールド科学センター	冬の植物園 ウォッチングツアー	30人

※受講者数欄内()は、1回のみ受講者数で外数

産学官連携・研究支援

産学連携本部 Center for Innovation and Business Promotion

本学の産学官連携及び知的財産に係る基本方針に基づき、国内外の産業界や産学官連携に係る関係機関と連携し、本学の研究成果の活用により産業等の発展に資するとともに、社会から得られる新たな知見を本学の研究の推進につなげる。道内他大学等との連携による融合研究や、地域の産学官連携プロジェクトへの参画を通じ、地域イノベーションの創出に貢献する。

部門等	担当
TLO部門	本学の産学官連携及び知的財産に関する総合窓口で、地域産業支援のワンストップ窓口である。技術移転室は、技術移転事業や成果有体物の取扱いのほか、道内他大学等との相互の連携協力、道外大学・TLO(技術移転機関)等との連携を推進する。連携推進担当は、産学官連携関係機関との連携、地域産業支援、大学発ベンチャー支援、事業化プロジェクトの形成等を行い、包括連携担当は包括連携を企画・推進する。
知的財産部門	全学の知的財産を一元的に管理する部門として、知的財産の専門人材による、知的財産の審査・維持・管理等のほか、人材育成等を担当する。
国際戦略ユニット	文部科学省補助金、産学官連携自立化促進プログラム(平成20~24年度)により設置。国際的な産学連携活動を推進する。海外企業への技術移転活動や広報・啓発活動の推進、国際的な知的財産・契約法務の確立を行う。

創成研究機構 Creative Research Institution (CRIS)

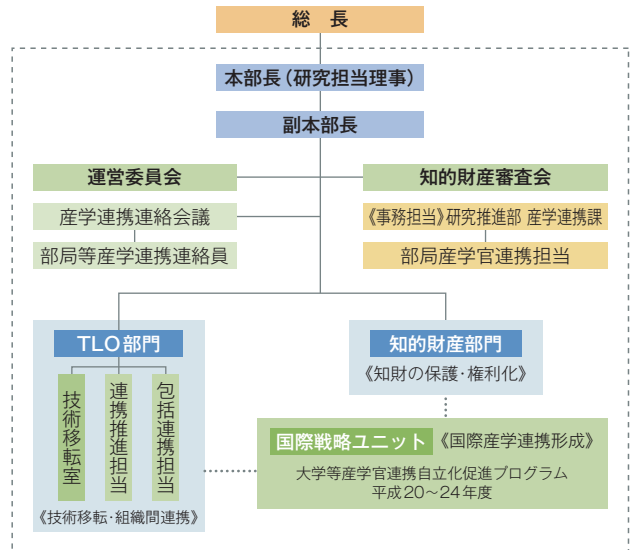
本学の研究戦略に基づく重点的な研究事業の推進及び支援を行うとともに、先端的な科学技術の振興に寄与する人材を育成することにより、新たな学問領域の創成及び先端的な科学技術の振興を図る。

部門等	担当
研究部	本学の研究戦略に基づく新規重点研究テーマの創出、若手人材の育成、基礎レベルにある産学連携研究テーマの支援を行う。
共用機器管理センター	本学の職員、学生その他の関係者が共同して利用する研究機器を整備、管理及び運用し、試料の分析に関する業務を行うとともに、本学が保有する研究機器の本学の職員、学生その他の関係者ならびに本学以外の科学技術に関する研究者及び技術者への供用を促進する。
研究支援室	本学の研究戦略に基づく新規重点研究テーマ創出のための研究連携、新たな研究資金獲得に向けたプロジェクト企画、資金提供団体やその他の協力機関との調整等の支援を行う。
未来創業・医療イノベーション推進室	未来創業・医療イノベーション拠点形成プロジェクト推進のために、研究者と企業、関係省庁との間で行われる業務等の支援・推進全般を担う。
生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター	産学官連携によるプロジェクト型共同研究を推進し、創業・機能的食品の開発拠点を目指す北キャンパス総合研究棟6号館(生物機能分子研究開発プラットフォーム)の管理・運営を行う。
グリーン・イノベーション研究推進センター	環境エネルギー分野におけるイノベーションの創出を図るための研究を推進し、産学官による環境エネルギー技術に係る研究開発の支援を行う。

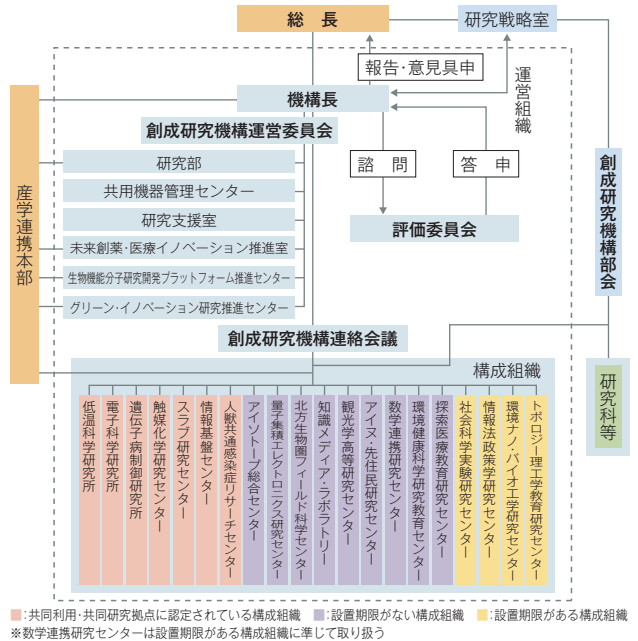
民間企業・研究機関等との連携協定(平成24年4月1日現在)16協定

相手方	協定締結年月日
株式会社日立製作所	平成15年 4月 1日
富士電機株式会社	平成16年 7月 1日
株式会社日本政策投資銀行	平成16年 7月22日
独立行政法人物質・材料研究機構(NIMS)	平成16年12月 7日
独立行政法人産業技術総合研究所	平成17年 2月10日
株式会社電通北海道	平成17年 2月23日
独立行政法人国際協力機構(JICA)	平成17年 4月12日
株式会社北洋銀行	平成17年 6月24日
帝人株式会社	平成18年 1月26日
独立行政法人科学技術振興機構(JST)	平成20年10月16日
独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)	平成20年10月31日
日本電信電話株式会社・東日本電信電話株式会社(NTT・NTT東日本)	平成20年12月 9日
公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)	平成21年 6月 2日
函館工業高等専門学校・苫小牧工業高等専門学校・釧路工業高等専門学校・旭川工業高等専門学校	平成21年12月15日
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構(KEK)	平成22年 7月 1日
地方独立行政法人北海道立総合研究機構	平成23年 3月29日

産学連携本部組織



創成研究機構組織



■:共同利用・共同研究拠点に認定されている構成組織 ■:設置期限がない構成組織 ■:設置期限がある構成組織
※数学連携研究センターは設置期限がある構成組織に準じて取り扱う

北海道地域における大学等の知的財産の技術移転に関する協定 (平成24年4月1日現在) 4協定

相手方	協定締結年月日
北見工業大学	平成21年 6月4日
酪農学園大学	平成21年 6月4日
室蘭工業大学	平成21年10月5日
公立はこだて未来大学	平成24年 2月1日

地域連携協定 (平成24年4月1日現在)

相手方	協定締結年月日
北海道・札幌市・北海道経済連合会・北海道経済産業局	平成16年7月30日

JICA (国際協力機構) 研修員受入れ

[課題別研修]

コース名	期 間	受入れ人数
南東欧地域 都市上下水道事業管理	平成23年 6月21日～平成23年 7月30日	6名
人獣共通感染症対策	平成23年 8月15日～平成23年 9月15日	11名
持続可能な沿岸漁業 (B)	平成23年10月11日～平成23年12月 3日	6名
仏語圏アフリカ 母子保健 (B)	平成23年10月13日～平成23年11月19日	12名

[長期研修]

コース名	期 間	受入れ人数
アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト	1年～2年	5名
道路研究訓練施設の設立支援に関する人材育成	1年～2年	1名
科学技術協力	1年～2年	4名
中国耐震建築人材育成プロジェクト	1年～2年	1名
高等教育改善のための長期研修	1年～2年	4名

[国別研修]

コース名	期 間	受入れ人数
アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト	1ヶ月～6ヶ月	6名

[円借款事業による研修]

コース名	期 間	受入れ人数
中国人材育成事業個別研修	1ヶ月～6ヶ月	1名

JICA (国際協力機構) 教職員等の専門家及び調査団員としての派遣

コース名	期 間	派遣人数
専門家派遣	数日～1年	2名
調査団派遣	数日～1ヶ月	23名

大学発ベンチャー (平成23年3月31日現在)

○37社

法人保有特許 (平成24年4月1日現在)

■特許

部局名	保有件数	
	国 内	海 外
医学研究科	8 (1)	6 (3)
工学研究院	48 (39)	16 (14)
情報科学研究科	46 (23)	34 (26)
水産科学研究院	8 (8)	0 (0)
地球環境科学研究院	15 (6)	5 (0)
理学研究院	1 (0)	2 (1)
薬学研究院	0 (0)	3 (2)
農学研究院	5 (3)	3 (3)
先端生命科学研究院	9 (4)	12 (3)
電子科学研究所	19 (5)	7 (3)
遺伝子病制御研究所	4 (0)	1 (0)
触媒化学研究センター	10 (5)	4 (4)
量子集積エレクトロニクス研究センター	2 (2)	1 (1)
環境ナノ・バイオ工学研究センター	1 (1)	0 (0)
創成研究機構	3 (2)	0 (0)
低温科学研究所	0 (0)	7 (7)
アイソトープ総合センター	2 (2)	2 (2)
北方生物圏フィールド科学センター	2 (2)	0 (0)
該当部局無し	51 (23)	23 (20)
計	234 (126)	126 (89)

() 数字は共同出願件数で内数

■品種登録

部局名	保有件数
農学研究院	4

国名等	保有件数
中華人民共和国	14 (11)
大韓民国	7 (6)
台湾	1 (1)
シンガポール共和国	1 (0)
オーストラリア連邦	2 (2)
ニュージーランド	1 (1)
フランス共和国	6 (3)
ドイツ連邦共和国	7 (5)
スウェーデン王国	1 (1)
フィンランド共和国	1 (1)
英国	8 (5)
デンマーク王国	1 (1)
オランダ王国	1 (1)
ベルギー王国	1 (1)
スイス連邦	1 (1)
ヨーロッパ特許庁	10 (7)
アメリカ合衆国	59 (38)
カナダ	1 (1)
ロシア連邦	1 (1)
南アフリカ共和国	2 (2)
計	126 (89)

() 数字は共同出願件数で内数

■地域産学官連携科学技術振興事業費補助金(旧名称:「科学技術振興調整費」)

年度	構想名	代表者
平成18～27年度	先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム—未来創薬・医療イノベーション拠点形成—	総長 佐伯 浩

■科学技術人材育成費補助金(旧名称:「科学技術振興調整費」)

年度	構想名	代表者
平成21～25年度	ポストドクター・キャリア開発事業(イノベーション創出若手研究人材養成) —北大バイオニア人材協働育成システムの構築—	総長 佐伯 浩
平成21～25年度	女性研究者養成システム改革加速事業—輝け、女性研究者!根を張れ、花咲け、実を結べ@北大—	総長 佐伯 浩
平成23～27年度	テニュアトラック普及・定着事業	総長 佐伯 浩

■科学技術戦略推進費補助金(旧名称:「科学技術振興調整費」)

年度	構想名	代表者
平成21～25年度	地域再生人材創出拠点の形成—新水産・海洋都市はこだてを支える人材養成—	総長 佐伯 浩
平成21～25年度	戦略的環境リーダー育成拠点形成—持続社会構築環境リーダー・マイスター育成—	総長 佐伯 浩
平成22～26年度	気候変動に対応した新たな社会の創出に向けた社会システムの改革プログラム —気候変動に伴う極端気象に強い都市創り—	総長 佐伯 浩
平成23～25年度	地域社会における危機管理システム改革プログラム(各種感染症への対応) —鳥インフルエンザ防疫システムの構築—	総長 佐伯 浩

■博士課程教育リーディングプログラム(大学改革推進等補助金)

年度	類型	プログラム名	プログラムコーディネーター
平成23～29年度	オンリーワン型	One Healthに貢献する獣医学グローバルリーダー育成プログラム	獣医学研究科 教授 堀内 基広

■研究拠点形成費等補助金(グローバルCOEプログラム)

年度	分野	拠点プログラム名	拠点リーダー
平成20～24年度	医学系	人獣共通感染症国際共同教育研究拠点の創成	獣医学研究科 特任教授 喜田 宏
	社会科学	多元分散型統御を目指す新世代法政策学	法学研究科 教授 田村 善之
	学際・複合・新領域	統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成	環境科学院 教授 山中 康裕
平成21～25年度	学際・複合・新領域	境界研究の拠点形成	スラブ研究センター 教授 岩下 明裕

■研究開発施設共用等促進費補助金(橋渡し研究加速ネットワークプログラム)

[複数の大学が連携して行う事業]

年度	類型	プログラム名	代表者
平成24～28年度	札幌医科大学、北海道大学、旭川医科大学	オール北海道先進医学・医療拠点形成	総長 佐伯 浩

■先端研究助成基金助成金(最先端研究開発支援プログラム)

年度	研究課題名	中心研究者
平成21～25年度	持続的発展を見据えた「分子追跡放射線治療装置」の開発	医学研究科 教授 白土 博樹

■先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)

年度	研究課題名	中心研究者
平成22～25年度	エネルギー固定型メカノ反応の開発と余剰動力の直接化学的燃料化	工学研究院 教授 伊藤 肇
平成22～25年度	植物におけるミネラル輸送体の蓄積/偏在メカニズムの解明と利用による作物生産性の向上	農学研究院 助教 高野 順平
平成22～25年度	多段階的な細胞内・核内動態精密制御機能を搭載した多重コーティング型ナノ粒子の創製	薬学研究院 准教授 秋田 英万
平成22～25年度	キラリティー磁気共鳴分子イメージング	情報科学研究科 教授 平田 拓
平成22～25年度	正常上皮細胞と癌細胞の相互作用 —新規な癌治療法の開発を目指して—	遺伝子病制御研究所 教授 藤田 恭之
平成22～25年度	聴覚中枢神経マイクロ・インプラントにおけるシステム・インテグレーションの基盤形成	情報科学研究科 教授 舘野 高
平成22～25年度	力覚触覚提示装置を用いた脳外科手術シミュレータの開発	情報科学研究科 教授 近野 敦

■先端研究施設共用促進事業

年度	事業名	機関代表者
平成19～24年度	安定同位元素イメージング技術による産業イノベーション	総長 佐伯 浩
平成22～24年度	電子スピンイメージング技術による産業イノベーション	総長 佐伯 浩

■イノベーションシステム整備事業(大学等産学官連携自立化促進プログラム「機能強化支援型」)

(旧名称:「産学官連携戦略展開事業」(戦略展開プログラム))

年度	区分	業務主任者
平成20～24年度	大学等産学官連携自立化促進プログラム(機能強化支援型) 「国際的な産学官連携活動の推進」	産学連携本部長 上田 一郎

■大学病院人材養成機能強化事業

[複数の大学が連携して行う事業]

年度	連携大学	プログラム名	実施担当者
平成20～24年度	北海道大学、旭川医科大学、札幌医科大学、 東京慈恵会医科大学、弘前大学との連携(代表:北 海道大学病院)	自立した専門医を育むオール北海道プラス1	医学研究科 教授・病院長補佐 筒井 裕之

■がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

[複数の大学が連携して行う事業]

年度	連携大学	プログラム名	実施担当者
平成24～28年度	札幌医科大学、北海道大学、旭川医科大学、北海 道医療大学との連携(分担:医学研究科)	北海道がん医療を担う医療人養成プログラム	医学研究科 教授 白土 博樹

■国連大学との共同事業

年度	事業名	代表者
平成21～24年度	ESD大学評価事業(Alternative University Appraisal プロジェクト)	国際本部長(理事・副学長) 本堂 武夫

■UNESCOとの共同事業

年度	事業名	代表者
平成22～23年度	Comprehensive program to enhance technology, engineering and science education project (COMPETENCE) UNESCO course on sustainability science	サステイナビリティ学教育研究センター センター長 南川 雅男

■地球規模課題対応国際科学技術協力事業

年度	事業名	研究代表者
平成20～24年度	インドネシアの泥炭に於ける火災と炭素管理	サステイナビリティ学教育研究センター 副センター長・農学研究院教授 大崎 満
平成20～24年度	結核及びトリパノソーマ病の新規診断方法・治療法の開発	人獣共通感染症リサーチセンター 教授 鈴木 定彦
平成21～25年度	アフリカ・サヘル地域の持続的な水・衛生システム開発	工学研究院 教授 船水 尚行
平成24～28年度	アフリカにおけるウイルス性人獣共通感染症の調査研究	人獣共通感染症リサーチセンター 教授 高田 礼人

■共同利用・共同研究拠点 7拠点

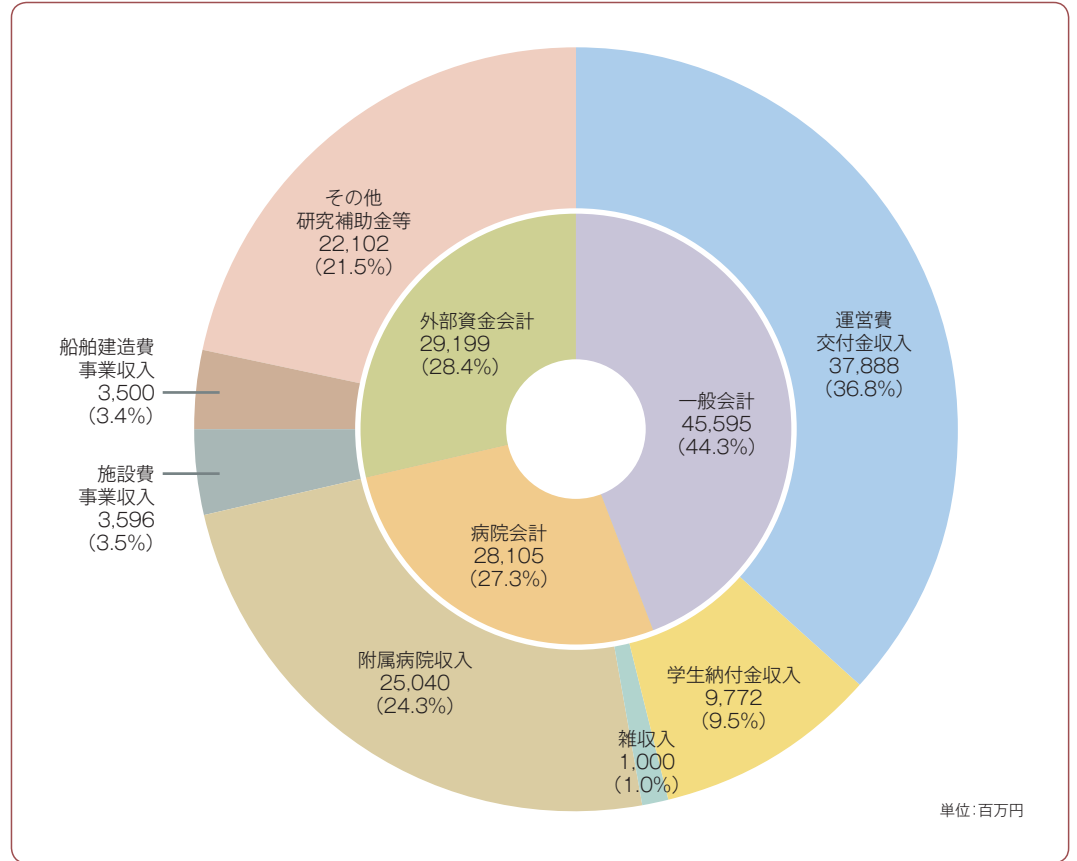
年度	研究施設名	研究分野	共同利用・共同研究拠点名	備考
平成22～27年度	低温科学研究所	低温科学	低温科学共同研究拠点	単独型
平成22～27年度	遺伝子病制御研究所	基礎医学	細菌やウイルスの持続性感染により発生する 感染症の先端的共同研究拠点	単独型
平成22～27年度	触媒化学研究センター	触媒化学、 サステナブル触媒工学	触媒化学共同研究拠点	単独型
平成22～27年度	スラブ研究センター	地域研究	スラブ・ユーラシア地域研究にかかわる拠点	単独型
平成22～27年度	人獣共通感染症リサーチ センター	人獣共通感染症学	人獣共通感染症共同研究拠点	単独型
平成22～27年度	電子科学研究所	物質・デバイス科学	物質・デバイス領域共同研究拠点	ネットワーク型 (中核機関:大阪大学産業科学研究所)
平成22～27年度	情報基盤センター	計算科学、計算機科学	学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点	ネットワーク型 (中核機関:東京大学情報基盤センター)

■教育関係共同利用拠点 1拠点

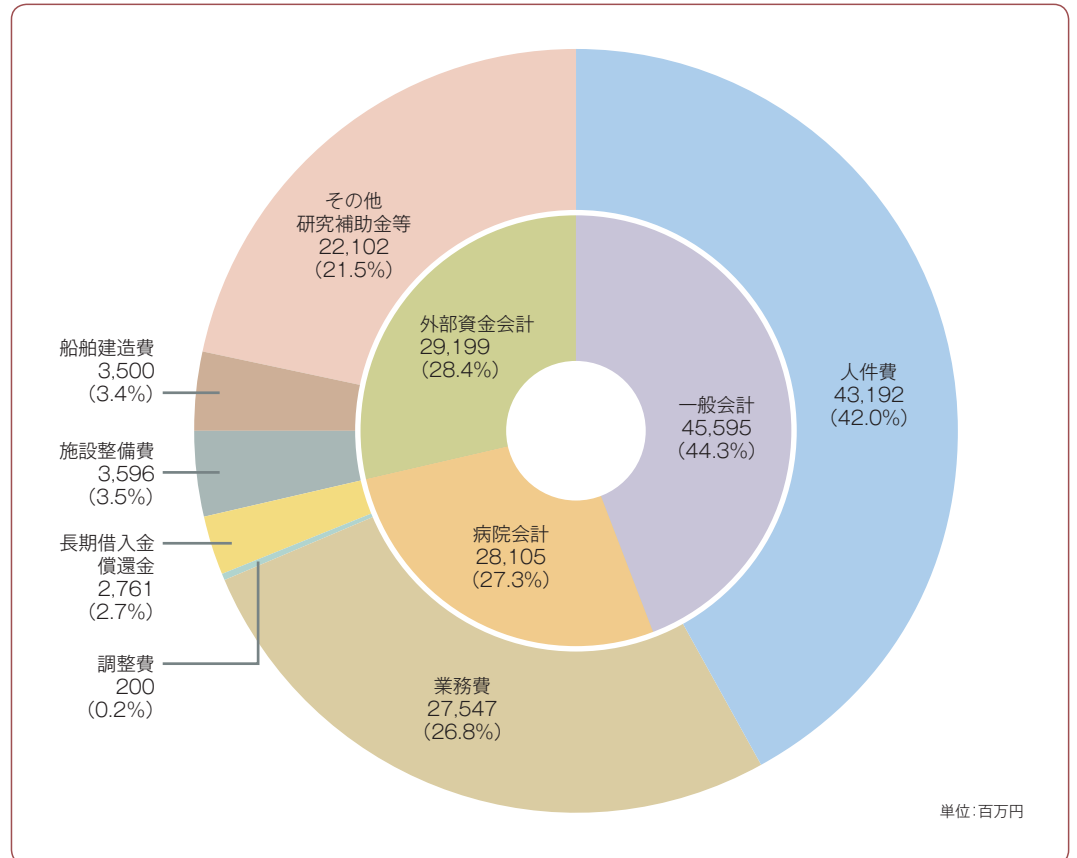
年度	施設名	教育関係共同利用拠点名	拠点類型
平成23～27年度	水産学部附属練習船おしよる丸	亜寒帯海域における洋上教育のための共同利用拠点	練習船

平成24年度 収入・支出予算

収入予算 102,899百万円



支出予算 102,899百万円



※収入予算及び支出予算については、内円の会計区分と外円の事項は一致しない。
※項目ごとに四捨五入を行っているため、合計は一致しない。

科学研究費補助金等

■科学研究費補助金 (平成23年度)

研究種目	件数(件)	交付金額(千円)		
		直接経費	間接経費	合計
特別推進研究	1	71,400	21,420	92,820
特定領域研究	18	101,300		101,300
新学術領域研究	79	680,300	204,075	884,375
基盤研究(S)	14	408,600	122,580	531,180
基盤研究(A)	86	780,232	233,092	1,013,324
基盤研究(B)	311	1,289,700	386,910	1,676,610
基盤研究(C)	301	257,080	77,076	334,156
挑戦的萌芽研究	52	49,200	14,760	63,960
若手研究(S)	3	37,500	11,250	48,750
若手研究(A)	39	221,800	66,540	288,340
若手研究(B)	176	162,888	48,866	211,754
研究活動スタート支援	45	49,073	14,722	63,795
奨励研究	7	3,700		3,700
研究成果公開促進費(学術図書)	2	1,900		1,900
研究成果公開促進費(データベース)	1	5,700		5,700
特別研究員奨励費	277	195,808		195,808
合計	1,412	4,316,181	1,201,291	5,517,472

■学術研究助成基金助成金 (平成23年度)

研究種目	件数(件)	交付金額(千円)		
		直接経費	間接経費	合計
基盤研究(C)	187	322,861	96,858	419,719
挑戦的萌芽研究	139	227,600	68,280	295,880
若手研究(B)	155	255,371	76,611	331,982
合計	481	805,832	241,749	1,047,581

■厚生労働科学研究費補助金 (平成23年度)

研究事業	件数(件)	交付金額(千円)		
		直接経費	間接経費	合計
創業基盤推進研究事業	1	20,000	6,000	26,000
政策創業総合研究事業	1	22,000		22,000
治験推進研究事業	3	4,700		4,700
障害者対策総合研究事業	1	11,847	3,553	15,400
がん臨床研究事業	3	19,655	4,238	23,893
免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業	3	43,311	3,650	46,961
難治性疾患克服研究事業	2	51,154	15,346	66,500
新型インフルエンザ等 新興・再興感染症研究事業	1	22,393	6,717	29,110
地域医療基盤開発推進研究事業	1	2,700		2,700
食品の安全確保推進研究事業	1	47,200	14,160	61,360
化学物質リスク研究事業	1	60,000	18,000	78,000
健康安全・危機管理対策総合研究事業	1	43,810	2,190	46,000
慢性の痛み対策研究事業	1	10,000	3,000	13,000
合計	20	358,770	76,854	435,624

■若手研究者の採用 (平成23年度)

区分	資格	採用数(人)		
非常勤研究員	PD	31		
特別研究員 (日本学術振興会)	DC1	33	105	122
	DC2	53		
	PD	17		
	RPD	2		
外国人特別研究員 (日本学術振興会)	PD	17		
合計		153		

■外部資金受入 (平成23年度)

区分	件数(件)	受入金額(千円)
共同研究	514	1,188,843
受託研究	460	4,448,472
その他補助金等(競争的資金分)	50	4,192,150
その他受託事業等収入	-	907,542
寄附金収入	6,007	2,490,367
合計		13,227,374

(注) 共同研究、受託研究は競争的資金を含む。
 (注) その他補助金等(競争的資金分)の内訳
 最先端研究開発支援プログラム、最先端・次世代研究開発支援プログラム、
 先導的産業技術創出事業、環境研究総合推進費、旧科学技術振興調整費、
 研究拠点形成費等補助金
 (注) その他受託事業等収入の内訳
 医薬品等の臨床研究、病的材料検査料金等を含む。

土地・建物・船舶

平成24年3月31日現在

区分	土地 (m ²)	建物 (延面積 m ²)
事務局	309,905	34,940
附属図書館	15,397	23,077
文学部		
教育学部	25,746	36,624
法学部		
経済学部		
文学部二風谷研究室	15,087	303
文学部斜里研究室	661	126
理学部	44,327	68,084
理学院		
浦河地震観測所	974	202
えりも地殻変動観測所	(えりも町等から借入)	251
札幌地震観測所	(私有地借入)	234
南新川地震観測井施設	392	28
地震予知観測点、坑道	(根釧西部森林管理署等から借入)	453
井戸、検潮所		
有珠火山観測所	3,598	505
松前大島地震観測施設	50	
苫小牧宇宙観測施設	苫小牧研究林敷地共用	105
医学部	大学病院敷地共用	47,852
保健科学院		10,220
歯学部	151,333	22,890
大学院(歯学)		92,180
(医学)		
薬学部	20,014	10,675
工学部	131,831	120,432
農学部	51,458	42,578
獣医学部		13,045
動物病院	40,859	2,801
水産学部	88,785	31,160
水産学部七重浜	7,431	294
水産学部洞爺湖	102,494	
国際広報メディア・観光学院	1,187	2,500
環境科学院	17,159	17,408
低温科学研究所	31,781	10,901
母子里融雪観測室	雨龍研究林敷地共用	107
電子科学研究所	4,550	5,419
遺伝子病制御研究所	大学病院敷地共用	5,725
情報基盤センター	7,810	6,463
アイソトープ総合センター	大学病院敷地共用	2,756
国際本部	工学部敷地共用	3,296
高等教育推進機構	35,828	24,605
北方生物圏フィールド科学センター	42,538	7,009
天塩研究林	223,503,835	1,892
中川研究林	180,664,143	3,121
雨龍研究林	214,869,020	2,046
苫小牧研究林	27,146,245	4,487
檜山研究林	1,014,132	569
和歌山研究林	4,291,291	977
名寄林木育種試験地	178,435	1,677
豊平試験地	939,838	37
忍路試験地	13,662	
生物生産研究農場	509,173	3,855

区分	土地 (m ²)	建物 (延面積 m ²)
余市果樹園	57,939	723
植物園	133,328	5,145
静内研究牧場	4,633,846	5,999
洞爺臨湖実験所	15,087	717
白尻水産実験所	4,609	1,414
七飯淡水実験所	10,915	444
忍路臨海実験所	1,416	428
厚岸臨海実験所	397,181	2,744
室蘭臨海実験所	57,945	1,384
創成研究機構	36,538	38,113
人獣共通感染症リサーチセンター	10,350	3,126
保健センター	福利厚生施設敷地共用	1,061
情報教育館(放送大学を含む)	高等教育推進機構敷地共用	4,029
体育施設	177,959	16,290
新馬術部	19,830	474
小樽ヨット艇庫	7,629	848
茨戸艇庫	4,365	140
奥手稲山の家		119
ヘルペチャヒュッテ	(石狩森林管理署から借入)	27
空沼小屋		102
無意根小屋		88
パラダイスヒュッテ	(私有地等から借入)	154
クラーク会館	9,610	5,772
福利厚生施設(3箇所)	10,660	6,247
大滝セミナーハウス	23,966	2,380
外国人研究者等宿泊施設	6,723	2,569
新外国人研究者等宿泊施設	2,940	3,475
インターナショナルハウス北8条	14,177	6,009
インターナショナルハウス北23条	1,861	2,285
寄宿舍(恵迪寮)	18,113	11,199
女子寮(霜星寮)	1,345	1,643
寄宿舍(北農寮)・ ゲストハウスおしよろ	7,987	3,188
ファミリーハウス	大学病院敷地共用	529
納骨堂	160	23
旧流水研究施設	2,424	670
宿舍		
札幌キャンパス	19,743	10,999
札幌市内(キャンパス外)	37,648	23,959
函館市内	3,768	3,181
その他の地方	41,591	3,611
看護師宿舎	6,457	4,463
計		
札幌市内(札幌キャンパス)	1,776,249	732,003
札幌市内(その他)	1,112,319	31,531
函館市内	105,149	38,943
その他の地方施設	657,065,362	37,203
総計	660,059,079	839,680

船舶 (主要なもの)	おしよろ丸 1,396トン うしお丸 179トン
---------------	-----------------------------

サステイナブルキャンパス推進本部

現在、国際的にも重要性が増している「サステナビリティ」という考え方。

これは社会全般において、環境・社会・経済の要素が相互に良好な関連をもちながら機能している状態を指す。

北海道大学の環境研究は、日本における先駆けであり、サステナビリティ（持続可能性）に関連した研究活動や取り組みも数多くの実績がある。

環境に対して大学が果たさなければならない責任はますます増大している。平成23年度に策定した、「サステイナブルキャンパス構築のためのアクションプラン2012」に基づき、今後も環境活動に関する参加型プログラムの立案、サステイナブルキャンパスに関する評価、国内外の大学との連携強化、エネルギー消費の詳細なモニタリング、3Rの推進・徹底、大学が保有する資源の有効活用などを図り、自らの環境負荷を極限まで削減し、最終的には自然・再生可能エネルギー等の活用によって、ゼロエミッションの達成と、「持続可能な社会づくり」におけるリーディングユニバーシティとなることを目指す。



附属図書館メディアコートにLED照明を設置（平成24年3月 竣工）

部門等	担当
キャンパスアセスメント部門	サステイナブルキャンパスを実現するための計画立案・サステナビリティ・アセスメントの実施 参加型プログラムの企画立案・国内外のネットワーク構築
環境負荷低減対策推進部門	環境負荷低減に関する実行計画の立案・省エネルギー対策の推進 知的資産のキャンパス環境への適用
環境保全センター	ごみ、再利用等可能な資源の分別・回収システムの構築 学内廃棄物の情報集約、統一的管理



「サステイナブルキャンパス国際シンポジウム2011」の講演者の方々

安全衛生本部 （平成23年3月1日設置）

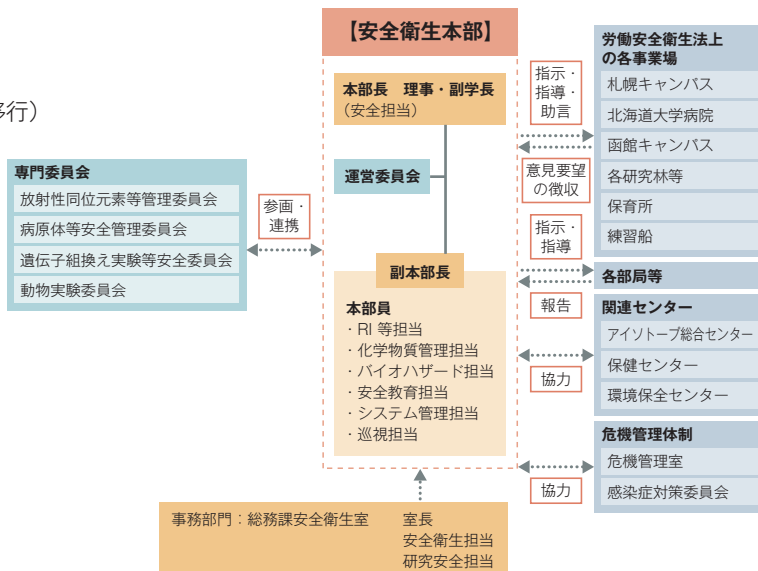
北海道大学では、労働安全衛生法に基づき各事業場（札幌キャンパス、北海道大学病院、函館キャンパス等）ごとに安全衛生管理体制を構築している。総合大学の性格上、安全衛生の問題は職員にとどまらず学生、患者、来学者などを視野に入れるとともに、多様な研究活動に伴う安全の問題を含むなど、特有かつ多岐にわたる内容が包含される。安全衛生本部では、これらを統括し、全学的視点から安全・衛生に関する企画・立案・監督等を行っている。

各種取組み

- (1) 安全衛生に関する取組や課題の把握
- (2) 安全衛生に関する施策等の企画・立案
- (3) 安全衛生に関する監督・指導・助言
- (4) 化学物質管理の統括（環境保全センターの業務を移行）



安全衛生本部による巡視

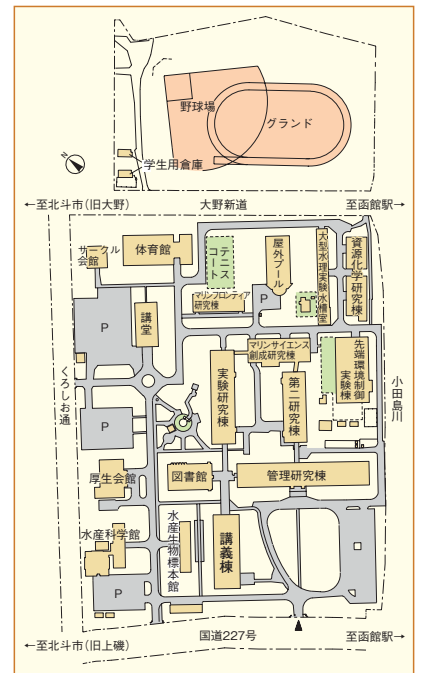


札幌キャンパス・函館キャンパス

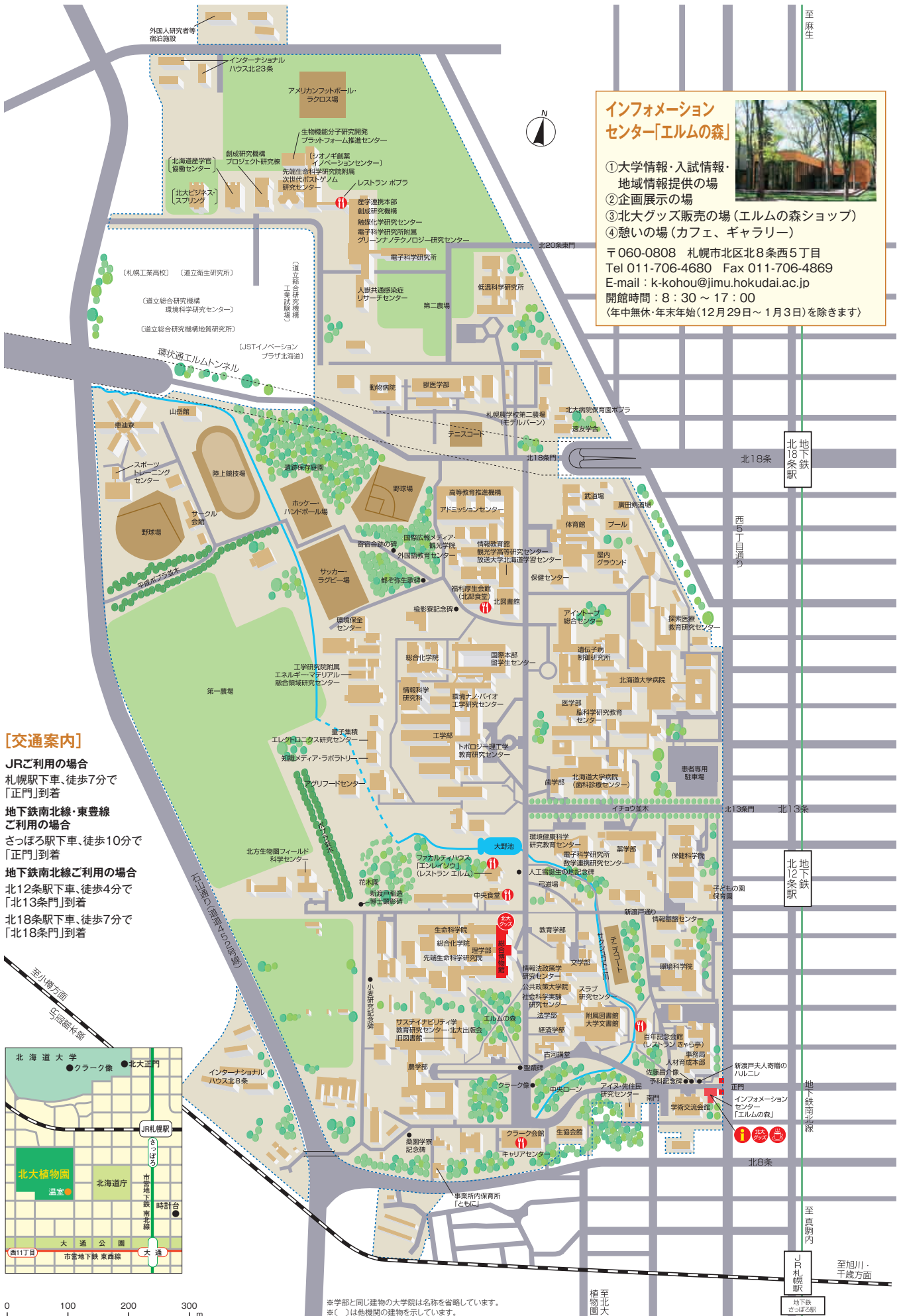
札幌キャンパス



函館キャンパス



札幌キャンパス施設配置図



インフォメーションセンター「エルムの森」

①大学情報・入試情報・地域情報提供の場
 ②企画展示の場
 ③北大グッズ販売の場(エルムの森ショップ)
 ④憩いの場(カフェ、ギャラリー)

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
 Tel 011-706-4680 Fax 011-706-4869
 E-mail : k-kohou@jimui.hokudai.ac.jp
 開館時間：8：30～17：00
 (年中無休・年末年始(12月29日～1月3日)を除きます)

【交通案内】

- JRご利用の場合**
 札幌駅下車、徒歩7分で「正門」到着
- 地下鉄南北線・東豊線ご利用の場合**
 さっぽろ駅下車、徒歩10分で「正門」到着
- 地下鉄南北線ご利用の場合**
 北12条駅下車、徒歩4分で「北13条門」到着
 北18条駅下車、徒歩7分で「北18条門」到着

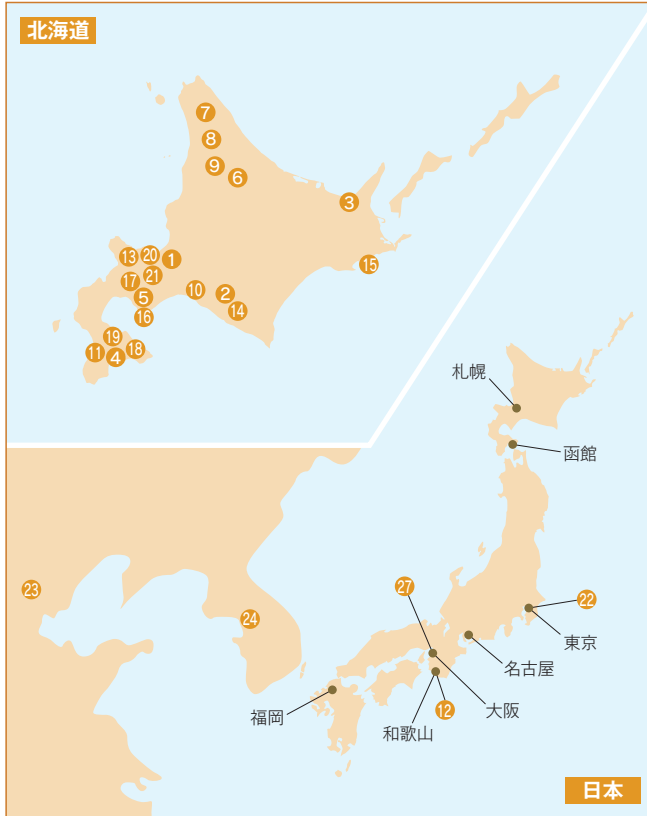


※学部と同じ建物の大学院は名称を省略しています。
 ※()は他機関の建物を示しています。

沿革
 組織
 学生
 国際交流
 寄附講座・公開講座等の実施状況
 全学的な教育研究体制
 財政
 キャンパス

施設所在地一覧

平成24年4月1日現在



学外オフィス

⑫ 東京オフィス

- ・教職員の活動拠点
- ・大学情報・入試情報提供の場
- ・学生の就職活動支援拠点（各種セミナー実施会場）
- ・同窓生の交流の場

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7の12 サビアタワー10階
Tel・Fax 03-3211-2055 E-mail: tokyo@general.hokudai.ac.jp
開館時間：平日10:00～18:00。土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休館。

⑬ 北京オフィス（p.38 参照）

- ・中国の諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

中国北京市海淀区中関村北大街151号北大資源大厦806号
（北京大学キャンパスの南東角付近）
Tel+86-10-5887-6455 Fax+86-10-5887-6456
E-mail: beijing_office@hokudai.cn URL: http://www.hokudai.cn/
開館時間：平日10:00～17:00。土・日曜日、中国における祝日は休館。

⑭ ソウルオフィス（p.38 参照）

- ・韓国の諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

大韓民国ソウル特別市江南区三洞649-4 韓徳ビル703号室
Tel+82-2-501-9400 Fax+82-2-501-9410
Email seouloffice@hokudai.kr
URL: http://www.hokudai.kr/
開館時間：平日9:00～17:00。土・日曜日、韓国における祝日は休館。

⑮ ヘルシンキオフィス（p.38 参照）

- ・欧州の諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

フィンランド共和国ヘルシンキ市 Fabianinkatu 26（ヘルシンキ大学内）
Tel +358-44-757-5135
開館時間：平日9:00～11:00、13:00～16:30。土・日曜日、フィンランドにおける祝日は休館。

⑯ ルサカオフィス（p.38 参照）

- ・ザンビア及びその周辺諸国の諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

ザンビア共和国ルサカ市 Great East Road P.O.Box 32379（ザンビア大学内）
Tel +260-211-292627
開館時間：平日9:00～12:00、13:00～16:30。土・日曜日、ザンビアにおける祝日は休館。

⑰ 北大会場

- ・北大関西同窓会の協力により、大学情報・入試情報などの広報誌を配布。

〒530-0001 大阪府北区梅田1丁目2-200 大阪駅前第2ビル2階
Tel・Fax 06-6343-3736
年末年始、お盆は休館。臨時休館日あり。



略号 番号	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
	教育研究支援本部	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	情報環境推進本部（情報推進課）	〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目	
	産学連携本部	〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目	
	アドミッションセンター	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	人材育成本部	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	創成研究機構	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
	国際本部（国際連携課、国際支援課、留学生センター）	〒060-0815	札幌市北区北15条西8丁目	
	高等教育推進機構	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	サステイナブルキャンパス推進本部	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	安全衛生本部	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	事務局（総務企画部、財務部、研究推進部研究振興企画課、施設部）	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	事務局（学務部教務課・学生支援課・入試課）	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	事務局（学務部キャリアセンター）	〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目	
	事務局（研究推進部産学連携課）	〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目	
	事務局（研究推進部外部資金戦略課）	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
	監査室	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	附属図書館	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	附属図書館北図書館	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	文学研究科・文学部	〒060-0810	札幌市北区北10条西7丁目	
	法学研究科・法学部	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	法学研究科附属高等法政教育研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
①	経済学研究科・経済学部	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	医学研究科・医学部（医学科）	〒060-8638	札幌市北区北15条西7丁目	
	医学研究科附属動物実験施設	〒060-8638	札幌市北区北15条西7丁目	
	保健科学院・保健科学研究所・医学部（保健学科）	〒060-0812	札幌市北区北12条西5丁目	
	歯学研究科・歯学部	〒060-8586	札幌市北区北13条西7丁目	
	獣医学研究科・獣医学部	〒060-0818	札幌市北区北18条西9丁目	
	獣医学研究科附属動物病院	〒060-0818	札幌市北区北18条西9丁目	
	情報科学研究科	〒060-0814	札幌市北区北14条西9丁目	
	環境科学院・地球環境科学研究所	〒060-0810	札幌市北区北10条西5丁目	
	理学院・理学研究院・理学部	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	理学研究院附属地震火山研究観測センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	理学研究院附属ゲノムダイナミクス研究センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	理学研究院附属原子核反応データベース研究開発センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	薬学研究院・薬学部	〒060-0812	札幌市北区北12条西6丁目	
	薬学部附属薬用植物園	〒060-0812	札幌市北区北12条西6丁目	
	農学院・農学研究院・農学部	〒060-8589	札幌市北区北9条西9丁目	
	生命科学学院	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	先端生命科学研究所	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	先端生命科学研究所附属次世代ポストゲノム研究センター	〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目	
	教育学院・教育学研究院・教育学部	〒060-0811	札幌市北区北11条西7丁目	
	教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター	〒060-0811	札幌市北区北11条西7丁目	
	国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	工学院・工学研究院・工学部	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	

(011) 716-2111（代表）
別途、ダイヤルイン化
【(011) 706-内線番号】

略図番号	施設名	郵便番号	所在地	電話番号	
	工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	(011) 716-2111 (代表) 別途、ダイヤルイン化 【(011) 706-内線番号】	
	総合化学院	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目		
	公共政策学教育部・公共政策学連携研究部	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目		
	公共政策学連携研究部附属公共政策学研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目		
	北海道大学病院	〒060-8648	札幌市北区北14条西5丁目	(011) 716-1161 (代表) 別途、ダイヤルイン化 【(011) 706-内線番号】	
	低温科学研究所	〒060-0819	札幌市北区北19条西8丁目	(011) 716-2111 (代表) 別途、ダイヤルイン化 【(011) 706-内線番号】	
	低温科学研究所附属環才ホーク観測研究センター	〒060-0819	札幌市北区北19条西8丁目		
	電子科学研究所	〒001-0020	札幌市北区北20条西10丁目		
	電子科学研究所附属グリーンナノテクノロジー研究センター	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目		
	遺伝子病制御研究所	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目		
	遺伝子病制御研究所附属動物実験施設	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目		
	遺伝子病制御研究所附属感染疫学研究センター	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目		
	触媒化学研究センター	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目		
	スラブ研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目		
	情報基盤センター	〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目		
	アイソトープ総合センター	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目		
	総合博物館	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目		
	量子集積エレクトロニクス研究センター	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目		
	北方生物圏フィールド科学センター	〒060-0811	札幌市北区北11条西10丁目		
	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション南管理部札幌研究林	〒060-0809	札幌市北区北9条西9丁目		
	北方生物圏フィールド科学センター耕地園ステーション生物生産研究農場	〒060-0811	札幌市北区北11条西10丁目		
	北方生物圏フィールド科学センター耕地園ステーション植物園	〒060-0003	札幌市中央区北3条西8丁目	(011) 221-0066	
	知識メディア・ラボラトリー	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	(011) 716-2111 (代表) 別途、ダイヤルイン化 【(011) 706-内線番号】	
	脳科学研究教育センター	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目		
	人獣共通感染症リサーチセンター	〒001-0020	札幌市北区北20条西10丁目		
	大学図書館	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目		
	観光学高等研究センター	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目		
	外国語教育センター	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目		
	アイヌ・先住民研究センター	〒060-0808	札幌市北区北8条西6丁目		
	社会科学実験研究センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西7丁目		
	情報法政策学研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目		
	環境ナノ・バイオ工学研究センター	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目		
	数学連携研究センター	〒060-0812	札幌市北区北12条西7丁目		
	サステイナビリティ学教育研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西8丁目		
	トポロジー理工学教育研究センター	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目		
	環境健康科学研究教育センター	〒060-0812	札幌市北区北12条西7丁目		
	探索医療教育研究センター	〒060-8638	札幌市北区北15条西6丁目		
	保健センター	〒060-0816	札幌市北区北16条西7丁目		(011) 706-4680 (011) 706-2989 (011) 706-2042 (予約受付) (011) 706-3211 (管理入室) (011) 747-3136 (011) 747-7849 (011) 758-7934 (011) 706-2042 (予約受付) (011) 706-2141 (管理入室) (011) 706-2042 (予約受付) (011) 706-2394 (管理入室)
	インフォメーションセンター「エルムの森」	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目		
	クラーク会館	〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目		
	百年記念会館	〒060-0809	札幌市北区北9条西6丁目		
	サークル会館	〒060-0817	札幌市北区北17条西12丁目		
	恵迪寮	〒060-0818	札幌市北区北18条西13丁目		
	霜星寮	〒001-0014	札幌市北区北14条西2丁目		
	学術交流会館	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目		
	ファカルティハウス「エンレイソウ」	〒060-0811	札幌市北区北11条西8丁目		
	外国人研究者等宿泊施設	〒001-0024	札幌市北区北24条西12丁目	(011) 707-3711	
	インターナショナルハウス北8条	〒060-0808	札幌市北区北8条西11丁目	(011) 736-6211	
	インターナショナルハウス北23条	〒001-0023	札幌市北区北23条西13丁目	(011) 700-3455	
	情報教育館	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	(011) 706-7500	
	遠友学舎	〒001-0018	札幌市北区北18条西7丁目	(011) 706-7455 (管理入室)	
	事業所内保育所「ともに」	〒060-0807	札幌市北区北7条西9丁目	(011) 706-2151	
	子どもの園保育園	〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目	(011) 706-4588	
	看護師宿舎	〒001-0016	札幌市北区北16条西6丁目	—	
	北大病院ファミリーハウス	〒001-0016	札幌市北区北16条西6丁目	(011) 706-7088	
②	文学研究科・文学部二風谷研究室	〒055-0101	沙流郡平取町字二風谷	(01457) 2-2789	
③	文学研究科・文学部斜里研究室	〒099-4113	斜里郡斜里町本町46の13	(01522) 3-0373	
④	水産科学院・水産科学研究院・水産学部	〒041-8611	函館市港町3の1の1	(0138) 40-5505 (庶務担当直通) 別途、ダイヤルイン化 【(0138) 40-内線番号】	
	北農寮・ゲストハウスおしよろ	〒041-0853	函館市中道1の9の1	(0138) 52-1160	
⑤	理学研究院附属地震火山研究観測センター有珠火山観測所	〒052-0106	有珠郡壮瞥町立香142	(0142) 66-4011	
⑥	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション北管理部	〒096-0071	名寄市字徳田250	(01654) 2-4264	
⑦	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション北管理部天塩研究林	〒098-2943	天塩郡幌延町字間寒別131	(01632) 6-5211	
⑧	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション北管理部中川研究林	〒098-2501	中川郡音威子府村字音威子府483	(01656) 5-3216	
⑨	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション北管理部雨龍研究林	〒074-0741	雨竜郡幌加内町字母子里	(0165) 38-2125	
⑩	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション南管理部苫小牧研究林	〒053-0035	苫小牧市宇高丘	(0144) 33-2171	
⑪	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション南管理部増山研究林	〒049-0611	増山郡上ノ国町字大留172-1	(0139) 55-2048	
⑫	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション南管理部和歌山研究林	〒649-4563	和歌山県東牟婁郡古座川町平井559	(0735) 77-0321	
⑬	北方生物圏フィールド科学センター耕地園ステーション生物生産研究農場余市果樹園	〒046-0012	余市郡余市町山田町	(0135) 22-3287	
⑭	北方生物圏フィールド科学センター耕地園ステーション静内研究牧場	〒056-0141	日高郡新ひだか町静内御園111	(0146) 46-2021	
⑮	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所	〒088-1113	厚岸郡厚岸町愛冠1	(0153) 52-2056	
⑯	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション室蘭臨海実験所	〒051-0013	室蘭市舟見町1丁目133番地31	(0143) 22-2846	
⑰	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション洞爺湖臨海実験所	〒049-5723	虻田郡洞爺湖町月浦122	(0142) 75-2651	
⑱	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション白尻水産実験所	〒041-1613	函館市白尻町152	(0138) 25-3237	
⑲	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション七飯淡水実験所	〒041-1105	亀田郡七飯町桜町2丁目9-1	(0138) 65-2344	
⑳	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション忍路臨海実験所	〒048-2561	小樽市忍路町1の460	(0134) 64-2303	
㉑	北海道地区国立大学大滝セミナーハウス	〒052-0317	伊達市大滝区優徳町32	(0142) 68-6155	



北海道大学シンボルマーク

本学構内に自生する「エンレイソウ」(オオバナノエンレイソウ=大花延齢草：ユリ科トリリウム属の多年草)を図案化したもの。

昭和25年の公募による入選作を、本学創基120周年を機に修正を加え、平成8年9月の評議会において正式にシンボルマークとして決定された。

花卉、がく片で構成された六方(東・西・南・北・天・地)への広がり、日本や世界へ向けての本学からの情報発信を意味している。



北海道大学コミュニケーションマーク

大学のブランドイメージを高めるための広報活動の一環として、平成18年4月に制定。本学の特徴を積極的に情報発信するために北大オリジナルグッズに付して使用する。

マークのデザインはグラフィックデザイナーの佐藤卓氏によるもの。本学が平成18年で創基130周年を迎えたことから、本学の位置を中心に北海道を130度回転させた軌跡をデザインし、回転が知恵(IDEA)を、回転による軌跡が知識(KNOWLEDGE)を表している。

- 発行 ●北海道大学総務企画部広報課
所在地 ●〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
電話番号 ●011-716-2111(代表) 011-706-2610(広報課直通)
Eメール ●bureau@hokudai.ac.jp
ホームページ ●<http://www.hokudai.ac.jp/>
発行年月 ●平成24年6月